

寫信速成秘訣

廣益書局刊行

例言

一本書係活動式的寫信之範本。可用於練習。可用於檢查。

一本書所採材料。按照各界需要。支配平勻。故無論何界。手此一編。均有從心所欲之利便。且有無師自通之功效。

一本書分「寫信規則」「寫信款式」「寫信資料」「寫信體格」「寫信種類」五編。每編又分列細目。各歸各類。已將寫信應有之法門。包括靡遺。臨池時得此助益。尤有左右逢源之妙趣。

一白話信爲近今變通文字之一種。雖非尺牘正宗。亦爲社會偏面所歡迎。本書特輯「白話信寫法」一編。附諸卷末。以資參考而便效用。

一本書每篇之首。既冠以敍言。又復於各種分目下。詳加說明。俾學者逐項明其作用。而自得一切訣法之妙悟。此爲本書特具優點。非他種尺牘範本所可比。

一本書分撰各體各類之信函。事實則以最近最新爲主。文字則以理明詞達爲主。全編既合於應用。更利於學步。

一書函格式及稱謂。概從新制。惟對於尊長仍沿舊制。以重禮教。

民國十三年甲子夏初編者丹陽賀羣上識

寫信速成祕訣目錄

第一編 寫信之規則

【甲】稱謂

- (1) 稱謂概要
- (2) 稱人義例
- (3) 自稱義例
- (4) 尊人通例
- (5) 自謙通例
- (6) 家族稱謂表
- (7) 親戚稱謂表
- (8) 朋友稱謂表
- (9) 用人稱謂表

【乙】法程

- (1) 寫信起首法
- (2) 信中分層次法
- (3) 分條敘事法
- (4) 另外補敘法
- (5) 代人寫信法
- (6) 信中抬頭法

- (7) 附筆問候法
- (8) 篇末請安法
- (9) 相對具名法
- (10) 排列具名法
- (11) 對團體具名法
- (12) 對尊長具名法
- (13) 字行規定法
- (14) 居喪寫信法
- (15) 備用信箋法
- (16) 摺疊信箋法
- (17) 信封寫地址法
- (18) 不寫地址法
- (19) 寫受信人姓名法
- (20) 寫發信人姓名法
- (21) 寫名不寫姓法
- (22) 寫緘啓字樣法
- (23) 託帶信件寫法
- (24) 差人送信寫法
- (25) 信外附件寫法
- (26) 民局寄信寫法
- (27) 黏貼郵票法

第二編 寫信之款式

【甲】信封款式

- (1) 普通信封式
 (2) 寄官署信封式種五
 (3) 寄職員信封式種二
 (4) 寄團體信封式
 (5) 寄學校信封式
 (6) 寄教員信封式
 (7) 寄商店信封式
 (8) 寄父母祖父母信封式
 (9) 寄尊長信封式
 (10) 寄平輩信封式
 (11) 寄小輩信封式
 (12) 寄子姪信封式
 (13) 唁喪信封式
 (14) 交子姪送信封式
 (15) 交下人送信封式
 (16) 託人帶信封式種二
 (17) 託人代送信封式
 (18) 託人轉寄信封式
 (19) 託帶家書式二種
 (20) 寓外寄遞信封式
 (21) 旅次寄遞信封式
 (22) 各機關互遞式

【乙】便條款式

- (1) 借款
 (2) 送款
 (3) 還款
 (4) 收款
 (5) 借物
 (6) 還物
 (7) 收物
 (8) 送物
 (23) 寄本埠信封式
 (24) 交來人帶回信封式
 (25) 寄快信信封式
 (26) 掛號信封式
 (27) 寄老年婦人信封式
 (28) 寄少年婦人信封式
 (29) 普通信封背面式
 (30) 家書信封背面式
 (31) 要信背面式
 (32) 民局寄信背面式
 (33) 航船寄信背面式
 (34) 月日填寫背面式
 (35) 郵票貼在背面式
 (36) 明信片正面寫式

【丙】明信片款式	(17) 辭宴	(15) 約談	(13) 薦人	(11) 答事	(9) 受物
		(16) 召飲	(14) 留字	(12) 邀友	(10) 託事
	(1) 致友索入場券	(2) 覆友收到購件			
	(3) 託友訪人	(4) 答友訪人無着			
【丁】名片款式	(1) 贈物	(2) 約談			
	(3) 辭行	(4) 送行			
【戊】卡片款式					

第三編 寫信之資料	(7) 約晤	(5) 辭行	(3) 餽物	(1) 約遊
	(8) 訪友	(6) 請謁	(4) 謝贈	(2) 約談

【一】奉書語

(1) 對父祖等用	(2) 對親朋長輩用
(3) 對師長用	(4) 對兄弟姊妹用
(5) 對族兄弟用	(6) 對親朋平輩用
(7) 對平輩年幼者用	(8) 對同學用
(9) 對小輩用	(10) 對文官用
(11) 對武官用	(12) 對著作家用

- (13) 對教育家用
(14) 對新學家用
(15) 對長輩婦女用
(16) 對平輩婦女用
(17) 對釋家用
(18) 對道家用
(19) 對喪家用

【二】接緘語

- (1) 用於尊長
(2) 用於平輩
(3) 用於今來札
(4) 用於前來札
(5) 用於遠來札
(6) 用於覆信

【三】去信語

- (1) 對長輩用
(2) 對平輩用
(3) 對幼輩用

【四】啓事語

- (1) 用於父母祖父母及官長
(2) 用於尊長
(3) 用於答覆尊長
(4) 用於通常
(5) 用於答覆通常
(6) 用於請求
(7) 用於補述
(8) 用於訃信

【五】闊別語

(甲) 按人敘別

- (1) 用於父母
(2) 用於尊長
(3) 用於師長
(4) 用於平輩
(5) 用於文官
(6) 用於武官
(7) 用於婦女
(8) 用於釋道

(乙) 按時敘別

- (1) 春別至夏
(2) 春別至秋

(丙) 據地敘別

- (3) 春別至冬
- (4) 夏別至秋
- (5) 夏別至冬
- (6) 秋別至冬

(丁) 依事敘別

- (1) 自京中別
- (2) 自省中別
- (3) 自縣中別
- (4) 自鄉中別
- (5) 自他省別
- (6) 自他鄉別
- (7) 自江湖別
- (8) 自旅館別
- (9) 自途中別
- (10) 自舟中別
- (11) 自近處別
- (12) 自遠處別
- (13) 自兩地言
- (1) 自共事而別
- (2) 自同學而別

【六】疏候語

- (1) 路遠疏候
- (2) 事繁疏候
- (3) 自迎送而別
- (4) 自送行而別
- (5) 承迎送而別
- (6) 承送行而別
- (7) 承贈餞而別
- (8) 承贈物而別
- (9) 承賜餞而別

【七】思慕語

- (1) 路遠疏候
- (2) 事繁疏候
- (3) 奔走疏候
- (4) 抱病疏候
- (5) 性懶疏候
- (6) 貧忙疏候
- (7) 在制疏候
- (8) 因已分卑疏候
- (甲) 對人思慕
- (1) 對父母用
- (2) 對小輩用

(3) 對長輩用

(4) 對師長用

(5) 對官長用

(6) 對平輩用

(乙) 對景思慕

(1) 春季用

(2) 夏季用

(3) 秋季用

(4) 冬季用

(丙) 未會思慕

(1) 對長輩用

(2) 對平輩用

【八】頌揚語

(甲) 頌揚發端詞

(乙) 頌揚起居詞

(1) 用於親長

(2) 用於平輩

(3) 用於政界

(4) 用於軍界

(5) 用於學界

(6) 用於商界

(7) 用於旅客

(8) 用於婦女

(丙) 頌揚起居潭祉詞

(1) 用於尊長

(2) 用於平輩

(3) 用於政界

(丁) 頌揚統詞

(1) 用於長輩

(2) 用於平輩

(3) 用於政界

(4) 用於軍界

(5) 用於學界

(6) 用於商界

(7) 切合門第

(8) 切合人品

(9) 用於婦女

(戊) 頌揚欣慰詞

(1) 雙句頌慰

【九】自敘語

(1) 敘才學淺

(3) 敘貧困狀

(5) 敘謀業難

(7) 敘身病弱

(9) 敘家務多

(11) 敘性情懶

(13) 敘貿易難

(15) 敘知識短

(17) 敘知己少

(19) 敘門第小

(2) 單句頌慰

(2) 敘才力拙

(4) 敘生活難

(6) 敘任事難

(8) 敘勞碌甚

(10) 敘奔走勞

(12) 敘事務煩

(14) 敘老耄至

(16) 敘時事乖

(18) 敘荒歉甚

(20) 敘旅况難

(21) 敘貧老逼

(23) 職官自謙

【十】告幸語

(1) 幸已無恙

(3) 幸家無恙

【十一】希惠語

(甲) 對人的希惠

(1) 對尊長用

(3) 對平輩用

(5) 對世誼用

(乙) 對事的希惠

(1) 假借財款

(22) 敘未脫俗

(24) 軍界自謙

(2) 幸親無恙

(4) 幸歲豐稔

(2) 對師長用

(4) 對戚誼用

(2) 指點迷途

(3) 顧念窮困

(4) 照應事件

(5) 玉成美事

(6) 允成美事

(7) 推薦美事

(8) 原諒心事

(9) 包涵過失

(10) 陶成子弟

(11) 求改文藝

【十二】感激語

(1) 對長輩用

(2) 對平輩用

(3) 代人感激

(4) 衆人感激

(5) 存沒感激

【十三】應趨語

(1) 應賀

(2) 應祝

(3) 應送

(4) 應慰

(5) 應弔

(6) 應輓

【十四】阻趨語

(1) 路遠阻

(2) 事冗阻

(3) 風雨阻

(4) 奔走阻

(5) 抱病阻

(6) 遠寓阻

【十五】告訴語

(1) 對長輩用

(2) 對平輩用

(3) 對親戚用

(4) 對宗族用

(5) 對官長用

【十六】干聽語

(1) 對尊長用

(2) 對平輩用

【十七】恃愛語

	(1) 對尊輩用				
	(3) 對戚誼用				
【十八】保重語		(2) 對平輩用			
(1) 對長輩用		(4) 對世誼用			
(3) 將居喪者用					
		(2) 對平輩用			
【十九】申悃語		(4) 對旅行者用			
(1) 對長輩用					
(3) 感謝		(2) 對平輩用			
(5) 慰喪		(4) 祝賀			
		(6) 送行			
【二十】盼禱語					
(1) 通用的					
【二十一】勸緘語		(2) 特殊的			

	(1) 對長輩用				
【二十二】臨書語		(2) 對平輩用			
(1) 對長輩用					
(3) 喜事		(2) 對平輩用			
		(4) 喪事			
【二十三】附餽語					
(1) 尋常餽物		(5) 賀禮通用			
(3) 婚娶禮物		(4) 送嫁禮物			
(5) 祝壽禮物		(6) 弔唁禮物			
(7) 年節餽物		(8) 午節餽物			
(9) 秋節餽物		(10) 重陽餽物			
(11) 贈送用物		(12) 餽送禮儀			
(13) 以物謝人					

【二四】謝贈語

- (1) 謝贈賀禮
- (2) 謝贈唁儀
- (3) 謝贈贐儀
- (4) 謝贈尋常品物

【二五】乞收語

- (1) 對長輩用
- (2) 對平輩用

【二六】望覆語

- (1) 對長輩用
- (2) 對平輩用

【二七】請安語

- (1) 用於父母
- (2) 用於尊長
- (3) 用於師長
- (4) 用於官長
- (5) 用於平輩
- (6) 用於小輩
- (7) 用於學界
- (8) 用於商界

- (9) 用於旅客

- (11) 對在家者用

- (13) 用於賀喜

- (15) 用於賀節

- (17) 對長輩婦女用

- (19) 對幼輩婦女用

- (21) 當日用

【二八】冀鑒語

- (1) 對尊長用

- (2) 對平輩用

【二九】附名致意語

- (1) 用於尊者

- (2) 用於平輩

【三十】附筆問候語

- (10) 對有父母者用

- (12) 對辦公事者用

- (14) 用於賀年

- (16) 用於唁喪

- (18) 對平輩婦女用

- (20) 按時用

(1) 代長輩

(2) 代平輩

(3) 代子孫

【三一】結束語

(1) 對父 祖父母

(2) 對尊長官長用

(3) 對平輩用

(4) 對小輩用

(5) 公函用

(6) 至友不具名用

(7) 名片不具名用

(8) 信後補述用

第四編 寫信之體格

【一】家族體

(甲) 上尊長

(1) 子稟母父

(2) 孫稟祖父母

(3) 姪稟叔伯

(4) 弟上兄

(乙) 致卑幼

(1) 父諭子

(2) 祖諭孫

(3) 叔伯諭姪

(4) 兄致弟

【二】親戚體

(甲) 奉尊長

(1) 外孫稟外祖母父

(2) 甥稟舅母父

(3) 內姪奉姑母父

(4) 姨甥奉姨母父

(5) 婿奉外舅

(乙) 致卑幼

(1) 外祖致外孫

(2) 舅致甥

(3) 姑父致內姪

(4) 翁致婿

(5) 表叔致表姪

【三】閨閣體

(甲) 奉尊長

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 女稟父母 | (2) 姪女奉姑母 |
| (3) 外甥女奉舅母 | (4) 姨甥女奉姨母 |
| (5) 表姪女奉表伯母 | |

(乙) 致平輩

- | | |
|-----------|-----------|
| (1) 姊致未嫁妹 | (2) 妹致已嫁姊 |
| (3) 弟姒致大姆 | (4) 大姆致弟姒 |
| (5) 姑致嫂 | (6) 嫂致已嫁姑 |

(丙) 致師友

- | | |
|----------|----------|
| (1) 致女教師 | (2) 致女同學 |
|----------|----------|

【四】工商體

(甲) 工界

- | | |
|----------|------------|
| (1) 致實業家 | (2) 致工團 |
| (3) 致工廠 | (4) 致工程籌備處 |

(乙) 商界

- | | |
|-----------|-----------|
| (1) 致商業同行 | (2) 致商店同事 |
| (3) 致經理 | (4) 致東家 |

【五】學校體

(甲) 校誼

- | | |
|---------|---------|
| (1) 致校長 | (2) 致教員 |
| (3) 致同學 | |

(乙) 公事

- | | |
|----------|----------|
| (1) 致縣視學 | (2) 致教育廳 |
|----------|----------|

(3) 致教育會

【六】政法體

(甲) 行政

(1) 致部長

(2) 致京官

(3) 致省長

(6) 致財政廳

(5) 致縣知事

(乙) 司法

(1) 致法部

(2) 致審判廳

(3) 致承審員

【七】軍警體

(甲) 軍界

(1) 致師長

(2) 致旅長

(3) 致團長

(4) 致隊長

(乙) 警界

(1) 致警長

(2) 致警佐

(3) 致警察廳

(4) 致警察分署

【八】紳董體

(甲) 紳士

(1) 致致仕鄉紳

(2) 致旅外鄉紳

(3) 致同省紳耆

(4) 致地方紳士

(乙) 董事

(1) 致學董

(2) 致商董

(3) 致公會董事

(4) 致地方董事

第五編 寫信之種類

【一】慶祝類

- (1) 賀完姻
- (2) 賀娶媳
- (3) 賀娶孫媳
- (4) 賀生子
- (5) 賀生孫
- (6) 賀開張
- (7) 祝人祖父壽
- (8) 祝人祖母壽
- (9) 祝人父壽
- (10) 祝人母壽

【二】唁慰類

- (1) 唁人丁外艱
- (2) 唁人丁內艱
- (3) 唁人丁祖父憂
- (4) 唁人丁祖母憂
- (5) 慰人喪妻
- (6) 慰人喪子
- (7) 慰人喪兄
- (8) 慰人喪弟

【三】問病類

【四】請託類

- (1) 問人父病
- (2) 問人兄病
- (3) 問人女子病
- (4) 問人初病
- (5) 問人久病
- (6) 問人復病
- (7) 問人小疾
- (8) 問人危病

【五】延薦類

- (1) 託人說項
- (2) 託人謀事
- (3) 託人招股
- (4) 託人匯款
- (5) 託人擇婿
- (6) 託人擇媳
- (7) 託人訪事
- (8) 託人購物
- (9) 託人寄物
- (10) 託人帶物
- (1) 延教員
- (2) 延店夥

(3) 延記室	(4) 延西席
(5) 薦律師	(6) 薦會計
(7) 薦夥友	(8) 薦學徒
【六】介紹類	
(1) 介紹書記	(2) 介紹學生
(3) 介紹店夥	(4) 介紹學徒
(5) 介紹新交	(6) 介紹舊識
(7) 介紹貨品	(8) 介紹房客
【七】借貸類	
(1) 乞代借款	(2) 爲友借款
(3) 函催借款	(4) 借款並呈借約
(5) 借款以物作抵	(6) 借房屋

(7) 借器具	(8) 借書籍
【八】索償類	
(1) 索逾期之款	(2) 索有押品之款
(3) 索擔保之款	(4) 索經手之款
(5) 償及期之款	(6) 償逾期之款
(7) 償代借之款	(8) 先償款之半款
【九】允卻類	
(1) 允借款	(2) 允推薦
(3) 允擔保	(4) 允聯婚
(5) 辭卻職務	(6) 辭卻借款
(7) 辭卻託薦	(8) 辭卻說婚
【十】餽贈類	

(1) 餽贈儀

(3) 贈果品

(5) 贈鄉味

(7) 贈書籍

(2) 贈土儀

(4) 餽美酒

(6) 贈器具

(8) 贈花卉

【十一】感謝類

(1) 謝餽盛

(3) 謝薦舉

(5) 謝規勸

(7) 謝召飲

(2) 謝問病

(4) 謝挪款

(6) 謝照拂

(8) 謝贈物

【十二】誠勸類

(1) 誠奢華

(3) 誠貪飲

(2) 誠賭博

(4) 誠狎邪

(5) 勸力學

(7) 勸擇交

(6) 勸改過

(8) 勸息訟

【十三】催促類

(1) 催友到校

(3) 催寄貨物

(5) 催寄衣服

(7) 催購物件

(2) 催繳股款

(4) 催寄旅費

(6) 催寄款項

(8) 催贖押品

【十四】邀約類

(1) 邀約同行

(3) 邀約茶敘

(5) 邀約遊湖

(7) 邀約手談

(2) 邀約同歸

(4) 邀約酒敘

(6) 邀約遊園

(8) 邀約攝影

第六編 白話信之寫法

(甲)規則

(乙)格式

(丙)符號

【一】家庭門

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 上父親收到匯款 | (2) 上母親請做衣服 |
| (3) 上祖告徵壽文事 | (4) 祖孝敬食品 |
| (5) 寄伯父報火災 | (6) 寄叔父收到書籍 |
| (7) 寄兄託買絲綿 | (8) 寄弟勉其勤學 |

【二】親戚門

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 寄外祖請親回家 | (2) 寄母舅請教算法 |
| (3) 寄舅母賀生孫 | (4) 寄姑丈送花秧 |

【三】學校門

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) 寄校長問開學日期 | (2) 寄長請賜指教 |
| (3) 寄校長請病假 | (4) 寄教員遞升學情形 |
| (5) 寄同學新年通候 | (6) 寄同學贈畫片 |
| (7) 寄同述遠足情形 | (8) 寄同請代領講義 |

【四】朋友門

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 寄友約茗談 | (2) 寄友勸做小工藝 |
| (3) 寄友述組負販團 | (4) 寄友借物 |
| (5) 寄友答允推薦 | (6) 寄友索欠款 |
| (7) 寄友邀聚餐 | (8) 寄友贈盤 |

寫信速成秘訣

第一編 寫信之規則

寫信開始入門之時。以判別稱謂爲第一步。以講究法程爲第二步。故本編首列稱謂及法程。分條備載。以便寫信者先有詳明之規則可遵焉。

【甲】稱謂

書信開首使用稱謂。故稱謂爲最先最要之問題。觀下列各條及分表。庶於稱謂一端。不致貽誤矣。

(1) 稱謂概要

稱謂尊卑。宜先判別。尋常祖父輩行。通稱太老伯。尋常父之輩行。通稱老伯。其誼較親而年長於祖與父者。稱太世伯。或世伯。年少於祖與父者。稱太世叔。或世叔。有姻誼者。稱太姻伯、姻伯。或太姻叔。

姻叔。若以世誼兼姻誼者。則稱太姻世伯、姻世伯。或太姻世叔、姻世叔。倘有輩行在父兄之間。不能明確者。姻誼則稱姻丈。世誼則稱世丈。齒位略尊者。亦稱仁丈。至對於晚輩之交親誼厚者。稱世兄。或稱世講。亦可通稱仁兄。對於平輩之交誼較厚者。稱吾兄、我兄。或依其人行次。稱曰大兄、二兄、三兄等類。尋常平輩則通稱仁兄。惟對於身分較尊者。不論年齒。可稱以先生。

(2) 稱人義例

大人二字。除用於家族親黨之尊長外。其餘應遵新制汰除。凡普通稱呼。可逕稱某某仁兄閣下。或某某仁兄執事。至於已之父母。則稱膝下。祖父母、伯叔祖父母、伯叔父母。則均稱尊前。其他輩分較尊之人。則用鈞座、鈞侍、侍前、侍右等字。於師則稱

函丈於晚輩則稱足下。若對於長輩婦人則用懿座。普通女界則用妝次。至如賜覽、賜鑒、惠覽、青睞、青及等字樣用以代閣下二字者。雖與結束處之鈞鑒、慈鑒、崇照、澄照、朗照、台照等字。意義無異。而習俗相沿亦不妨從同。至如先生二字。為時俗泛常之稱。學生對於業師宜有分別。致於業師及校長之信。於起首句寫夫子函丈。或尊鑒。不宜稱號。自稱受業。

(3) 自稱義例

本人自己稱謂。對於長兩輩者稱再姪。長一輩者稱姪。有姻誼者稱姻再姪。姻姪。有世誼者稱世再姪。世姪。對於平輩及晚輩而自己謙稱者均稱弟。或用一愚字。亦有用己之名號者。

(4) 尊人通例

尊人之詞。多用貴字令字寶字。若應用貴字者如貴國、貴縣、貴署、貴公司、貴友之類。應用令字者如令尊、令親、令徒、令夥之類。應用寶字者如寶號、寶莊、寶行之類。至於普通稱謂。凡對人而稱其尊長卑幼及其親戚師友。概宜加一令字。

(5) 自謙通例

自謙之詞。應用敝字者如敝國、敝省、敝縣、敝署、敝公司、敝友、敝夥、敝徒之類。應用小字者如小兒、小价、小莊、小號、小行之類。應用家字者如家祖、家嚴、家叔之類。應用舍字者如舍弟、舍姪、舍親之類。推而言之。大凡自稱己之尊長。加一家字。自稱己之卑幼。加一舍字。自稱己之店號。及兒孫女妾僕婢。加一小字。自稱己之師友。及己之居處。加一敝字。四字各有所屬。不可誤用。至於自稱己死之尊長。

加一先字。自稱已死之卑幼。加一亡字。此世俗相沿一定之通例也。

(6) 家族稱謂表

稱	人自	稱人	稱對他人自謙
父母親	男	令尊	家慈家父
父妾	自具名	令庶母	家庶母
祖父	孫	令祖母 令大母	家大母
曾祖父	曾孫	令曾祖母	家曾祖母
高祖父	元孫	令高祖母	家高祖母

以上為家屬之最親者。稱謂上不得加字。俗稱字為號。字與號本有別。今輒混而為一矣。於父自稱家君、家尊、或家大人。稱人之父。尊公、或尊翁。既歿。則改家字為先字。或父改考。母改妣。祖父為王考。祖妣為王妣。對於人而并及其子。

曰賢橋梓。自稱愚父子。

伯父	姪	令伯母	家伯母
叔父	姪	令叔母	家叔母
伯祖父	姪孫	令伯祖母	家伯祖母
叔祖父	姪孫	令叔祖母	家叔祖母
曾伯祖父	姪曾孫	令曾伯祖母	家曾伯祖母
曾叔祖父	姪曾孫	令曾叔祖母	家曾叔祖母
高伯祖父	姪元孫	令高伯祖母	家高伯祖母
高叔祖父	姪元孫	令高叔祖母	家高叔祖母

如為本宗。稱謂上不得加字。惟胞伯叔以上。如不止一人。可以其行次大二三四等字別之。如為同族尊長。可加其字於稱謂之上。

胞兄	兄弟	令兄弟	家兄弟
胞妹	兄弟	令姊妹	家姊妹

舅祖父母爲父之舅父母。即俗稱舅公舅婆者。

外祖父母	外孫	令外祖父母	家外祖父母
外伯祖父母	外姪孫	令外伯祖父母	家外伯祖父母
外叔祖父母	外姪孫	令外叔祖父母	家外叔祖父母
姨丈	姨甥	令姨丈	家姨丈
表伯母	表姪	令表伯母	家表伯母
表叔母	表姪	令表叔母	家表叔母

表親有姑表姨表之別。稱謂均同。

賢婿	愚	令坦	令倩	小婿
岳父母	干婿	令岳母	令外舅	家岳母
伯岳父	姪婿	令伯岳父	家伯岳父	
叔岳父	姪婿	令叔岳父	家叔岳父	
太岳父	孫婿	令太岳父	家太岳父	
姻伯母	姻姪	令親	舍親	

凡戚黨之長一輩而無確當之稱謂者。可稱姻伯。長兩輩以上者。均稱之曰太姻伯。或易伯爲叔。其較泛者。可易伯字爲丈字。或姻而兼世者。則於姻下加世字。

姻叔	姻姪	令親	舍親
太姻伯母	姻再姪	令親	舍親
姊丈或姊倩	內兄弟	令姊丈	家姊丈
表兄弟	表兄弟	令表兄弟	家表兄弟
親兄	姻弟	令親兄	舍親
內兄弟	姊婿	令內兄弟	家內兄弟
賢表姪	愚	令表姪	家表姪
賢表姪孫	愚	令表姪孫	家表姪孫
賢內院	愚	令親	舍親
賢內再姪	愚	令親	舍親

姻兄	弟	令親	舍親
姻姪	愚	令親	舍親

凡姻親之晚輩。尋常均稱姻兄。其極孳者。或稱姻姪。然甚少也。其兼世者可稱姻世姪。或姻世講。凡自稱愚者。或改稱名亦可。若係雙名。僅寫一字亦可。

(8) 師友稱謂表

稱	凡白	稱人	稱對他人自稱
夫子或業師	受業	令師	敝業師
吾師	受業	令師	敝業師

夫子之稱。或用於師。或用於夫。近今女學生之於師。輒以避嫌之故。改稱某某吾師。惟吾字不能接頭。不如亦稱業師。

賢弟	愚	令及門或高徒	敝徒
師母	學生		
太夫子	門下晚學生		
太師母	門下晚生		

對於太夫子太師母之自稱。乃十年以前之舊稱。謂稱名亦可。

老伯	愚姪		
伯母	愚姪		

老叔之妻。亦稱伯母。稱老叔者。齒固較少於父。情亦較親。

太老伯	愚再姪		
太伯母	愚再姪		

其齒雖有較祖為少者。俗亦通稱太老伯太伯母。

世伯	世愚姪
世伯母	世愚姪

既有世誼。稱謂自須確當。惟於世伯母而稱之。爲伯母。亦可。世叔之母。可稱世婦。

太世伯	世再姪
太世伯母	世再姪

太世叔之妻。亦可以太世伯母稱之。

仁丈	晚
----	---

於仁丈之下。先生之上。酌加鄉字世字姻字。若兼有之。可不用仁字。卽稱鄉世姻丈均可。

先生	晚
仁兄	弟

凡此項之有鄉世姻誼者。可於先生或仁兄之

下。酌如鄉字世字姻字。

賢世誼	愚	兄弟
賢世誼	愚	兄弟
賢世誼	愚	兄弟

世交之子姪。極摯者可稱世誼。或世臺。卽再晚一二輩者。亦可稱之。若稱世兄。則較謙。否則亦稱仁兄。若譜兄弟。而本有姻誼世誼。或爲同鄉。可於譜兄或譜弟之下。酌加姻字世字鄉字。

(9) 用人稱謂表

用人自稱	對於人之用人	所稱	對他人	自稱	用人
僕	尊紀	來伴	小价	小伴	
女僕	貴女僕	女僕	小斯	小伴	
婢	尊婢	小婢	小婢	小伴	

【乙】法程

寫信能先知各種寫法。則臨池時不思困難。下列法程種種詳悉。用以查考。助益良多。

(1) 寫信起首法

凡起首第一行如「某某先生閣下。」其第一字須頂着信箋上端之橫線。不可高出線外。亦不可離綫過低。此一定之式也。

(2) 信中分層次法

普通信例。用逕啓者三字起首者。不敘客套繁文。其餘均有一定層次。如發端之處。先敘久不通問。或曾寄音信之語。次則略加頌揚。再次則敘述事情。以明白暢達為主。總之書信大概略分六層。第一層。如某某先生閣下等語。第二層。如敬啓者等語。第三層。如敬維壽祺。安燕履祉。吉羊等語。第四

層。詳敘事實。第五層。如專此即請台安等語。第六層。如弟某某謹啓等語。若係回復書信。則具名。下用謹復二字。至家庭尊長。對於晚輩。其署款處。則用手泐二字。子弟幼輩。對於家庭親長。及親黨尊輩。則用謹稟二字。普通交際。則用謹啓、鞠啓、或鞠躬、立正等字樣。對於時常通信。及時常交往之人。不用套語。即可直敘事實。

(3) 分條敘事法

信中所敘之事件甚多。難於連貫說明者。可分條陳述。用一二三四五等記號。逐件詳敘。如一條之中。尚有分爲數條者。可另行低一二格。用甲乙丙丁等字分之。現在各界通信。已有此例。一則致書者容易措詞。一則覆信者便於按條回答也。

(4) 另外補敘法

信中敘事已經結束。而另外尚有陳述者。可於信紙空白處。用再啓者以補敘之。如前紙已盡。亦可用另紙書之。其結尾處。則寫某某再啓字樣。

(5) 代人寫信法

代人作書。須將其人之分際。與所欲言之事。想得透達。說得切合。不可執定己見。以致口氣不合。

(6) 信中抬頭法

信中抬頭。有單抬、雙抬、平抬之別。除首行抬寫受信人之號外。若敘及受信人之祖父母。宜用雙抬。而指定受信人已身而言。則用單抬。如對受信人。而敘及他人之處。不論尊輩平輩。均空一格。而寫其姓號。若說及己之晚輩及子姪等。宜用小某或舍某等字。而偏旁寫之。至對於卑幼及往來親密之友。可以一律平抬。致信於不常通問及

分輩較尊之人。首行寫號處。亦雙抬。至於頌揚受信人之字句。宜單抬。即較首行寫號處低一格也。信中用吾兄、吾弟等稱。吾字不宜抬頭。祇將兄字、弟字抬頭。或空一格可也。

(7) 附筆問候法

信中於結束具名處之上。有須敘及受信人以外之人者。可於敬請某安之後。另行寫某某君前請安。或某某均候。或某某均此等字樣。

(8) 篇末請安法

對於受信人之現為官吏者。用助祺、政祺、台祺。對於受信人之眷屬而言。用潭祺。如言及受信人之父母。則用侍祺、侍福。篇末可用敬請侍安。或於敬請台安之後。再用並叩侍福等語。

(9) 相對具名法

信中自己具名。對於家庭宗族。書名不書姓。至親朋通信。俗例有用號者。然對於身分較尊之人。仍以書名為得體。若稱呼受信之人。則宜寫其人之號。如某某^號。先生閣下。不可直寫其名。至信中篇末具名處之稱謂。朋友書信往來通例。均自稱弟。其身分較尊而無可稱呼者。亦可逕書姓名。不用稱謂。

(10) 排列具名法

致書於二人或三人者。可將其號排勻。如某某仁兄先生均鑒。若不能概稱仁兄。則宜分別稱謂。以最尊者排列居中。如稱呼可以一律簡直者。則起首即寫某某^{某某}二君。或某某^{某某}三君均鑒。若致書於人而須與他人同具名者。則用某某^{某某}同謹啓。信中遇自

稱處。則並稱某某等。

(11) 對商號具名法

致書於公私各團體者。可寫某某諸先生台鑒。其具名處。或用全體之名。或用代表之名。或用個人之名。臨時酌用為宜。致書商號者。可寫其號東。或經理人之號。否則寫大執事先生台鑒字樣。

(12) 對尊長具名法

自己姓名寫在首一行與結尾後另一行下者。不用小寫。惟對於至親尊長。則末行請安下自己具名。宜用偏旁小寫。以示恭敬。子弟對於家庭尊長之書稟。宜用楷書。不可草率。

(13) 字行規定法

信中不得通幅吊脚。必有一行到底方可。一字亦不能成行。寫信時須注意。普通之信。可不拘行

數如祝賀、弔唁等信。以撐足兩紙爲得體。

(14) 唁喪寫信法

凡有父母之喪者。百日以內。信中具名之上。加棘人二字。用小字側寫。百日以外。爲制字。既過二十四月者。寫禫字。若期服則寫期字。大功服則寫大功二字。小功服則寫功字。總服則寫總字。唁信用牙色或藍色紙簽條。寫某先生、或某君禮啓。或素啓等字樣。有喪服人與他人信。仍用紅簽。

(15) 備用信箋法

時常通信者。信紙可用如意牋。若與身分較尊。及尊長之久。不通信者。宜用紅八行書。以見鄭重。

(16) 摺疊信箋法

摺尋常書信。先橫摺。後直摺。宜將紙面順摺向裏。若致信於前輩。則宜先直摺。而後橫摺。

(17) 信封寫地址法

寫信封時。最宜簡明。地名尤宜詳細。不得任意草寫。以免送信人之錯誤。若致信於尊長。及分際較尊之人。信封宜寫正楷。信封寫受信人之地址。如「某省某縣某某街第幾號門牌」之類是。倘在本省。不書省名。在本縣。亦不書縣名。凡致官署之信。其地址在省中者。但書某某省。在縣中者。書某省某某縣。不必書街名與門牌。信封下首寫發信人之地址。亦宜詳細。恐受信人他往。以便送信人退回。

(18) 不寫地址法

如將信件附於家信之內。交自己之兄弟子姪輩送去。則信封不寫受信人之地址。僅寫「携交」或「面交」兩字。如附於親友信中。托親友遣人

代送。則寫「敬求飭送」或「即煩飭送」字樣。至發信人之地址。亦可不寫。托人攜帶信件。則受信人之地址。亦不必寫。當書「敬祈面交」等字。而發信人之地址。亦不必寫。如係覆信。即交來人帶回者。則上首寫地址之處。應寫「即煩帶交」四字。下首之地址。無庸再寫。或寫「內詳」二字亦可。

(19) 寫受信人姓名法

受信人之姓名。寫在信封居中。普通寫某某先生。或某某君。均稱號而不稱名。如致學校及商界之信。則偏於姓名之右。宜加一行小字。為某某學校。或某某寶號。至各種機關之信。居中即寫機關之名。如教育會及商務總會等是。致政界之信。可就其官位而寫。如某道尹、某知事之類。下寫印某

某三字。惟印字及名之兩字。宜寫小字。印字在右。名字在左。且印字宜較名之上一字略低。如沿前清舊例。仍寫某大人印某某等字。亦可在某道尹或大人之右。亦加一行小字。為某某道尹公署。或某某縣公署之類。如在其中辦事之人。則於公署之下。再加第幾科或某某科字樣。居中仍寫某某先生。餘在銀行及公司之中者。其式亦同。

(20) 寫發信人姓名法

信封寫發信人之姓名。當在下首地址之下。普通但寫一姓字。為某省某縣某某街第幾號某某姓字。倘係掛號及快信。當連號一併寫上。如在他處辦事。則寫號於地址之上。不必連姓。為某某自某處寄等字。對於父母尊長。當易號以名。如在旅次。則寫某某自某處旅次寄可也。凡致子姪輩之

信不必用號及先生等稱呼。當直寫其姓名爲某某某三字。其致下人者亦同。

(21) 寫名不寫姓法

凡令自己之兄弟子姪輩送交親友之信。信封居中不必寫姓。須用自己稱人之稱呼。爲某某姻兄先生。某某世伯先生之類。下首寫某某手緘。或某某手泐等字。其或託人攜帶之信。居中相同。下首則寫某某拜干。如託親友帶回之家信。致長輩者。則姓名及先生等字均不必寫。但寫對他人自稱之稱呼。如家祖家嚴之類。致平輩及小輩者。則加號或名於上。爲某某家兄。某某小兒之類。下首亦寫某某拜干。或某某拜託等字。如覆信交來人帶回。則受信人與發信人之姓名均不必寫。居中直寫貴上或貴先生。下首具名處。但寫名內肅可

也。

(22) 寫緘啓字樣法

信封簽條上所用啓字。亦有分別。唁信用禮啓。素啓。尋常信用台啓。身分較尊者用鈞啓。家庭尊長用安啓。平輩用大啓。對於晚輩之親厚者用手啓。對於卑幼用收啓。或收拆。對於僕役亦用收拆或手拆。至緘字則寫在名發信人地址姓名之下。普通僅一緘字。爲某縣某街第幾號某姓緘。或緘字下再加一寄字亦可。惟對於父母及尊者宜加一謹字於緘字之上。無須再用寄字也。明信片正面之寫法。與信面同。惟不寫啓而寫收。不寫緘而寫寄。因明信片無封套。無所啓亦無所緘也。

(23) 託帶信件寫法

託人攜帶信件。如係帶信人親交。信封上寫敬祈

而交。或敬求袖交。或敬候吉便帶交。惟吉便二字。須另行抬頭寫。若由帶信人差人送去。則寫敬祈某某先生飭送。其右方具名下均寫拜干二字。

(24) 着人送信寫法

信須着人送去者。信封左方寫送呈處某。簽條寫某某先生台啓。右方寫某人緘。

(25) 信外附件寫法

信外如有物件附寄者。信封左方須寫內信外某某物幾件。或幾包。簽條寫某某先生查收或檢收字樣。下方寫某人緘寄。

(26) 民局寄信寫法

信件由郵局寄者。普通祇須貼以三分之郵票。若由民局寄者。信資已付。則信面須寫「信資付訖」四字。如未付。須寫「信資照給」四字。由航船

寄遞。而先須付資若干者。可寫明已付資若干。到後再付若干。

(27) 黏貼郵票法

黏貼郵票。如係國內之信。或貼於封面。或貼於背後。可不拘。若寄往外國之信。則郵票必貼在信封左角。倘若貼於背後。則無效矣。

寫信速成秘訣

第二編 寫信之款式

尺牘為交際之要品。其作用不一。其款式不同。非嫻習有素。未有不貽笑於社交者。茲編備列各種成式。俾初學有所依據。以為臨池時之一助。

【甲】信封款式

信封款式之關係最大。倘有謬誤。不但受信人不歡迎。即郵局亦無從遞投。下列各式。均為寫信必需之要則。

(1) 普通信封式

某省某縣某街幾號門牌

某某先生 台 啓

貼郵
票處

某處城內某街某號某月某日

(2) 寄官署信封式一

北京

某某部

某 總 長 某某 印 勛 啓

貼郵
票處

某處某街幾號某號某月某日

(3) 寄官署信封式二

北京

某某部總長

某大人

某某印

勛啓

貼郵
票處

某城某街幾號某緘 某月某日

(4) 寄官署信封式三

南京

督軍公署

某大人

某某印

勛啓

貼郵
票處

某處某街某謹緘 某月某日

(5) 寄官署信封式四

某某省

某某道尹公署

某道尹

某某印

勛啓

貼郵
票處

某處某街幾號某緘 某月某日

(6) 寄官署信封式五

某某省

某某縣公署

某知事

某某印

勛啓

貼郵
票處

某處某坊某緘 某月某日

(7) 寄官署職員信封式一

北京

某某部主事

某先生 某某印 助 啓

貼郵
票處

某處某街某緘 某月某日

(8) 寄官署職員信封式二

某某省

某某省公署第幾科

某某先生 台 啓

貼郵
票處

某處某里某緘 某月某日

(9) 寄團體信封式

某埠某街

某某公會

會長先生 台 啓

貼郵
票處

某處某街某緘 某月某日

(10) 寄學校信封式

某某省某某縣

某某學校

校長先生 台 啓

貼郵
票處

某處某街某緘 某月某日

(11) 寄^{教員}學生信封式

某省某某縣

某某學校

某某先生台啓

貼郵
票處

某處某街幾號某某緘某月某日

(12) 寄商店信封式

某省某縣某街

某某寶號

某某先生台啓

貼郵
票處

某處城內某街某緘某月某日

(13) 寄^父祖^父信封式

某處城內某街幾號

某某先生安啓

貼郵
票處

某處某街幾號某某謹緘某月某日

(14) 寄尊長信封式

某縣城內某街幾號

某某先生鈞啓

貼郵
票處

某處某街某謹緘某月某日

(15) 寄平 遺信封式

某處某租界某某里幾號

某某先生 大 啓

貼郵
票處

某處某街某緘某月某日

(16) 寄小 遺信封式

某處某街幾號

某某君 手 啓

貼郵
票處

某處某里某緘某月某日

(17) 寄子姪信封式

某縣某某街

某某學校

某某 收 拆

貼郵
票處

某處某里家簡某月某日

(18) 唁喪信封式

某處某街幾號門牌

某某先生 禮 啓

貼郵
票處

某縣城內某街某緘某月某日

(19) 交子姪送信封式

面交

某某姻伯先生台啓

某某手緘 某月某日

(20) 交下人送信封式

送某街呈

某某某先生台啓

某街某緘 某月某日

(21) 託人帶信封式一

敬煩袖交

某某仁兄先生台啓

某某拜干 某月某日

(22) 託人帶信封式二

敬乞

吉便帶交

某某某先生台啓

某某拜干 某月某日

(23) 託人代送信封式

敬求

飭送

某某先生台啓

某某拜干 某月某日

(24) 託人轉寄信封式

敬祈

某某先生轉寄

某某先生台啓

某某拜託 某月某日

(5) 託帶家書信封式一

敬祈面交

家嚴安啓

某某拜干 某月某日

(26) 託帶家書信封式二

敬煩帶交

某某小兒手拆

某某拜託 某月某日

(27) 寓外寄遞信封式

某省某縣某街幾號

某某先生 台 啓

貼郵
票處

寓某處某街某號某月某日

(28) 旅次寄遞信封式

某省某縣某街

某某先生 台 啓

貼郵
票處

某省某處旅次緘某月某日

(29) 各機關互遞式

某省某縣某街

某某先生 台 啓

貼郵
票處

某省某縣某某所緘某月某日

(30) 寄本埠信封式

本埠某坊某號

某某先生 台 啓

貼郵
票處

某某手緘某月某日

(31) 交來人帶回信式

藉呈

貴 上 台 啓

名內詳

(32) 寄快信信封式

某省某縣某街幾號

某某某生生台啓

快信 某處某街幾號某某某緘 某月某日

(33) 掛號信封式

某省某縣某街

某某某先生台啓

掛號 某處某里幾號某某某緘 某月某日

(34) 寄年老婦人信封式

某處某里幾號

某某太太安啓

貼郵票處 某縣城內某街某某某緘 某月某日

(35) 寄年少婦人信封式

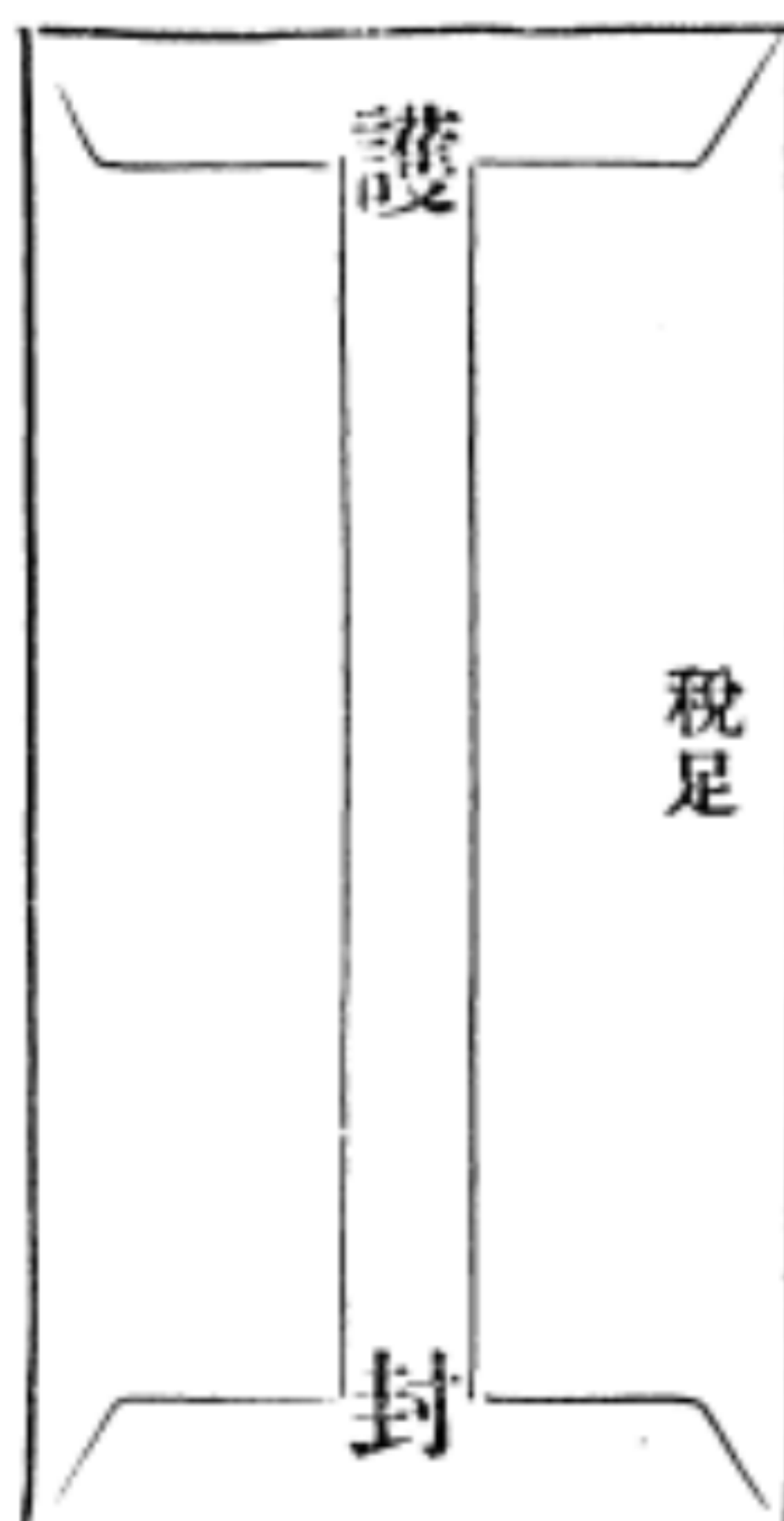
某縣某街某號

某某女士 大啓

貼郵
票處

某處某坊某緘 某月某日

(36) 普通信封背面式

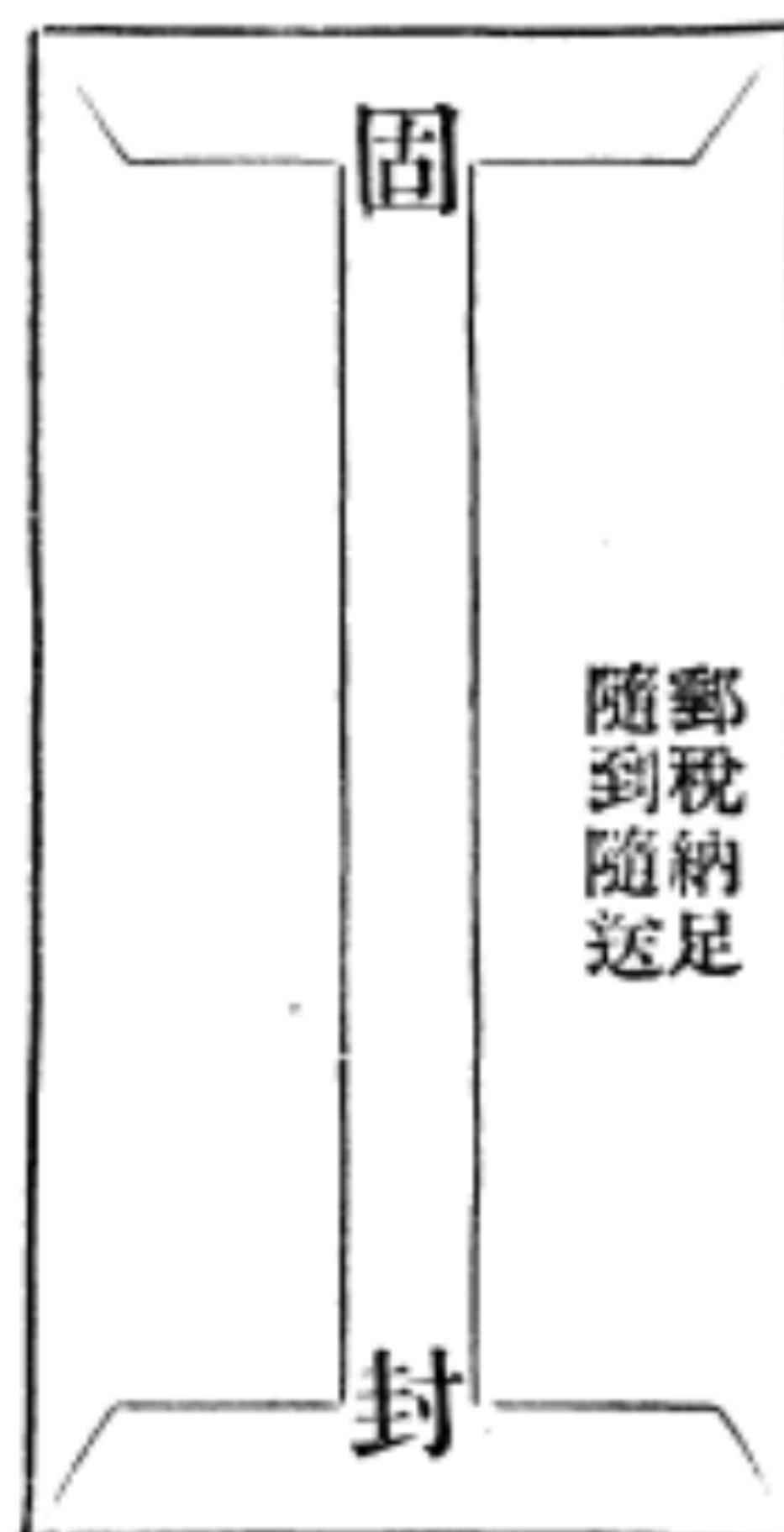


(37) 家書信封背面式

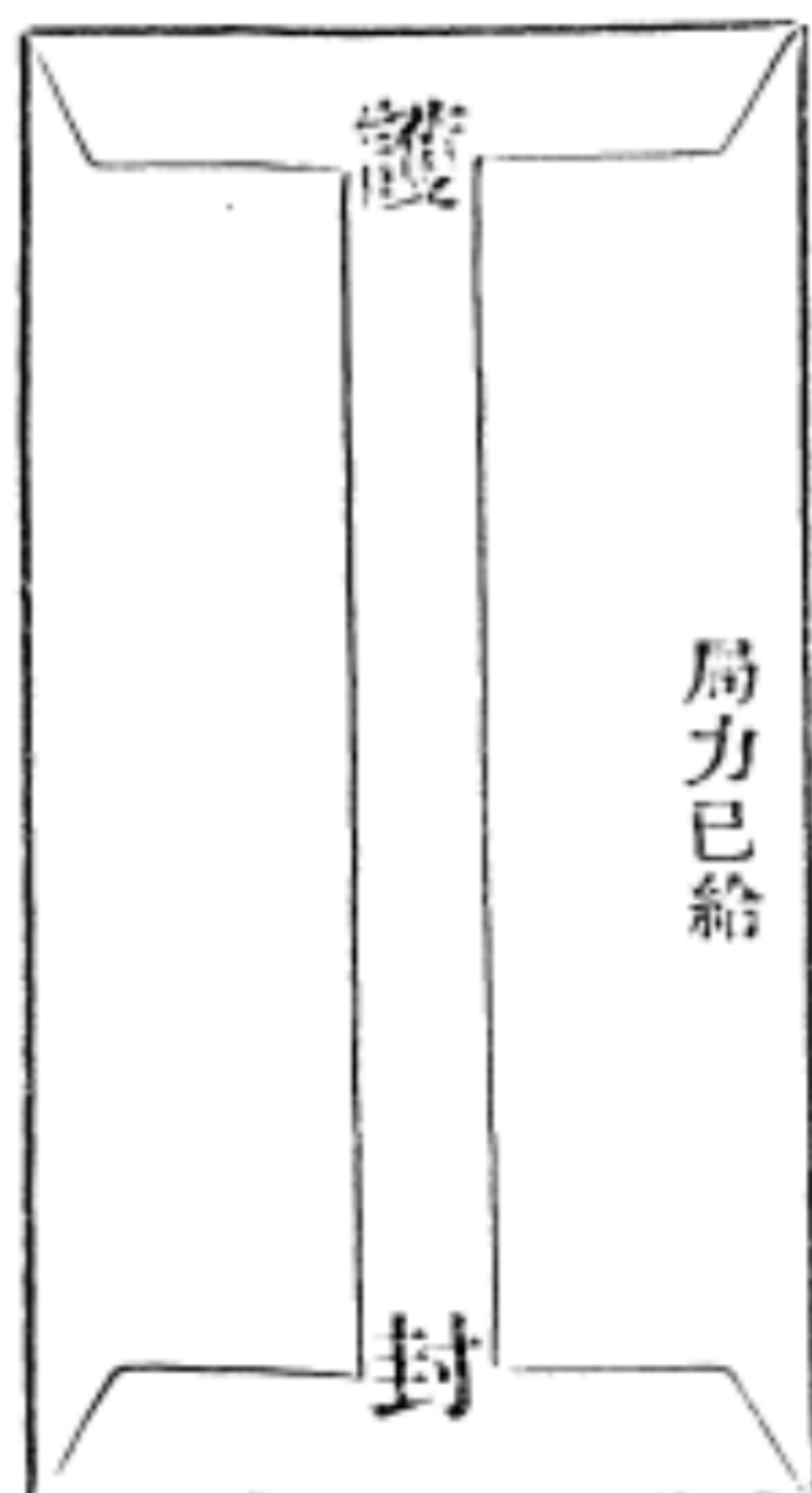
郵稅納足

平
安

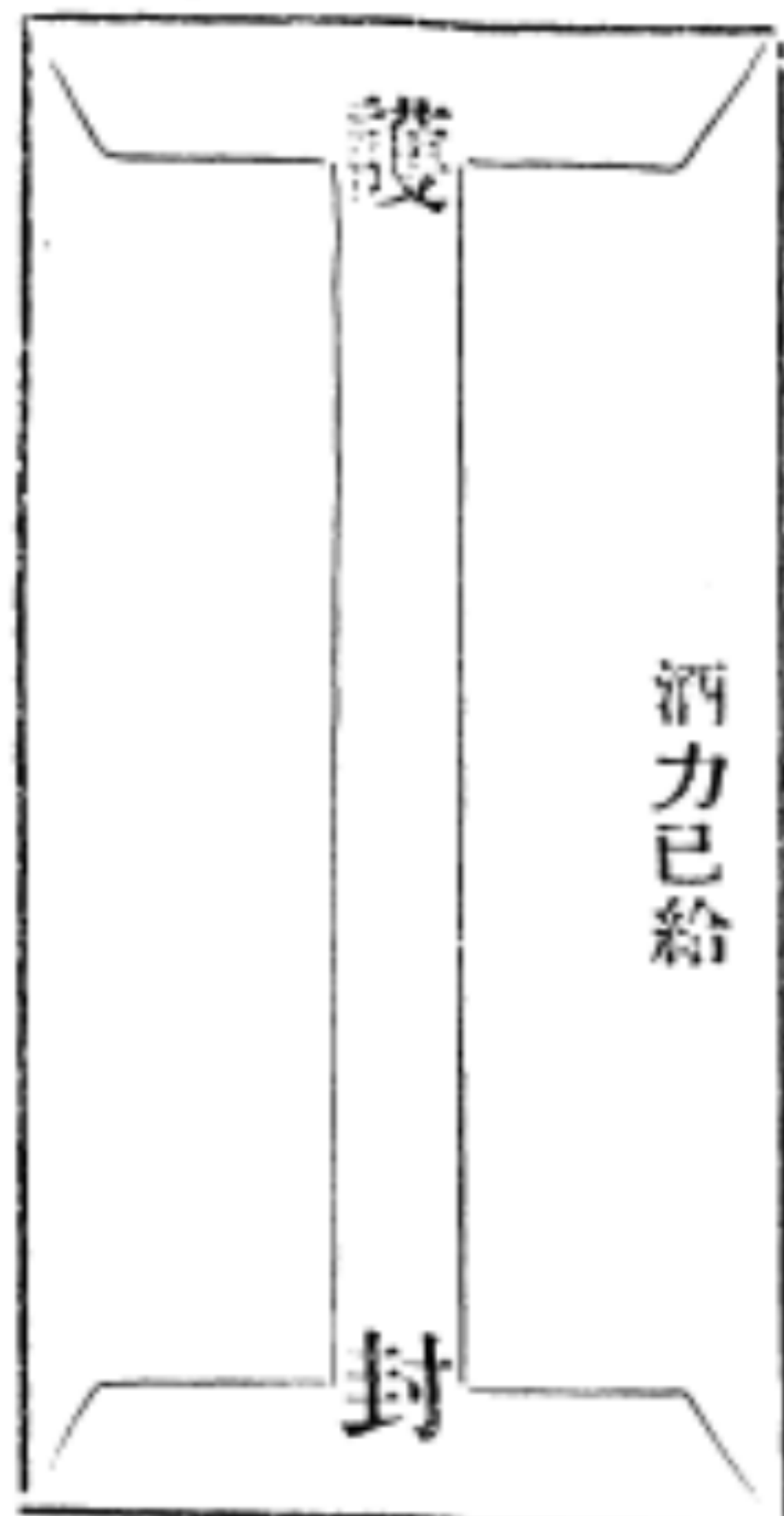
(38) 要信背面式



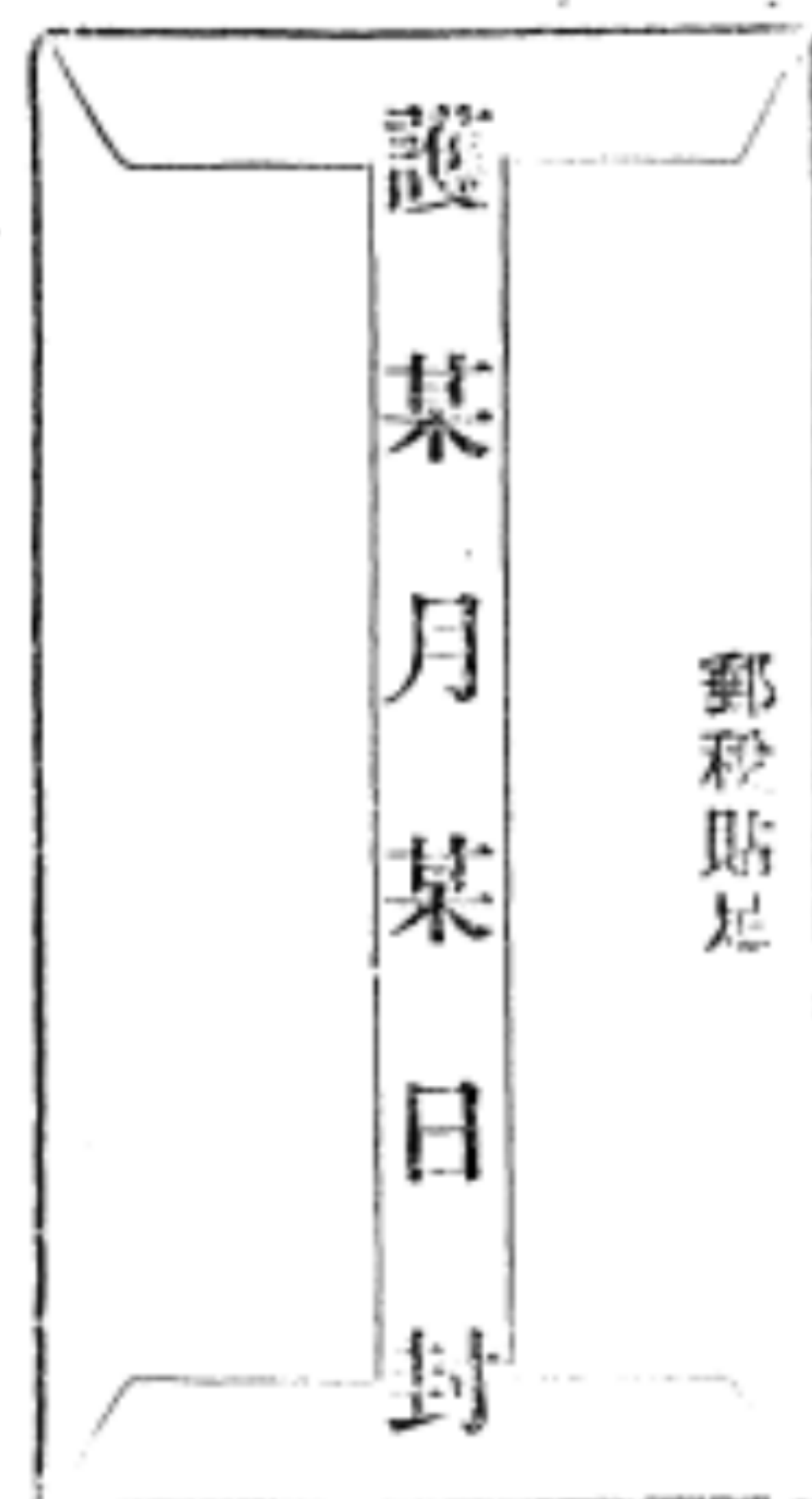
(39) 民局寄信背面式



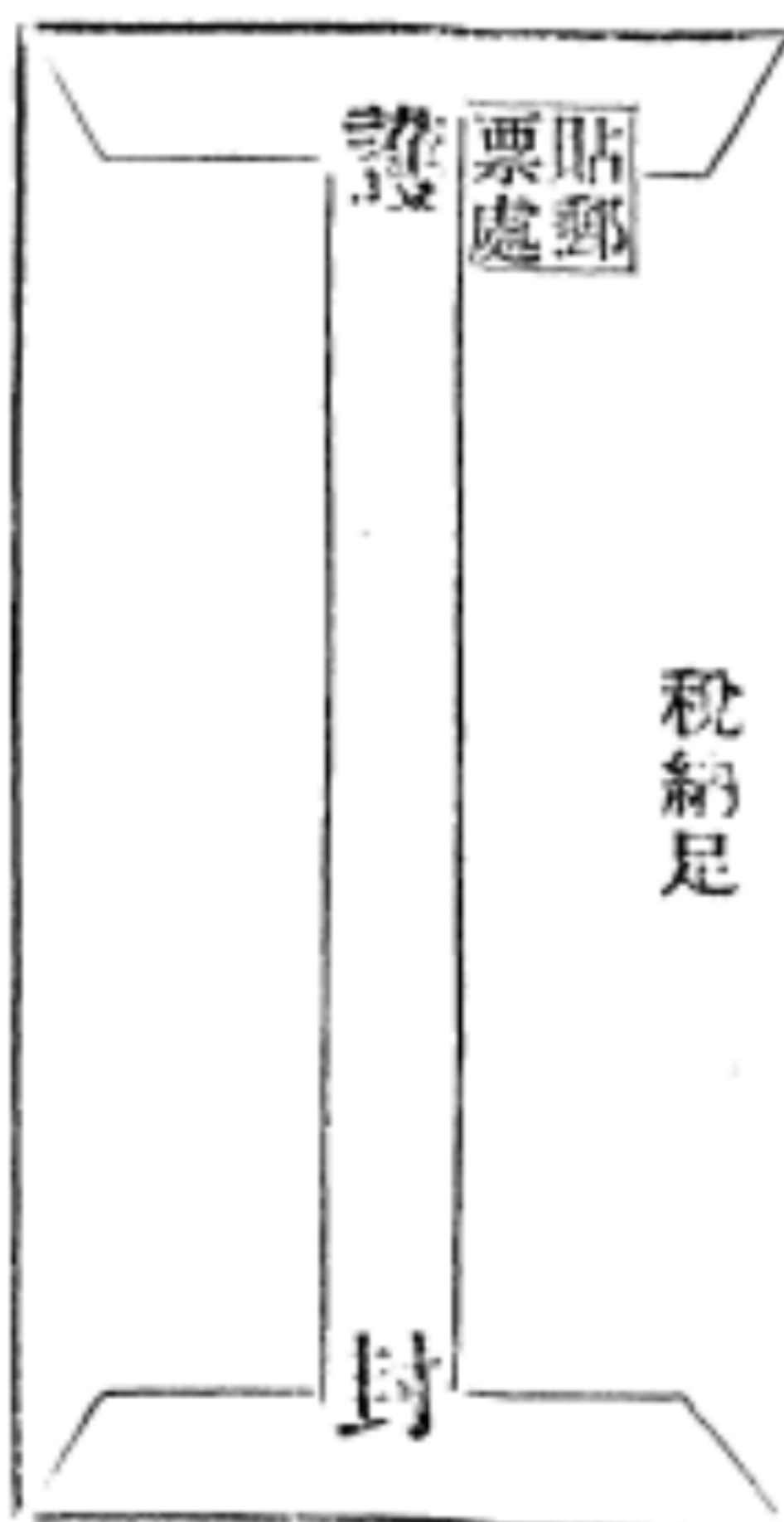
(40) 航船寄信背面式



(41) 月日填寫背面式



(42) 郵票貼在背面式



(43) 明信片正面寫式

郵票印

某省某縣某
街幾號

某某某先生台收

右邊只寫收信人姓名住址

某處某里

某寄

某月某日

CARTEPOSTALE—CHINE.
片信明政郵國民華中

【乙】便條款式

便條款其便也。不用浮詞套語。直言事實。字數不多。即能包括其意。而稱呼抬頭仍照寫信款式。但將某某仁兄台鑒等字樣。寫於便條之末耳。茲錄其式如下。

(1) 借款

茲因適有要需。擬暫移借佛幾尊。約於某日歸趙。決不失信。倘蒙金諾。祈交原人帶下為感。此請
某某吾兄台鑒
弟某某手啓即日

(2) 送款

來示已悉。茲送上大洋若干元。即請查收。并祈賜片為荷。此頌
某某老哥 刻安
弟某某上 即刻

(3) 還款

前借之款。已延多日。茲特如數奉還。即祈
察入。并

賜收條爲感。此請

某某吾兄 大鑒。

某某手上 某日

(4) 收款

承還一款。如數收訖。附奉收條一紙。即希
察閱是幸。此請

某某老哥 刻安。

弟某某手泐 某日

(5) 借物

今有某事。擬告借某物幾件。用後當即歸趙。祈
交來人帶回爲感。此上

某某先生 台鑒。

某某啓 某日

(6) 還物

茲遣人送還某物幾件。即希
查收是感。此上

某某先生 台覽。

某某上 某日

(7) 收物

來條已悉。並某物幾件。均收到。希
弗念是幸。此請

某某先生 大安。

某某泐 即刻

(8) 送物

昨日返里。帶有某物數種。茲特送呈。即希
晒存是荷。此頌

某某先生 台安。

某某手上 即日

(9) 受物

惠賜某物。謹已拜領。特此鳴謝。藉呈
貴主人 大鑒 某某鞠躬

(10) 託事

茲有某事。懇與前途竭力磋商。是否祈
示知爲感。即請
某某吾兄 台鑒 某某上即日

(11) 答事

承委一節。容與某君細商。再行奉聞。此覆。即頌
刻安。 某某泐 卽刻

(12) 邀友

茲有要事。擬屈
大駕一商。千萬勿却。此請
某某仁兄 刻安 弟某某手上即日

(13) 薦人

茲有舊僕某某人。尙誠實。擬介紹
尊。能否合用。乞暫試之。此上
某某老兄 台鑒 弟某某手啓 某月某日

(14) 留字

頃聞走謁。適值
駕出不晤。爲恨。明晨當再奉候。此上
某某先生 大鑒 某某留條 卽日

(15) 約談

茲有要事。面談。擬於下午趨謁。務祈
遲我爲盼。此請
某某先生 早安 某某拜啓 卽晨

(16) 召飲

今晚薄具小酌。千祈

光降一敘。弗却是幸。此上

某某吾哥 台鑒

某某手訂 即日

17) 辭宴

頃承

召飲。晚間適有要事。不克趨陪。至以為歉。此覆

藉呈

貴主人 大鑒

某某手泐 卽刻

【丙】明信片款式

凡無關緊要之事。可寫於明信片以付郵。但片之紙幅有限。不能多書文字。其語意當求淺顯。其詞句當求簡淨。切不可冗長拖沓。添註塗改。反致誤事而失效力也。茲舉數式如下。

(1) 致友索入場券

某某仁兄大鑒。分袂以來。瞬經一月。馳系之思。無時或釋。昨聞貴校於某日開游藝大會。屆時必大有可觀。

尊處入場券如多。將乞

賜給一二紙。俾得至期入覽為幸。

此請

台安。

弟某某頓啓 某月某日

(2) 覆友收到購件

某某仁兄台鑒。某日某某君回里帶來

代購各物件。照收不悞。價款若干。

弟已親繳

尊府矣。有費

心神。莫名感謝。專此奉覆。即請

旅安。弟某某謹啓 某月某日

(3) 託友訪人

某某仁兄閣下。弟有舊友某君。因

多年不見。未知現居何處。欲煩足

下代為探訪。倘荷

俯允。心感無任。專懇順頌

台安。弟某某謹上 某月某日

(4) 答友訪人無着

某某仁兄先生台鑒。承委代訪友人。非不遍為諮詢。奈卒未得其詳。還祈另托熟人。細為探訪。是幸。此覆並請

大安。

弟某某頓上某日

【丁】名片款式

往昔社會交際。或召宴。或贈物。有以名片代便條者。現在守舊人士。亦間用紅柬大字名片。路寫事。故飭僕賚送。較之需用信箋信封者。其手續之繁簡。誠不可同日語矣。茲錄數式如左。

(1) 贈物

送 某巷第幾家
某 先生

弟 張

毅 頓首

送上粗肴兩件。聊佐吾哥伴飲之需。即希 莞納為幸。
某哥 青覽

(二) 約談

某先生升
某某老兄 午安 送 某街

弟 李 毓 華 頓首

某兄昨由京師南下頃在弟處渴欲與兄一談特此奉邀立候
忽臨此頌

(三) 辭行

弟今晚準乘海輪北上倚裝待發不及走辭謹此奉達藉頌

弟 趙 永 年 頓啓

某某仁兄大人 政安
送 某署
某大人 升

(4) 送行

奉 示知我 公榮行在即滿擬趨前話別適有要事不克抽身尙希 曲諒謹此代饒順請

錢 選 青

某某道兄 行安 回呈
貴上大人

【戊】卡片款式

現在通行之西式卡片與明人所用二寸長白象紙之名刺同。(見明郎瑛七修類稿)惟今之卡片詳載姓名籍貫職業一目瞭然藏諸懷中極便。社交時或訪友不晤則取卡片以留字述懷或邀約親朋則取卡片以略敘事實較之信函及便柬更爲便利矣。特示數例如下。

(1) 約游

今晚某茶園特演某劇請

兄同往一觀在此恭候

大駕

弟周寶蓮頓首

某某兄台鑒

滬香江蘇武進

(2) 約談

明日星期有暇請來一談

陶堃厚之

某某先生

浙江餘姚

(3) 餽物

某先生

某某吾兄青鑒

弟吳文彬頓首

奉呈菲儀即乞

晒收為幸

雅甫京兆

(4) 謝贈

盛賜謝謝復上

某哥几右

韓保誠

回呈

貴上先生

勉之南通

(5) 辭行

弟刻有金陵之行恐勞
枉顧特聞藉頌

許必昌

某某老哥 午安

光甫吳縣

(6) 請謁

某某吾兄

陸健

今日有事擬明後日再趨謁

子康

(7) 約晤

奉訪不晤爲恨午後四時擬再來

鄒仰賢

某兄 台啓

伯高天津

(8) 訪友

下午三時來訪
太和公司

汪溥

某某先生

雨生京兆

寫信速成祕訣

第三編 寫信之資料

初學寫信。每苦無活套之資料。以助其作用。茲編搜集書信應用各資料。按次排列。俾可隨時採用。據事脫套。且可查照各語程序。而悟及全函之布置。一定之格局焉。

【一】書奉語

寫信起首。須用書奉之敬辭。以尊其人。但稱謂既不同。則敬辭亦較異。切不可率意而誤用也。

(1) 對父祖父母用

膝下 膝前

(2) 對親朋長輩用

尊前 尊右 尊鑒 賜鑒 慈鑒 鈞鑒 座

下 臺下 侍下 侍右

(3) 對師長用

函丈 帳下 門下

(4) 對兄弟姊妹用

手足 如面

(5) 對族兄弟用

如胞 如手足

(6) 對親朋平輩用

閣下 足下 大鑒 台鑒 惠鑒 電覽 升

覽 台右 台鑒 台電 執事

(7) 對平輩年幼者用

如見 如晤 如面 如握 青覽 青睞 青

及

(8) 對同學用

研右 硯席

(9) 對小輩用

入覽 親覽 收覽 收悉 知悉 見悉 閱

悉 親閱 收閱 入目

(10) 對文官用

鈞座 鈞鑒 助鑒

(11) 對武官用

麾鑒 麾下

(12) 對著作家用

著席 撰席 史席

(13) 對教育家用

講席 座右 座次

(14) 對新學家用

台席 英鑒 偉鑒

(15) 對長輩婦女用

懿鑒 懿座 慈鑒

(16) 對平輩婦女用

妝閣 妝次 繡次 奩次

(17) 對釋家用

方丈 慧鑒

(18) 對道家用

法鑒 壇次

(19) 對喪家用

苦次 禮次

【二】接緘語

接人來信而覆以去信者。開首即須提起說明。於彼此所敘之情事。方可照合也。

(1) 用於尊長師長 披讀○鈞諭。 莊誦○鈞

函。恭披○翰示。盟誦○翰諭。

(2)用於平輩。展誦○琅函。展閱○雲箋。

披讀○手書。接奉○芝函。接閱○華牋。承

賜○瑤札。辱承○手畢。

(3)用於今來札。適展○來楫。適披○瑤簡。

頃辱○瑤箋。乍披○華簡。刻奉○賜書。

頃承○賜答。某月某日接誦○瑤楫。

(4)用於前來札。某時於某地得閱○華札。

疊接○手書。向披○雲翰。

(5)用於遠來札。荷承○瑤札遠投。遙奉

○琅函。叨承○華札遙頒。遙披○翰示。

(6)用於復信。頃得○還章。刻接○還雲。

【三】去信語

凡前已去信而復行寄函者。必先提說前信是否

收別。方可免先後事理不符之忽誤也。

(1)對長輩用。前上一稟。想已○收到。日前

稟函。未知會邀○鈞覽否。某日肅上稟函。想已

獲邀○賜覽。

(2)對平輩用。前上寸絨。諒蒙○管覽。日前

馳緘。布候。諒達○典籤。某日會肅寸絨。想登○

記室。

(3)對幼輩用。前付一字。想已入目。前寄手

書。諒已收閱。前日手示。諒當收悉。

【四】啓事語

啓事語。用於書奉語之下。乃開端陳述情事之敬

辭也。

(1)用於父祖父母及長官

叩稟者。叩肅者。謹稟者。謹肅者。敬稟者。

敬肅者

(2) 用於尊長

謹啓者 敬啓者 茲肅啓

(3) 用於答覆尊長

敬覆者 肅復者

(4) 用於通常

啓者 茲者 茲啓者 逕啓者

(5) 用於答覆通常

茲覆者 逕覆者

(6) 用於請求

敬懇者 茲懇者 敬託者

(7) 用於補述

再啓者

(8) 用於計信

哀啓者

【五】闊別語

寄函於離別已久之人。必於啓事語下接用闊別語。此則寫信時所最宜注意者。

(甲) 按人敘別

(1) 用於父母 叩別○慈顏。瞬已逾月。自違○慈訓。倏忽經旬。

(2) 用於尊長 揖別○尊顏。瞬經匝月。奉別○鈞顏。于茲數月。睽違○慈範。幾度蟾圓。疏

逃○德暉。寒暑頓易。

(3) 用於師長 拜違○矩海。屈指月餘。疏奉○指南。匪伊朝夕。不親○講席。又復經年。奉

違○塵教。弦朔頻更。

(4) 用於平輩 睽違○叔度。彈指三旬。不奉

再啓者

再啓者

再啓者

○清談。瞬經一月。不親○芝字。忽忽經年。疏
逃○光儀。忽經半稔。

(5)用於文官。睽遠○鈞字。裘葛已更。不瞻
○福曜。半載於茲。拜別○鈞顏。倏逾數月。

(6)用於武官。拜別○英姿。倏經一稔。不瞻
○旌節。幾度蟠圓。自違○幕府。叠換星霜。

(7)用於婦女。疏逃○關儀。已逾匝月。奉違
○閨範。兩閱旬期。不親○懿範。屈指月餘。憶

別○芳顏。于茲數月。自隔○壺範。瞬已經年。
(8)用於釋道。不聆○禪訓。半載于茲。阻挹

○仙風。倏更寒暑。

(乙)撫時敘別

(1)春別至夏。東風擗別。倏屆朱明。昔時賦
別。方當柳暗花明。此日遐思。忽屆槐陰麥熟。

(2)春別至秋。知己闕別。春復徂秋。時昔話
別。旗亭鶯啼暖日。今茲感懷。梧院蟬噪涼風。

(3)春別至冬。春初話別。倏忽歲寒。憶昔翠
衣話別。聞出谷之鶯鳴。乃今對月與懷。訝印橋之
鴻迹。

(4)夏別至秋。麥天一別。容易秋風。昔聽蟬
噪青槐。方憶別意。今睹鴻飛。紫塞頓起離思。

(5)夏別至冬。不通聞問。經夏涉冬。炎日當
空。方賦離情於涼館。寒風吹沼。忽牽別恨於灞橋。

(6)秋別至冬。自經判袂。秋去冬來。玉露初
凝。爾日之別。離許久。雪梅將綻。今朝之感。慨偏多。

(丙)據地敘別

(1)自京中別。憶自京華把袂。飲聆○塵談。○
明月清風。至今在目。

(2) 自省中別 憶回省垣聚首。快我私衷。自賦河梁。又經久別。

(3) 自縣中別 相聚邑中。時親○教益。自經握別。離索殊增。

(4) 自鄉中別 奔走四方。久離鄉井。彼此遠隔。彌覺闕疎。

(5) 自他省別 某省得圖暢敘。藉慰私衷。別後彼此相違。竟同星散。

(6) 自他鄉別 憶自某鄉把晤。同罄情懷。判襜以來。徒深饑渴。

(7) 自江湖別 浪迹江湖。得親○道範。別來歲月。倏忽遷流。

(8) 自旅館別 曩時旅邸聚談。疊荷○殷殷關注。嗣以睽違兩地。頓覺歲序推移。

(9) 自途中別 昔日邂逅相遇。快領○教言。別後遠阻山河。頓移節序。

(10) 自舟中別 自同舟某處。藉挹○蘭芬。別後相違。寒暄屢易。

(11) 自近處別 不親○叔度。倏忽逾時。咫尺相違。有如千里。

(12) 自遠處別 關河修阻。跋涉維艱。憶隔○光儀。遞更節序。

(13) 自兩地言 楚水吳山。迢遙疆域。一經隔別。境異情疏。

(丁) 依事敘別

(1) 自共事而別 某處共事。承荷○雲情。別來星序頻移。末由一晤。

(2) 自同學而別 憶自某校同窗。晨昏與共。別

來鹿鹿。未暢情懷。

(3) 自迎迓而別 自某處道上。祇接○行旌。獲

荷○隆情。頻加○眷注。逮遠○雅範。節序屢更。

(4) 自送行而別 自○行旌。過發某處。趨送道

旁。別來物換星移。幾經屈指。

(5) 承迎迓而別 憶昔停車某處。荷承傾蓋言

歡。判袂以來。歲移候改。流光之速。如斯如斯。

(6) 承送行而別 憶昔掛帆。迅往某處。荷承○

殷殷眷注。惜別流連。自分袂以來。星霜屢易。回首

依依話舊。不覺悵然於心。

(7) 承贈儀而別 某時把晤。快接○清談。臨別

承○賜贖儀。足徵○綺注。五中銘泐。何日忘之。

(8) 承贈物而別 憶某處握手。暢敘幽情。別時

○眷注殷殷。荷蒙○隆儀相贈。至今篆牘。感何可

言。

(9) 承賜餞而別 曩時把袂。○盛意頻仍。臨賦

驪歌。復承餞飲。離人未散。早已心鑄。

【六】疏候語

凡對於久未通訊之人。啓事下即接用疏候語。以

表示抱歉之意。於情理上方能相合也。

(1) 路遠疏候 滿擬裁箋通候。祇緣雲山遠隔。

有願莫償。滿擬尺素通情。奈因郵便難逢。竟致

有懷莫展。

(2) 事繁疏候 祇以蠅集紛繁。未遑片楮通情。

稍抒積悃。祇以塵緣碌碌。蠅務頻仍。未獲肅泐

蕪函。藉通悃曲。

(3) 奔走疏候 勞人草草。奔走靡遑。未獲魚腹

裁箋。稍抒積悃。祇爲馬牛奔走。未及肅函奉候。

兼寫閨裏。

(4)抱病疏候 本欲修函。辯通音問。無奈病魔纏繞。未克片楮上呈。祇以憂抱采薪。伏枕無聊。竟日思紛。致疏候束。

(5)性懶疏候 總以阮稽疏懶。久別管城。未及細訴離衷。一伸候敬。本擬裁箋布候。無奈筆硯塵封。遂致雙魚未肅。

(6)貧忙疏候 祇緣壓線年年。依人作嫁。未及鴻書遠達。敬候○起居。祇以素處窮鄉。艱於部署。以致天涯地角。錦字稀疏。

(7)在制疏候 祇緣閉門讀禮。心跡荒蕪。未及裁箋。一通情緒。祇以苦塊未離。憂思鬱結。不獲勉強握管。一罄闕情。

(8)因已分卑疏候 總以分隔雲泥。未敢肅修

寸簡。干冒○崇嚴。祇以雲泥間隔。深懼瀆冒○尊嚴。未敢肅具蕪函。恭請○安祉。

【七】思慕語

書函通候。必先述自己渴慕之忱。以示敬意。但用此客套。亦當視其人之分際。而措以適當之文辭。方可合宜也。

(甲)對人思慕

(1)對父母用 不勝孺慕。孺慕彌殷。

(2)對小輩用 時在念中。至為思念。我甚馳念。

(3)對長輩用 思慕○高風。神情渴注。企慕之思。曷其有極。仰瞻○山斗。思慕良殷。引領○慈雲。倍深瞻仰。

(4)對平輩用 晦明風雨。企念時殷。瞻企○

清標。渴塵萬斛。每懷靡及。魁企空勞。言念○
故人。形神飛越。中懷根觸。夢穀爲勞。想思之
切。與日俱深。眷念○伊人。時縈寤寐。

(5) 對師長用 遙望○門牆。慨深思慕。仰瞻
○斗極。倍切馳思。路隔山川。神馳○絳帳。○
程門立雪。何日忘懷。

(6) 對官長用 趨企○五雲。輒深景佈。遙企
○標輝。時深悵慕。引領○福星。倍深瞻仰。

(乙) 對景思慕

(1) 春季用 仰對春光。懷深雲樹。暮雲春樹。
延企爲勞。春深南國。人伴東風。對此花香鳥
語之時。倍深悵想瞻馳之意。

(2) 夏季用 薰風披處。時念○故人。瑤琴懶
撫心企○知音。靜對荷葉。翹瞻逾切。對此柳

線牽愁之日。頓起風雨雞膠之想。

(3) 秋季用 蒼葭秋水。正切溯洄。每對秋光。
彌殷霞湖。月白風清。輒深神往。對此露白葭
蒼之候。殊切迴洄秋水之思。

(4) 冬季用 寒燈夜語。眷念彌殷。梅影橫窗。
懷思倍切。雪梅霜樹。企慕彌殷。寒梅花未。獨
自回爐。不免黯然神往也。

(丙) 未會思慕

(1) 對長輩用 耳熟○芳型。時殷仰止。久欽
○碩望。時切瞻依。風瞻○山斗。會面無由。久
耳○大名。時深景仰。

(2) 對平輩用 久慕○芳名。未親○芝宇。久
仰○風聲。未親○月抱。夙慕○高風。無緣良晤。
瞻○韓徒切。識面無從。

【八】頌揚語

頌揚語必須用得其當。蓋對人措詞。既有等級之異。又有界別之殊。寫信時極宜審慎。以免文不對題。而貽笑大方也。

(甲)頌揚發端詞

恭維 敬維 伏維 辰維 遙維 近維 邇維 時維 祇維 卽維 比維 敬誌 就誌 遙誌 藉知 遙知 敬想 敬諦

(乙)頌揚起居詞

(1)用於親長○吉集履祺 福徵頤養○福壽駢蕃 眠餐暢遂○崇祉綏和 清祺暢適○福祉登宜 起居增健○禮福駢臻 德輝驕著○福躬健勝 德履綏和○福與日增 德隨年劬○道躬集慶 福履增綏

(2)用於平輩○眠食千祥 起居萬福○清祺多福 諸務順懷○聲華日茂 景福時申○起居休譽 聞望交隆○鼎祺納燕 泰履延鴻○德祉翔華 禮躬懋譽○燕譽清高 鴻禧駢集

(3)用於政界○德茂棠陰 澤涵芸庶○仁風廣布 霖雨遐敷○駿望日隆 鴻猷風樹○宏猷彪炳 景福駢臻○林壬曼慶 令甲宣勤

(4)用於軍界○戎旌著績 幕府揚威○威望風馳 勳章露布○聲華卓越 勳福光昭○勳華起鵠 建樹延鴻

(5)用於學界○撰祉延鴻 文祺集結○文祺晉祐 著業延釐○茂對襟期 時綏莩祿○德與日新 功隨時茂○文祉翔華 著祺集吉○著述闡深 榮問休暢○文藻日宣 聲華騰起

○鴻才卓越。○燕譽高翔。

(6)用於商界○駿業鼎新。○鴻猷恆煥。○晉業

日新。○泰祺雲集。○財祺茂盛。○時祉綏安。○財

祺綏燕。○時祉吉羊。○壽祺迪吉。○履祉延麻。○

大業鴻升。○雄財駿發。○駿業維新。○鴻猷式煥。

○壽祺邁駿。○財祉延鴻。

(7)用於旅客○邸祺集燕。○旅况迎羊。○客邸

延禧。○凡百休暢。○旅祉增綏。○時祺篤祐。○旅

祺豐茂。○履祉綏和。

(8)用於婦女○綺閣凝釐。○璇閨集吉。○閨祺

叶豫。○盛福允豐。○蘭房迓福。○菱鏡凝祥。○坤

貞叶吉。○豫順凝麻。○德草納鹿。○懿案延鴻。○

象服延祉。○鳳釵集瑞。○慶集瓊樓。○麟凝玉珮。

(丙)頌揚起居潭社詞

(1)用於尊長○慈躬康泰。○潭第安和。○頤養

日隆。○履祺雲集。

(2)用於平輩○履祉綏和。○潭祺暢遂。○履泰

宜豐。○潭第綏餘。○閣潭多福。○諸務迎祥。

(3)用於政界○政躬休譽。○潭署安祥。○榮祺

蟠集。○潭福駢臻。○善裾多福。○潭第凝麻。

(丁)頌揚統詞

(1)用於長輩○冬暖宜人。○春和煦物。○德容

恆著。○仁壽滿欽。○香山比算。○洛社齊名。○望

隆梓里。○算衍椿齡。○蒼梧翠竹。○徵高峻之規模。

璞玉渾金。○見老成之矩範。

(2)用於平輩○叔度光儀。○元龍氣量。○矯然

立鶴。○卓爾猶龍。○襟期高曠。○吐屬溫和。○秀

鍾崧嶽。○志聳雲霄。○汪度虛涵。○穆風聲於智府。

清規遠映。皎月色於靈臺。

(3) 用於政界。○宓琴橫案。趙鶴窺簾。○治濟文翁。化同召父。○濟世舟航。匡時柱石。○仁風遠被。德化旁敷。○操凜四知。月映懸魚之舍。政成三異。風清馴雉之鄉。

(4) 用於軍界。○孫吳偉績。韓范雄才。○盛世干城。中流砥柱。○聲茂召公。望隆方叔。○嚴疆鎖鑰。社稷金湯。○虎帳風清。四境息烽烟之警。柳營月霽。千屯靜刁斗之聲。

(5) 用於學界。○鳳翥文林。龍騰學海。○駿譽清超。鴻才卓越。○學富五車。才凌八斗。○斯文斗望。吾道巖瞻。○茹古含今。漢文淵而日富。佩腴擷秀。擴學海而逾宏。

(6) 用於商界。○運籌有策。貨殖多能。○謀猷

卓起。度量高超。○湖海達人。市塵傑士。○才高端木。富擬陶朱。○計算執籌。比千乘之家無不足。興生舉息。等萬戶之侯且有餘。

(7) 切合門第。○簪纓貴閥。鐘鼎高閭。○王謝名門。金張巨族。○仁深累代。果然餘慶可期。福萃一門。會見休徵畢集。

(8) 切合人品。○璠璣粹品。岱岳崇標。○丰標岳峙。氣度淵澄。○真心介特。元氣渾融。○望高山斗。度擴滄溟。○長江大河。世莫窺其涯涘。泰山嵩嶽。人共仰其孤高。

(9) 用於婦女。○韋曹比美。鍾郝聯輝。○金相比嘆。玉德齊溫。○徽音遠播。懿範咸欽。○壺儀足式。女表堪師。○動容中禮。曹大家之典型。發言有章。王夫人之矩度。

(戊)頌揚欣慰詞

(1)複句頌慰 仰睇○德暉。定符臆頌。引企○芝暉。莫名藻頌。眷懷○雅望。殊慰私衷。翹企○光儀。不勝忭慰。仰景○鴻儀。莫名忭慰。式如所頌。欣忭莫名。翹瞻○喬采。莫罄懼愉。引領○光儀。式符鄙頌。○引睇○吉暉。曷勝忭躍。引瞻○光霽。欣忭奚如。

(2)單句頌慰 欣慰奚如。至為頌慰。以欣以慰。為欣為慰。欣忭奚似。莫名忭頌。不勝欣慰。定符下頌。為無量頌。欣慰無量。為頌無量。至以為頌。至以為慰。慰如所頌。如頌為慰。深愜頌忱。式符鄙頌。尤如所頌。既頌且慰。定如臆頌。甚慰甚慰。曷罄頌私。深慰遠頌。

【九】自敍語

對人述告自己之情狀。措詞必須自謙。而命意尤以切合當時境況為宜。茲列各種敍法如下。

(1)敍才學淺 學慚窺豹。業愧蠶登。識線短才。豐天小見。

(2)敍才力拙 鹿鹿庸才。魚魚末學。識慚老馬。性類拙鳩。

(3)敍貧窮狀 乞米有書。點金無術。憂難避債。地僅立錫。

(4)敍生活難 守祿有地。托鉢無門。困守家園。謀生無計。

(5)敍謀業難 才疏識陋。援引無人。學識迂疏。乏人推轂。

(6)敍任事艱 汲深纒短。蚊負堪虞。力短心

遠事繁責重。

疾病未除時。憑湯藥。屏軀微。

(7) 敝身病弱。

持殊難措手。心空求買道。乏生財。年來營業。

弱職務多疏。

乏善可陳。

(8) 敝勞碌甚。

(14) 敝老耄至。兩鬢蕭蕭。一身落落。桑榆已。

忙身同繭縛。

暮風木堪驚。

(9) 敝家務多。

(15) 敝知識短。雙瞳如豆。一葉迷山。淺見寡。

政。日夕勞心。

聞未諳時務。

(10) 敝奔走苦。

(16) 敝時事乖。趙壹命窮。楊朱路窄。事多假。

萍欲安不得。

塞境值連遭。

(11) 敝性情懶。

(17) 敝知己少。羈滯家園。卒無遇合。家園株。

情願多疏懶。

守知己難逢。

(12) 敝事務煩。

(18) 敝荒歉甚。荒歉頻遭。鴻嗷待哺。形多菜。

紆支持不暇。

色身困梁謀。

(13) 敝貿易難。

(19) 敝門第小。荒涼門第。寒素家風。家素寒。

蠅務紛來。蠅頭難覓。店務支。

微荒涼身世。

(20) 敍旅况難。天涯落魄。旅况多艱。身關似葉骨瘦於梅。

(21) 敍貧老逼。老漸逼人。飢來驅我。桑榆已暮。藜藿難充。

(22) 敍未脫俗。塵網羈身。未能解脫。塵根未淨。俗慮牽纏。

(23) 職官自謙。一官匏繫。半世薪勞。壹是匏懸。愧無樹建。

(24) 軍界自謙。羈身軍旅。弁陋無文。迹託戎行。蓬飄靡定。

【十】告幸語

告幸語。接用於自敍語之下。詞意方能完結。乃寫信中必要之層次也。

(1) 幸已無恙。惟幸賤軀。適可舒。○錦注。

惟幸賤體平安。毋勞。○綺注。惟有平安兩字。可告。○故人。

(2) 幸親無恙。惟幸高堂無恙。足慰。○注存。惟幸家體氣康強。足抒。○遠念。

(3) 幸家無恙。惟幸賤眷平安。無煩。○綺注。差幸舉家平善。足慰。○綺懷。所幸諸叨。適堪慰。○塵念耳。惟幸長幼之胥安。撫寸心而自慰。

(4) 幸歲豐稔。惟幸歲收豐稔。稍得展舒耳。惟幸年逢大有。可以稍寬懷抱耳。

【十一】希惠語

凡寫信求人助益於己者。謂之希惠語。須按情事而措詞。茲於「自敍語」下。接以希惠語兩種。一則就人之情誼上而言。一則就事之切實者而言也。

(甲)對人的希惠

- (1)對尊長用 惟冀遠○錫仁慈。垂憐憐味。
惟冀略分言情。○不遺卑鄙。
- (2)對師長用 惟冀當年○化雨。此日仍沾。
惟冀○絳帳春風。長披小草。
- (3)對平費用 惟冀○舊雨垂青。時深○照拂。
惟冀○雅誼高情。時深○提挈。
- (4)對戚誼用 惟冀○層雲雅誼。○垂念葭葦。
惟冀○殷拳雅意。○眷念舊姻。
- (5)對世誼用 惟冀○垂念故人。不我遐棄。
惟冀○厚意雅懷。不遺故舊。

(乙)對事的希惠

- (1)假借財款 分汲江水。以濟涸鱗。 分取江
波。用甃枯鯉。
- (2)指點迷途○南車登指。俾便適從。 屢○賜
南鍼。以匡不逮。
- (3)願念窮困○魯困慨指。○杜廈咸收。○嘉惠
下頒。○仁風時被。
- (4)照應事件○鄰輝不遠。餘照可分。○關注百
端。○分神照察。
- (5)玉成美事○鼎言婉轉。○曲賜矜全。○鼎力
扶持。○玉成一切。
- (6)允成美事○慨然俯允。迴異恆流。○慨然愈
允。佛時仔肩。
- (7)推薦美事○口角春風。深蒙○吹拂。 承蒙
○說項。俾獲枝棲。
- (8)原諒心事○大加體諒。○格外鑒原。○俯察
下情。○曲為原諒。

(9) 包涵過失。○汪洋恣度。○廣爲涵容。○大度包荒。○曲加容隱。

(10) 陶成子弟。○甘雨滋培。○春風噓拂。○深仁噓植。○厚澤栽培。

(11) 求改文藝。○賜以郢斤。○大加斧削。○大施刪削。○勿吝金鍼。

【十二】感激語

感激語。是承人之惠而心感之也。但語意因對人對事而較異。

(1) 對長輩用。則感戴。○鴻恩。益無既極矣。感激。○深仁。如拜琅玕之賜矣。

(2) 對平輩用。則寸衷銘泐。沒齒難忘矣。私衷感激。格鬯對宣。

(3) 代人感激。則不獨身受者感激靡涯也。

則感激之忱。不徒身受者鑠諸肺腑也。

(4) 衆人同感。則感承。○厚惠。不徒某銘諸心版也。則感荷。○深恩。不獨某一人而已也。

(5) 存沒均感。則。○厚澤鴻恩。存沒均感矣。則仰承。○厚德。存沒銘感矣。

【十三】應趨語

凡事有應當親往其人之前者。如喜喪各節。均須對於其事以敘及之。

(1) 應賀。滿擬登。○堂。躬親燕賀。分應整肅。趨賀。○台階。

(2) 應祝。滿擬登。○堂。躬親祝嘏。分應莊肅。趨賀。○箕踞。

(3) 應送。滿擬趨。○前。河梁遠送。分應就道。趨送。○行旌。

(4) 應慰 滿擬登○堂。躬親慰問。分應造○府。聊展慰忱。

(5) 應弔 滿擬登○堂。躬親弔唁。分應趨弔。並罄唁言。

(6) 應輓 滿擬如期。執紼道左。分應執紼。恭輓○輓車。

【十四】阻趨語

阻趨語。接用於應趨語之下。說明有所阻而不能趨就之理由也。

(1) 路遠阻 奈迢迢道里。未克免趨。無如遠隔山川。免趨莫及。

(2) 事冗阻 奈塵蹤羈絆。未展微忱。無如俗務紛牽。免趨莫遂。

(3) 風雨阻 奈長途泥濘。遂阻免趨。無如風

雨惱人。未能造謁。

(4) 奔走阻 奈山川跋涉。未便免趨。無如奔走道途。末由把晤。

(5) 抱病阻 奈采薪憂抱。造晤無由。無如病困茂陵。免趨願阻。

(6) 遠寓阻 奈遠方寄跡。未克免趨。無如留寓遠方。未能趨見。

【十五】告訴語

告訴者。自述疏忽致咎之情。求人原諒之謙詞也。

(1) 對長輩用 諸多缺略。還冀○曲原。疏略之咎。諒叨○原宥。

(2) 對平輩用 向蒙心契。敢乞○鑒原。疏忽之處。定蒙○曲諒。

(3) 對親戚用 忝在至戚。定荷○鑒原。成誼

攸關。諒蒙○眷宥。

(4) 對宗族用 忝屬宗親。諒蒙○寬宥。宗親

誼重。諒荷○鑒原。

(5) 對官長用○憲度汪洋。定蒙○鑒宥。淵涵

憲度。定荷○鑒原。

【十六】干聽語

干聽者。謂自己不揣事理。冒昧上陳之謙詞也。

(1) 對尊長用 不揣委瑣。冒瀆○威嚴。敢冒

○威嚴。上瀆○尊聽。不憚煩言。有干○鈞聽。

不揣冒昧。上塵○嚴聽。

(2) 對平輩用 敢將鄙意。上達○清聽。不揣

冒昧。妄觸○聰聽。特肅蕪函。妄干○聰聽。冒

昧陳詞。上塵○清聽。

【十七】恃愛語

恃愛語。謂彼此情誼有密切之關係。故可以自恃

無恐。而率直陳告也。

(1) 對尊輩用 辱在○愛下。用敢直陳。素蒙

○垂憐。故敢瀆懇。

(2) 對平輩用 忝在知好。故敢直陳。恃在知

心。不妨瑣瀆。

(3) 對戚誼用 恃在至戚。用敢縷陳。辱附霞

華。用陳瑣語。

(4) 對世誼用 叨在世好。因敢瑣陳。忝屬通

家。故敢冒瀆。

【十八】保重語

保重語。雖是對人客套之口頭話。然寫信用之。亦

當有分別。不可出籠統也。

(1) 對長輩用 伏祈○珍攝。伏冀順時○珍

衛。伏祈○自珍。以膺○繁祉。

(2) 對平輩用。尙祈○順時保重。尙冀○玉攝隨時。仰惟○寢饋自珍。

(3) 對居喪者用。惟冀○節哀自重。尙冀○節哀順變。尙希○抑痛守身。

(4) 對旅行者用。惟冀途中隨時○珍攝。尙祈按途隨候○日珍。惟祈旅次隨時○珍衛。

【十九】中悃語

致書於人。以申中悃。當隨人事而措詞。方能合宜。

(1) 對長輩用。虛申下悃。敬宣鄙悃。具陳蟻悃。敬表丹忱。

(2) 對平輩用。縷陳積悃。川表私忱。聊寫寸私。敬鳴悃曲。藉表微忱。

(3) 感謝。藉申感激。聊鳴感佩。用展謝忱。

敬宣謝悃。

(4) 祝賀。恭伸○華祝。恭表祝忱。藉鳴賀悃。敬陳賀悃。肅表賀忱。

(5) 慰喪。縷奉唁言。恭陳唁意。用展唁忱。

(6) 送行。藉達別情。敬陳離緒。特訴離悃。

【二十】盼禱語

致書於人。具有盼望或禱求之意者。必用此語以示鄭重。

(1) 通用的。是所切禱。是所盼禱。至盼至禱。是所至盼。不勝企禱。至爲盼禱。無任企禱。

(2) 特殊的。不勝盼禱之至。不勝企望之至。不勝翹盼之至。不勝跂望之至。

【二十一】泐緘語

泐。猶言專寫此函也。書信結尾處多用此種字面。

(1) 對長輩用 謹肅蕪稟 敬肅稟緘 用修寸稟 肅馳蕪稟 蕪穎肅函 恭泐寸稟

(2) 對平輩用 專此 手此專布 特此布達 泐修片楮 率泐蕪緘 用泐寸箋 肅泐數行 肅泐片緘 綠肅蕪緘 用敢觀縷 肅此馳布 泐此奉陳 泐此奉覆 肅泐布覆 勿此布覆 專此奉布

【三】臨書語

臨書謂正常寫信之時也。書函結尾處亦常用此語。

(1) 對長輩用 臨穎悚惶 欲言不盡 馳穎不勝依依 臨池無任依切 臨楮不勝依戀之至

(2) 對平輩用 臨穎不勝瞻馳 臨風瞻溯 不盡所云 臨穎神馳 言不盡意 臨書翹企 不盡欲言 臨楮神往 不盡所懷

(3) 喜事 臨穎益用歡欣 臨池無任欣羨 臨箋不勝雀躍 臨池慄慄 益用依依

(4) 喪事 臨書悵仄 不盡區區 臨楮哀切 不盡所云 臨池悵悵 不盡所懷 臨風哀感 不盡神馳

【三】附餽語

附餽謂附寄餽贈之禮物也。寫信敘及此點亦當注意應用之謙詞。

(1) 尋常餽物 藉修蕪函 外具不腆 外具微儀 用伴荒束

(2) 賀禮通用 外陳菲物 聊表賀忱 附具菲

儀藉申賀悃。

(3) 婚娶禮物 花燭微儀。聊陳香席。 微儀不

腆。用佐香筵。

(4) 送嫁禮物 綈綈微物。聊佐香奩。 附具微

儀。愧非妝助。

(5) 祝壽禮物 附將微物。聊佐霞觴。 附具桃

儀。惟祈。○晒納。

(6) 弔唁禮物 附具賻儀。用申弔敬。 附呈唁

敬。藉表微忱。

(7) 年節餽物 附呈菲敬。聊佐辛盤。 謹具微

儀。聊資獻歲。

(8) 午節餽物 附具微物。聊佐午筵。 附具菲

儀。佐添午席。

(9) 秋節餽物 附陳微儀。聊供賞月。 附上菲

儀。用佐玩月。

(10) 重陽餽物 附具菲儀。用傾菊釀。 附上菲

敬。聊佐菊觴。

(11) 贈送用物 附贈某物。聊表微忱。 某物附

陳。聊應綏意。

(12) 餽送贖儀 附具微贖。用表別忱。 附上贖

儀。聊壯行色。

(13) 以物謝人 附具微物。藉表謝忱。 外附微

儀。用鳴謝悃。

【二四】謝贈語

謝贈語。是受人餽贈之物。覆函表示感謝之詞也。

(1) 謝贈賀禮 渥荷○隆情。○寵頒厚貺。拜登

之下。感愧莫名。 乃荷○雅意。○寵錫隆儀。拜領

之餘。曷勝慚感。

(二)謝贈贈儀 荷蒙○降儀賜弔。感何可言。深荷○卹賜降儀。無任感激。

(三)謝贈贈儀 乃承○寵錫。感儀。無任心感。荷○賜降儀。行裝生色。私衷感激。莫可言宣。

(四)謝贈尋常品物 荷蒙○厚意。○貺我諸珍。拜領之餘。銘感無極。承蒙○珍物下。願足微○厚誼。忝屬知己。敢不拜嘉。

【二一五】乞收語

具函送人禮物。請其收納。亦有應用之敬詞。

(一)對長輩用 伏乞○賜查。伏祈○賜納。

敬乞○賜存。乞○賜鑒存。

(二)對平輩用 希卽○莞納。乞卽○晒存。

至祈○督納。幸卽○鑒存。

【二一六】望覆語

望覆語。是情事有關緊要之函。必須望寄回信之詞也。

(一)對長輩用 務乞○迅賜德音。敬乞○覆諭。立盼○慈覆。卽○賜覆示。

(二)對平輩用 務希○覆賜采雲。務祈○迅賜環雲。乞卽○賜我好音。還乞○惠賜福音。乞賜○回玉。

【二一七】請安語

請安語。函末必用之恭維詞也。類別甚多。分列如左。

(1)用於父母 敬請○金安。敬請○福安。

(2)用於尊長 恭請○康安。祇請○鈞安。

肅請○崇安。祇叩○健安。敬請○福安。

(3)用於師長 敬請○康安。恭請○道安。

虔請○講安。 祇請○教安。

(4)用於官長 恭請○助安。 敬請○鈞安。

恭敬○助綏。

(5)用於平輩 敬頌○大安。 敬請○台安。

順請○近安。 並頌○時綏。 順頌○時祺。 卽

頌○台綏。

(6)用於小輩 順詢○近祉。 此詢○近佳。

卽問○近好。 卽問○日佳。

(7)用於學界 祇頌○撰安。 祇請○著安。

順請○文安。 卽頌○文綏。 敬頌○文祉。

(8)用於商界 敬請○籌安。 順請○財安。

順頌○籌祉。

(9)用於旅客 敬請○旅安。 頌請○客安。

順頌○旅祉。

(10)對有父母者用 敬請○侍安。 順頌○侍祉。

(11)對在家者用 順請○潭安。 並頌○潭綏。

(12)對辦公事者用 敬請○公安。 順頌○公綏。

(13)用於賀喜 恭賀○鴻禧。 敬賀○大喜。

(14)用於賀年 恭賀○年禧。 敬賀○歲禧。

恭賀○新禧。

(15)用於賀節 恭賀○節禧。 敬賀○節祉。

(16)用於唁喪 敬請○禮安。 專候○孝安。

敬候○孝履。 專候○素履。

(17)對長輩婦女用 敬請○懿安。 恭請○慈安。

敬請○福安。

(18)對平輩婦女用 敬請○淑安。 恭請○靈

安。祇請○姦安。並請○妝安。順請○繡安。

敬請○坤安。

(19)對幼輩婦女用 卽詢○閨好。順詢○繡吉。藉候○妝祺。

(20)按時用 順請○春安。敬頌○春祉。敬

頌○夏安。順頌○夏綏。卽請○暑安。祇請

○簪安。敬請○秋安。祇頌○秋綏。敬請○

冬安。祇頌○冬綏。此請○爐安。敬請○裘

安。

(21)當日用 卽請○早安。卽候○晨安。此

請○午安。順頌○晚安。卽請○刻安。○順頌

○日祉。

【二一八】冀鑒語

寫信結尾於請安後接以冀鑒語者特別尊敬之

意也。

(1)對尊長用 伏惟○恩鑒。統惟○慈鑒不

備。伏希○藹鑒不盡。伏祈○垂鑒不一。並

希○鈞鑒。仰惟崇鑒。

(2)對平輩用 惟○照不宣。諸惟○荃照不

宣。惟希○亮鑒。並希○雅照。統祈○愛照

不宣。諸惟○朗照不備。惟希○惠鑒不備。

諸惟○心照不既。統惟○澄照不戢。諸惟○

玉照不盡。統惟○丙照不悉。

【二一九】附名致意語

凡欲託人代為致意於其他者須於書後另行措

詞其式如左。

(1)用於尊長○令尊大人前希為叱名請安。○

某伯處煩叱名道候不另。○某伯前未及另稟乞

卽叱名請安。

(2) 用於平輩。○某某兄均此不另。○某某及某某代爲致聲。見○某君時。煩代候候。○某兄未及另函。希爲致候好。○某兄處未及另函。希爲致意。

【三十一】附筆問候語

寫信有代他人具名問候者。謂之附筆。亦當另行寫於書後。

(1) 代長輩 家嚴囑筆問候。某某姻伯囑筆問候。

(2) 代平輩 某某附筆請○安。某某兄附筆道候。

(3) 代子孫 小兒侍叩。小孫隨叩。

【三十二】結束語

寫信至自己具名之下。須用稟啓等字以結束之。然亦當視人之分際而著筆也。

(1) 對父母祖父母用 百叩 叩上 叩稟

(2) 對尊長官長用 叩稟 謹稟 謹上 謹肅 肅上

(3) 對平輩用 啓 謹啓 手啓 頓啓 拜啓 手奏 手泐 上 上言 頓首 鞠躬 免冠 立正 舉手

(4) 對小輩用 字 手字 諭 手諭 白手白

(5) 公函用 公啓 同啓
(6) 至友不具名用 名正肅 名心印 知恕具

(7) 名片不具名用 名正肅 名另具
(8) 信後補述用 又啓 又及

寫信速成秘訣

第四編 寫信之體格

我人有界別之名義。故寫信有各種之體格。體格既審明。不但上行下行之身分可相合。公事私事之口氣可不紊。且對於各界人物如何措詞。對於各界情事如何著筆。均能隨時酌定結構。而應用咸宜。茲編特詳列各種體格。以供寫信者之取裁焉。

【一】家族體

家書體格與他種尋常書函不同。第一稱謂須遵舊制。第二格式須依成例。第三措詞不可文飾。第四書寫不可草率。至於卑幼致函親長。宜有肅稟口氣。以表特殊尊敬之忱。親長致函卑幼。宜用命

令口氣。以示切實訓勉之意。上下相對。各如分際。就觀書面上之形式與詞意。即可知家庭中之現象優美矣。

(甲) 上尊長

(1) 子稟^父

母親大人膝下。敬稟者。日昨某表叔來此。詢知

福體康強。弟妹安吉。甚慰下懷。男一切平善。如恆。望勿

遠念。現蒙店中經理。派男幫理賬務。益當恪遵訓諭。謹慎辦事。及有餘暇。仍自研究簿記尺牘。以求商業學術之進步。至於交際上。亦隨時注意。頗為各同事所推稱。今年本店門市生意。比去歲更勝。將來男派花紅。當可較得多數。想二親聞之。亦為喜慰也。餘容續稟。敬請

金安。男某某叩稟 月 日

(2) 孫稟祖父母

祖父母大人尊前。敬稟者。不聆

訓誨。忽忽數日。恭維

起居萬福。引為頌慰。男孫叩別後。於次日午前

即到南京。探望親友者兩天。由 某某某世

伯介紹。於昨晨已進某某學校。校舍宏敞。花

木繁多。雖在城中。大有鄉間風景。空氣之佳。

尤為衛生所宜。惟是初離

左右。猶慕之私。無時或忘耳。此稟

賜覽後。請付 父親大人一閱。

恕不另稟。專肅虔叩

福安。孫男某某謹稟 月 日

(3) 姪稟伯叔

伯叔父大人尊前。敬稟者。叩別

慈顏。忽逾兩月。近診

精神強健。

眠食勝常。同深欣慰。姪自偕某兄弟在此營業。同

心協力。凡事互相勉勵。可釋

遠懷。惟某兄弟日前偶冒風寒。遂致抱恙。當病發

之日。飲食雖仍照常。姪已覺其神態不適。力

勸休息安眠。次日病勢果劇。幸醫治得手。刻

已痊愈。不久即可調養復元。此後姪與某兄弟

尤宜注意衛生。當不致以小恙再貽

長者之憂。一切請抒

慈念。是所切禱。專肅敬請

福安。姪某某謹稟 月 日

(4) 弟上兄

某兄手足。握別以來。又經匝月。離家日遠。夢寐

馳思。遙想

嚴慈以次。一是康吉爲祝。弟今所最系懷者。兒姪
等均已屆入學年齡。不宜任其在家嬉戲。况
吾

兄店事忙迫。既難時常管束。而嫂嫂與弟婦。
女流之見。又不免有所寬縱。茲料就近新設
之某某初級小學校。目下當可開學。務祈一
同送人該校。不可再誤。弟此間校務如恆。身
體亦健。望

兄告慰

堂上勿以爲念。至叩至叩。手此敬請

均安。弟某某謹啓 月 日

(乙)致卑幼

(1)父諭子

吾兒收覽。昨得郵局遞到來稟。知汝在校平安。甚
慰。惟汝在外求學。費費既不可虛糜。光陰尤不可
虛擲。果能自知勤奮。猛著先鞭。則一日可抵數日
之功修。於學業必能易見進益。如若嬉游曠課。不
但旁人譏笑。必且自誤終身。現汝年齡亦已不小。
當思學術之成立與否。將來之效果奚若。轉瞬卽
判別於當前。而無從諱飾。古人云。少不努力。老大
徒悲。此語汝宜牢記。以自勉之。此諭。

月 日 父字

(2)祖諭孫

某孫閱悉。月餘未見來稟。不免盼念。日前某君回
里。詢知汝於上月爲賤事赴蘇。望後方可言旋。計
此時諒已到店矣。茲因汝父來信。謂彼處號事。近

有風波。目下恐難支銀錢。以應家用。擬囑汝籌措接濟。而備開銷。前聞汝店中辛俸亦頗不薄。自應兼顧家計。以分汝父之擔負。惟汝能籌寄若干。當先來稟陳明。以免誤事。是所切盼。現在家中均甚安好。某日曾有土匪由某處一掠而過。幸未擾及我鄉。汝勿遠念。此告。月 日 祖手諭

(2) 伯諭姪

某姪如面。昨接來書。得悉閣家安善。甚慰遠懷。惟念愚在此營業。汝

堂上又坐辦漢莊。家中各事。每患無人主任。幸吾姪現已成立。一切可付託汝身。所有某校教職。宜即辭却。俾得壹意主持家務。以免在外者時有內顧之虞。况吾家正當商業發達之時。內外均須有人主管。斯家道可日益豐隆。日前汝

堂上來函。意亦相同。不知曾有家書諭知否。手此

順問

近好。伯 某某氏手泐 月 日

(4) 兄致弟

某弟如握。近來校課甚忙。致疏音訊。吾

弟亦久未來書。想彼此有同情也。兄在此間就學。教授管理之法。甚為完善。獲益不淺。年內可望升頭班。且得與於挑選出洋之列。果爾則如願以償矣。

弟校中功課若何。試驗成績。分數能占優勝否。同學中品學兼優者。諒不乏人。務宜擇善而從。以資觀摩。方不負遠方求學之意。弟其勉加策勵。是所至囑。昨接家書。知一切平安。堪慰遠念。想

弟處日內得訊。當亦相同。手此。卽頌
進益。兄某某手書。月。日

【二】親戚體

親戚通函。稱謂固宜注意。程式尤宜講究。至於信
中所用敬語謙語之範圍。雖比家族可從寬。然既
戚誼攸關。則尊卑長幼。自當各合其分際。而措詞
就下列各體格而參究之。庶可不致貽誤也。

(甲) 上尊長

(1) 外孫稟外祖父

外祖父大人尊前。敬稟者。日前校中暑假返家。叩

謁。母親。一是安好。並示以

大人近日安論。讀悉

福體康綏。閣下均吉。至爲欣慰。近來。母親操

持家務。忙碌異常。因。父親出門。問各事。

亦須隨時考察。勞心勞力。日夕不遑。所幸精
神甚好。食量照常。命卽稟陳。乞勿
遠念。又。母親自製醬菜及糖蓮子兩種。各裝
一匣。另託某君帶呈。至祈
督收。某表兄亦曾放假旋里。否。年餘未晤。甚
爲牽記也。專肅恭請

福安。外孫某某謹啓。月。日

(2) 甥稟舅父

舅父大人尊前。敬稟者。睽別

慈顏。倍深孺慕。比諗

福躬康謐。

潭第綏和。至以爲頌。於昨日回里。聞。母親

道及。某表兄今年學校畢業。決意就商。計亦

良是。惟念某表弟尙在童年。似宜改入商業

學。肄習新近商人必具之學問。俾得預嫻一切。將來投身商界。不但事半功倍。且學識程度。可迥邁於尋常。管見如此。是否尙乞裁奪而行。母親身體精神。較前更好。祈抒遠念。專此肅陳。敬請

鈞安。甥某某謹啓 月 日

(3) 內姪奉姑父母

姑父母大人尊前。敬稟者。日昨奉到

賜諭。欣悉

興履勝常。閣潭均吉。至慰孺懷。近來 祖母起居一切安好。惟因

姑母久未歸寧。思念甚切。命再函請一歸省

視。務祈早定時期。以免懸盼。承

商表妹就學一節。姪意惟某女校距舍較近。往

返甚便。無庸再行寄宿。且校規極其整肅。管理頗爲得法。與表妹程度亦恰合格。如蒙許可。望即挈同回里。以便報名投考也。餘俟而稟。專此敬請

康安。內姪某某謹稟 月 日

(4) 姨甥奉姨父母

姨父母大人尊前。敬肅者。昨接 表弟來書。欣謐

福躬安泰。潭潭同之。至爲忭慰。月之某日。恭逢

姨父母大人幾旬壽誕。甥本擬告假歸家。躬親詣賀。

奈校中規則頗嚴。未便以此爲請。想

長者當鑒原之。茲謹具壽幛壽聯。並附筵金一

函。用介

無量之壽。藉伸在遠之忱。伏乞

賞收。是所切禱。專肅寸稟。恭叩

千春敬請

福安 歲時某某謹稟 月 日

(5) 婿奉外舅

外舅大人尊前久候

左右馳思無已伏請

與居多福

澗篔均綏爲頌爲慰。婿任某校職務。幸能照常

耐勞。令媛近來身體甚好。堪紓

慮。是月初旬。令媛即擬歸寧。旋以家事乏

人料理。旅行又多不便。因是遲遲。現計時屆

暑假。即可伴同歸省。並挈外孫隨行。以圖歡

聚而博

慈。誠一笑也。先此奉稟。敬請

福安 子婿某某謹稟 月 日

(乙) 致卑幼

(1) 外祖致外孫

某某外孫收閱。汝母久未歸寧。正在盼念。適接來信。方知一切近情。汝父開始營業。諸事艱難。家用未遑顧及。即催索亦是緩不濟急。而汝之學費以及各種用度。既已無從籌備。何不及早告知。以便預爲代措。况汝母係女流。汝又年輕。一時難於設法。而徒自焦急。反令予聞之而不能放懷。所需百元之數。日內當即着人送來。望勿多慮。是囑。手此順詢。

安吉 外祖某某手泐 月 日

(2) 舅致甥

某某賢甥如晤。久疏音問。馳系正殷。昨接手書。欣喜

侍祺康吉。

近狀多佳。至以為慰。身邇來精力尚健。合家亦

安好如恆。堪紓

遠念。承告迎養

嚴大人之情。足見吾

甥盡誠反哺。能供子職。洵為孝道可風。來年春

夏之交。如能得暇旅行。擬即就晤

嚴大人暢敘衷懷。尚希代達

堂上。勿勞遠盼為幸。手此順候

近祉。 舅氏某某手書 月 日

(3) 姑父致內姪

某某賢姪如見。頃得

來書。和悉

動定安佳。甚慰甚慰。近來眠食如恆。汝姑

母精神亦健。惟料理一切家務。未免時覺煩勞。承

汝父母在遠關懷。令於暑假時繞道來茲省視。

至為可感。吾

姪倘有一定行期。尚望先時函告為要。專此順

問

近祉。 愚姑丈某某手具 月 日

(4) 翁致婿

某某賢情收覽。昨接

來函。就諗

潭第咸吉。欣慰之至。舍間近稱粗適。某婦已於

某日幸得一男。母子均安。想

賢夫婦當同為一喜。惟至下月初旬。如可

撥冗。望即偕小女及外孫來舍歡聚。勿再遷延。

以致懸盼。某兒需用某種物件。並希

代購帶來為託。奉此順問。

雙社。外舅某某手泐。月。日。

(5) 表伯致表姪

某某表姪如面。久闕。

清暉。時以為念。昨接某日

手書。欣悉。

與居迪吉。甚慰甚慰。某今年營業尚佳。近體亦

粗安可告。寄來中國銀行匯票百元。當已如

數支收。轉託某莊匯交

府中。決不致有延悞。尙望

放懷。至云此後。擬託誰。儘可照辦也。手此順

頌。

近社。愚表伯某某手啓。月。日。

【三】閨閣體

女界通信問答。不但彼此稱謂。比男子有不同之處。即所敘事實。所用字面。亦有僅屬於女子一方。而若無體格可仿。寫信時殊難於着手。略擬數則。以供女子書函應酬之作用。

(甲) 奉尊長

(1) 女稟父母

母親大人膝下。敬稟者。旬餘未奉

慈諭。深為懸念。近想

福躬康健。適如下頌。女到校以來。瞬將匝月。諸

事平善。堪慰。

垂。校中各項功課。尙能領悟。而圖畫一科。尤

為教習所稱賞。謂心思靈活。筆意高超。洵非

同學所能及。竊思女於此道。素承

母親大人教授。故於入學之初。即得有成績。皆出

自

母親之賜也。家中一切。諒皆安好。大哥有暇。望

時賜一信。以慰遠系。肅此敬請。

福安。女某某謹稟。月 日

(2) 姪女奉姑母

姑母大人尊前。睽隔

慈顏。忽又逾月。敬盼

起居安適。

潭第均佳。為頌為念。前承

面諭。囑姪女物色女教師一人。預備延聘到

府。教導兩表妹學習書算刺繡等事。因一時急

切難尋。以致延擱月餘。諒

尊處亦未必請定。今者適逢其會。有同學之親

戚某某女士。忽然來此相訪。與姪女一見如

故。握手歡談。甚為相得。始知女士曾在某某

女校畢業。精於書算刺繡。當即述及

姑母延訂之意。渠亦欣然願就。惟是否仍乞

裁奪示知。以便遵辦。為盼。肅此祇請

懿安。內姪女某某謹肅。月 日

(3) 外甥女奉舅父

舅父大人尊前。久隔

慈顏。猶慕慕切。敬維

福履康勝。如頌為慰。邇來 母親精神甚健。

父親亦有信告平安。望勿

系念。昨日 母親說及某表妹今冬出閣。未悉

吉期卜定何日。特命稟請

賜函示知。屆時 母親便可早來賀喜。以助

長者照料一切也。專肅敬請

崇安。外甥女某某叩上。月。日。

(4) 姨甥女奉姨母

姨母大人慈鑒。久未肅叩。

起居良殷。企系邇諗。

福祉安康。至爲頌慰。茲因 母親近思。

姨母情切。亟欲一圖把握。又因主持家政。不獲

遠離擬邀

慈駕臨舍。小住數日。暢敘闊懷。特命肅函奉迓。

祈勿

延卻。是所切禱。專此敬請

康安。姨甥女某某謹上。月。日。

(5) 表姪女奉表伯母

表伯母大人慈鑒。接奉

手諭。敬悉。

福躬健勝。忭慰奚如。承

詢。家母病狀。係由心境不寬。胃納亦因之不

健。遂致食入難化。積成胸膈脹悶之症。尙幸

療治順手。現在已可告痊矣。姪女晨昏侍奉。

尙不自覺勞頓。辱荷

厚愛。拳拳用特。瑣陳上慰。

庶念肅此佈謝。敬請

懿安。表姪女某某敘。在

(乙) 致平輩

(1) 姊致未嫁妹

某妹手足。別遂數月。惆悵莫名。近來未接

手書。不諗

近狀何似。

堂上兩大人。體中想皆安適。弟輩學業進步若

何。均深系念。姊偕婿家居。了無佳况。所幸姑

嫜垂愛如常。賤軀健能耐勞。差堪告慰。

綺注。惟憶及至親骨肉。如影隨形。今竟咫尺天

涯。真令人不堪回首。吾

妹曾亦有此同情否。何時良晤。尙無定期。臨穎

神馳。言不盡意。專泐卽候

侍安。姊某某手啓 月 日

(2) 妹致已嫁姊

大姊賜覽。別後時時在念。所思人遠。兩地當有同

情。比諗

儷祉借臧。

潭庭聚順。爲頌爲慰。妹家居侍奉。色笑承歡。得

暇卽教幼弟讀書。併自溫習舊業。所有家事。

一切如恆。堂上二親。氣體均甚健康。堪以

告慰。

遠注。惟每憶

姊未出閣時。與妹形影常依。起居與其。今乃別

離常感。徒增望穿秋水之勞。雖云安訊頻通。

究有間於歡晤。倘若

歸寧有日。卽祈

預示。以解渴思。專肅祇候。并請

雙安。妹某某謹啓 月 日

(3) 弟姒致大姆

大姆左右。返舍旬餘。時深系戀。近想

堂上康健。吾

姆暨諸姪。安善。敬念敬念。妹本擬在舍。盤桓半

月。當卽言歸。奈昨因家外祖母處。遣人來

迎。不得。不去。省。視。以。慰。老。年。人。垂。愛。之。厚。情。

惟。念。自。妹。離。家。所。有。侍。奉

老。親。及。一。切。瑣。務。均。累。吾

姆。獨。任。其。勞。心。實。不。安。尚。祈

格。外。保。重。是。所。至。禱。歸。家。如。有。定。期。再。當。奉

聞。專。泐。祇。候。卽。頌

時。祺。弟。婦。某。氏。謹。啓。月。日

(4) 大姆致弟姪

賢。弟。婦。惠。覽。別。來。忽。已。月。餘。思。念。之。深。與。時。俱

積。想。彼。此。有。同。情。也。近。維

姻。伯。父。大。人。起。居。康。健。為。頌。嫂。料。量。家。事。歷。碌。如

常。所。幸。姑。翁。大。人。以。次。均。皆。安。吉。可。抒

注。念。茲。想

弟。婦。歸。寧。為。時。已。久。家。庭。歡。聚。之。際。固。難。遽。爾

別。離。昨。日。堂。上。詢。及

弟。婦。歸。期。嫂。當。對。以。家。無。要。事。不。妨。從。緩。言。旋

惟。目。下。行。止。如。何。希。卽

示。知。以。慰。懸。盼。手。此。奉。候。卽。頌

近。祺。愚。嫂。某。氏。歛。衽。月。日

(5) 姑致嫂

大。嫂。惠。覽。久。疏。音。訊。彌。切。懷。思。近。想

堂。上。兩。大。人。福。體。健。康。吾

嫂。及。姪。輩。均。適。此。所。頌。慰。妹。近。體。如。常。閤。宅。亦

甚。安。好。堪。抒

垂。注。惟。念。吾。家。自

大。哥。出。外。營。業。以。來

堂。上。侍。奉。一。切。專。賴。吾

嫂。獨。任。其。勞。翹。系。之。餘。至。為。可。感。妹。遠。隔。他。鄉

不獲常侍

庭閣時引爲恨。俟及春間天暖。乘妹婿赴校之便。偕同歸寧。庶可稍慰孺慕耳。郵程甚便。還望

時寄好音。以慰懸懸。手此并頌

嘉祺。 妹某某手啓 月 日

(6) 嫂致已嫁姑

某姑粧次。久未通訊。馳系良殷。比維

琴祺曼福。

潭祉多佳。至爲忭慰。嫂家計操心。米鹽瑣屑。然

此爲女子之天職。不敢言勞也。所幸

堂上兩大人。日增康健。外子時有家報。現狀甚佳。

可紓

遠注。近來某甥。正當啞啞學語之時。情態想至

可娛。尤爲

堂上所系念。倘能如年老人之願望。及早歸寧。俾得歡弄外孫於膝前。欣快何如。風便卽乞

惠我好音。是盼。手此并請

近安。 愚嫂某某氏手啓 月 日

(丙) 致師友

(1) 致女教師

吾師賜鑒。敬肅者。久曠

左右。馳慕良殷。辰維

履祉延綏。

講祺集吉。允符下頌。爰繼離校以後。旋由某某

女士紹介。就任此間某某女校職務。頗爲一

致歡迎。惟該校程度。既極低淺。教授亦不合

法良以女教員人材甚少。欲求如吾

師之循循善誘。卓著賢勞。實爲當今所罕觀。且

竊念此時女學尙在萌芽。非竭力維持。加意

研究。恐終無優美效果之可收。倘蒙

師門垂愛。不以道遠見遺。務乞

時錫教言。俾得取法改良。以臻完善。至爲幸禱。

專肅祇請

教安。 受業某某謹啓 月 日

(2) 致女同學

某某仁姊惠鑒。自違

蘭節。時切遐思。比維

履祉增祥。

文祺協吉。爲頌爲慰。妹舊歲回里。本擬再入女

子高等師範學校肄業。以畢志願。奈因家兄

今年出外。必須妹在家侍奉二親。以致事與

心違。而實亦情勢所當然。無能勉強者也。想

吾

姊此時登意功修。

德業並進。正難限量於前途。引企

芳徽。無任欽羨。倘蒙

不棄。時

錫教言。俾妹於月夕花晨。藉慰索離之感。幸何

如之。專泐奉候。敬請

近安。 妹某某謹啓 月 日

【四】工商體

工商界通函。大都不出經濟事業之範圍。所敘事

實。必須詳明。所用詞意。必須暢達。若能於文言中

參以新知識。則更出色當行也。

(甲) 工界

(1) 致實業家

某某仁兄台鑒。日昨接奉

手書。承

詢日本之揚返式絲。係取山東黃絲繅成。出品
遽形優美。頗見信用於西商。夫以吾國之原
料。一經他人製造。頓爾改觀。投時好而獲巨
利。實因我國人製造技能之不足。棄天然之
美。利於外人。彼即以吾原料所成之貨。奪吾
國貨之銷路。甚者且日就淘汰。及起而效贖。
則已瞠乎其後矣。是故立國於實業競爭之
世界。欲求優勝而免劣敗。則尖銳之眼光。豐
富之知識。強毅之魄力。三者缺一不可也。吾
兄固洞悉時勢者。諒不河漢斯言。專此奉復。即

頌

近社 弟某某謹啓 月 日

(2) 致工團

某某工團
大執事 台鑒。逕啓者。某近投身工黨。擬為全國工

界聯絡感情。并為各個勞動者謀自身之活
動。務使全國工業一律平等。痛革賤工之積
習。促進物質之文明。將來達到目的。非特賢
木家受其益。即國家之平治富強。亦胥於是
賴。夙仰

執事領袖某某工團。且素抱民生主義。對於此
舉。諒有

同情。用特附呈本黨章程百份。乞即代為傳佈。
是禱。專此敬頌

台社 某某謹啓 月 日

(3) 致工廠

某某仁兄台鑒。昨奉

手書承

示貴廠出品之缺點。其原因似不關於機器及原料。所以致此者。想係技師未得其人。弟處某某工廠。其初亦無成績可觀。後聘比國畢業生某君。詳加研究。改革一切。遂發現特色於商場。吾

兄如果銳意進行。另延技師。以圖桑榆之收效。弟當代訪某君。以資臂助。鄙見如此。但不知尊意以爲然否。專此即請

鑒安。弟某某謹啓 月 日

(4) 致工程籌備處

某某仁兄大鑒。日前接奉

惠畢承

託代覓華工程師。足見

執事注重我國人才之盛意。蓋建築技能。中法不及西法。固無庸諱言。然通商各埠。曾有耳濡目染。積漸成爲專家者。亦有留學外洋。畢業於工科者。苟能注意物色。此中固大有人在。何必虛糜倍蓰之辛金。以延聘外人而仰其鼻息也。現弟有同鄉某某者。承辦工程多處。頗有經驗。以之應

命。或可勝任而愉快。昨已函約於某某日趨前

親承

指示。倘蒙

推情錄用。應需保證。照章遵辦可也。專此奉復。

祇頌

台社。弟某某謹啓 月 日

(乙)商界

(一)致商業同行

某某仁兄門下久企

台暉無任渴念。辰維

履祺迪吉。

籌社延庥。良如所頌。刻聞

執事利用國貨暢銷之時機。積極進行。又於某

埠開設分店。推廣營業。足見

執事之善於擘畫。迥異尋常。必能

勝算預操。大占利市。聞訊之下。傾佩莫名。弟薪

勞如故。乏善可言。景仰

長才。益形慚愧。尙祈

勿吝金玉。時錫教言。幸甚幸甚。專泐奉候。敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(2)致商店同事

某某仁兄閣下。自違

雅度。忽忽半年。比維

動定勝常。

公私均吉。爲頌爲慰。某遠居分號。不獲與吾

兄聚首一處。常領

教言。而店務殷繁。又無暇勤筆修函。奉候

左右。寸衷悵歎。匪可言宣。日前會親某某來信。

盛稱吾

兄推愛。一切承蒙

關垂。聞訊之餘。至爲心感。容俟面晤。再申謝忱。

專此奉布。敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 致經理

某某先生閣下。湖暌

台教。條已月餘。敬維

履祉延綏。

財祺增吉。企頌。冀名弟。猥以菲材。辱承

厚誼。調來此間分號。幫理帳務。漸行之際。復蒙

先生贈言。多所指示。寸衷感戀。楮墨難宣。自到

分號以來。一切遵命而行。同事感情。頗能

相洽。惟久依

左右。遽爾隔離。眷念之私。與日俱積。伏祈

不遺在遠。

昨錫函。誠是所至禱。專泐祇候。即請

鑒安。弟某某謹啓 月 日

(4) 致東家

某某先生賜鑒。久遠

台教。時切馳思。遙想入夏以來。

起居健勝。

潭第咸安。如頌為慰。弟。樗櫟庸材。猥承

不棄。以此間店務。

委任經營。弟雖自知。綆短汲深。恐無補裨。但仰

感

信託之重。敢不勉圖報信。而力效馳驅。今幸自

接手辦理以來。整頓一切。實事求是。已漸覺

有進步之可觀。尚祈

指示頻頒。以匡不逮。至為幸禱。專此奉候。敬請

鈞安。統惟

垂鑒。弟某某謹啓 月 日

【五】學校體

學樓情事。專重於教育一方。與其他各界之事實不同。故彼此通函。體格固宜講究。文言尤宜斟酌。始不貽譏於大雅。茲分列校誼公事兩式。以示概要。

(甲)校誼

(1)致校長

夫子尊鑒。敬肅者。遠侍師門。瞬逾數月。每懷渠訓。引企無任。恭維道履康強。等旌安慰。慰如所頌。受業近在某校。擔任國文一科。程度不齊。頗難畫一。所幸功課尙簡。自巳仍可贖書。不致負諄諄誥誡之盛意。吾

師熱心學務。卓著賢勞。久爲教育家所崇拜。惟某校一切。胥賴主持。

心力未免過瘁。伏祈

加意珍重。爲禱。專肅敬請

崇安 受業某某謹啓 月 日

(2)致教員

某某先生閣下。判袂以來。瞬經兩月。懷想之殷。實

勞寤寐。比維

潭第多綏。定如所頌。昨聞

執事在里。創辦實業小學校。招集鄉黨子弟。學

習各科手工。以爲養成自立之計畫。

熱心桑梓。慰佩殊深。弟擔任此間校務。壹是如

恆同事諸君。亦頗相得。惟引瞻

舊雨。無任神馳。用特肅候

興居藉申契闊。專泐敬請。

箸安。惟希

亮察。不宣。弟某某謹啓。月 日

(3) 致同學

某某同學兄台鑒。久遠

雅度。彌切馳思。比維

履候增綏。

學祺晉吉。至爲企頌。弟因親命在近就學。擬入

某某學校插班肄業。不復再來原校矣。惟弟

與

足下同學兩年。交稱莫逆。今以中途轉學。遂致

彼此隔離。悵念之私。匪可言喻。况吾

兄品學。久爲弟所欽佩。平時繩愆糾謬。受

益實多。恐新校中未必有此良友。緣是縈懷。

左右。益覺無聊。倘蒙

不遺時

頌手教。則仍託蘭金之契。可常承藥石之規。而

兩地神交。當不以形迹之聚散。而分其疏密。

幸何如之。專肅奉候。祇請

近安。弟某某謹啓。月 日

(乙) 公事

(1) 致縣視學

某某仁兄閣下。久遠

奔采。載渴載飢。比維

履祉綦綏。式符鄙頌。茲因鄉友述及我縣教育

界。竟有日謀較優位置。放棄其責任。而毫無

顧忌者。令人聞之不勝駭異。蓋我人既受有

職業。必須有責任心。無責任心則必敗。凡事

皆然。惟教育爲尤甚。况他事誤尙有挽回改良之方術。教育誤斯謬種相傳。永無改良之希望。明乎此則有教育之責者。當如何懷懷戒慎。勤勞加勉。視其職務爲第二生命。以期勿自誤以誤人也。今我鄉教育界。乃有此不堪入耳之怪現狀。豈

執事職司視學。而可置若罔聞。尙希

詳示實情。以釋疑慮。爲盼。專此奉布。即請

台安。弟某某謹啓 月 日

(2) 致教育廳

某某廳長鈞鑒。自曠

雅範。數月于茲。比維

履祉吉羊。

文祺安燕。爲頌無量。茲啓者。頃晤某君。談及我

省教育事業。近來退化之速。實令人驚駭不置。雖其故由於教育經費困難。不能規復民國二年之舊狀。然多去一教育行政上之研枝機關。即可多增設若干學校。爲愛惜教育經費計。則此種紛紛索餐之學務委員。理應及早裁併。以便挹彼而注茲。固不僅對人問題也。弟去歲晉謁時。曾與

執事商及此端。當蒙

許可。而迄未實行。是否其中或有障礙之處。尙

祈

公餘賜示。爲禱。特此布意。敬請

鈞安。弟某某謹啓 月 日

(3) 致教育會

某某會長先生賜鑒。上月承

示省教育會開會日期。某未及趨臨。祇領

屢致歉悵良深。現在敝邑取締私塾之辦法。先

從調查入手。由各區警長協同各本區學務

委員。查取私塾塾師姓名及地址學生人數。

一併詳報。再通告各塾師。限三個月以內改

編。照私立小學章程辦理。如塾師不諳科學。

准其聘同畢業師範人員合辦。滿一定年限。

辦有成效時。得依照補助私立學校定章。酌

給補助費。平時概由學務委員及縣視學視

察指導。能否合於小學程度。分別優劣詳報。

以憑核奪。其有不遵章辦理者。即行勒令停

止。此種辦法。刻已多數贊成。因思

貴會為全省研究教育之機關。用特據情報聞。

尚乞

鑒核賜教。為荷。肅此敬頌

台祉。某某謹啓 月 日

【六】政法體

近今政法兩界啓事。多用公函式。蓋在公言公之定制也。至其他與政界法界通函者。事在例外。仍當用恭維頌揚之體裁。方合禮節。至於抬頭格式。宜提均。書面字跡宜端整。敷陳事實宜暢達。連用詞意宜雅飭。皆臨池時必要之點也。

(甲)行政

(1)致部長

某某先生閣下。緬想

鴻儀。正殷鵠望。頃披郵報。忻聽

佳音。敬誌

就職中央。

綜司部務。

表助華於吉座。

昭德望於宏樞。

盡畫匡時。締造國民之福利。

奇才冠世。特敷政界之榮光。翹景

鈞衡。立名欽頌。某薄植菲材。慚無建設。倘蒙

不棄。尚祈

時錫南鍼。俾自奮勉。他日或可幸附

驥尾。圖報涓埃於國家也。肅此上賀

榮禧。敬請

助安。某某謹啓 月 日

(2) 致京官

某某先生閣下。遙頌

音采。頻企

風猷辰維。

政祉翔華。

蕙勞篤著。忭頌無任。弟蓬廬息影。藏拙自慚。惟

一念及時局之多艱。未嘗不爲之蒿目。蓋匹

夫有責。雖在野亦頗覺關懷也。茲小兒某某。因

薦任入都。命其先趨

階下。謹頌

教言。渠係初次到京。政界一切情形。諳未諳悉。

尚乞隨時

指示。俾得祇遵。仰荷

關垂。同深銘感。附去微物數事。至祈

莞存爲幸。肅此敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 致省長

某某先生閣下。久隔

樽。輝。彌。殷。葵。向。欣。悉。

榮。膺。輿。寄。

統。屬。吏。民。

宜。德。化。而。風。行。

敷。助。華。以。日。懋。

望。隆。方。伯。羣。倫。愛。戴。福。星。

潭。溢。省。區。各。界。懽。呼。生。佛。曠。覩。

吉。曜。軒。舞。神。馳。某。魚。鹿。頻。年。毫。無。表。見。現。雖。在

社。會。上。略。盡。義。務。而。事。多。棘。手。終。難。積。極。進

行。尚。祈

執。事。惠。我。箴。言。以。匡。不。逮。是。所。幸。感。專。此。肅。賀

崇。禱。祇。請

助。安。某某謹啓 月 日

(4) 致財政廳

某某先生閣下。自遠

光。霽。時。切。傾。馳。辰。維

履。祺。延。鴻。

勳。猷。聿。駿。式。如。部。頌。日。昨。某。君。某某。來。茲。述。及

執。事。因。經。濟。困。難。各。事。棘。手。行。將。辭。職。等。情。舉

聞。之。殊。不。以。爲。然。蓋。某。省。自。亂。定。之。後。嗚。嗚

望。治。者。方。期。行。政。官。長。各。負。責。任。竭。立。維。持。

以。圖。恢。復。地。方。之。元。氣。如。果。財。政。竭。蹶。不。能

積。極。進。行。仍。宜。變。通。辦。理。爲。彌。補。一。時。之。計。

始。於。官。吏。應。盡。之。天。職。上。可。告。無。愧。尚。祈

執。事。任。怨。任。勞。勉。爲。其。難。毋。遽。萌。歸。田。之。念。是

幸。專。此。奉。布。敬。請

鈞。安。弟某某謹啓 月 日

(5) 致縣知事

某某先生閣下久別

鴻儀喜傳

鵲報頃譚

榮膺花縣

吉履棠封

宣文化以革新

與斯民而更始

木割雞之妙手。行看治譜遙傳。

擅馴雉之長才。定卜循聲卓著。引瞻

光霽。曷馨忤私。某故我依然。壯游徒爾。旅居海

上。自笑塵勞。差幸聃安。堪紓

廬注。無奈

台暉遠隔。徒言蘭誼之寫藏。惟祈

尺素時頒。庶慰苔岑之契。治肅此馳賀

大禧敬請

助安。某某謹啓 月 日

(乙) 司法

(1) 致法部

某某仁兄閣下。經久睽違。良深翹系。每聽

循譽之卓爾。輒憑遠抱以欣然。辰維

熙履綿祺。

泰羽輯豫。引瞻

榮曜。曷罄棗榆。弟鷦濡自懷。鹿歷如恆。諸幸平

安。堪紓

遠注。茲有弟友某君。畢業外洋。專研法政。明能

燭物。請可立身。讀律精深。曾佐爽鳩之治。揮

毫瀏亮。允孚倚馬之名。倘祈

瑤華邀襄

冰案將見

公庭判事。益多判白之奇聞。豈惟僚席得朋。極

洽依紅之樂意。敢期由烏

推愛。用特薦鶚修詞。肅此敬請

鈞安。統惟

荃照。弟某某謹啓 月 日

(2) 致審判廳

某某仁兄閣下。判袂經年。興歇蕭葛。每懷

丰采。昕夕繫之。辰維

政履雙清。

風猷卓樹。至爲企頌。弟薪勞如故。穀狀毫無。近

有舊友某君。自故鄉來。擬圖一枝寄。其人曾

畢業於法政學校。法律知識。既所素具。訴訟

手續。亦頗嫻悉。意欲棲身於司法界中。藉資

歷練。知

尊處錄事。現尙缺人。囑弟介紹。如蒙

推情錄用。則會逢其適。彼此恰好投機。弟素不

濫作曹丘。緣知某君最深。用敢以輕言爲鈔。

可否卽祈

示復爲盼。專此奉懇。敬請

勛安。弟某某謹啓 月 日

(3) 致承審員

某某先生惠鑒。上月接奉

手畢。辱承

高賢不棄。

惠然肯來。欣幸之私。匪言可喻。乃跋騰

台駕。迄未

責臨。昕夕徬徨。彌深飢渴。某到此三月。職務繁
冗。疲形勞神。日不暇給。加以兼理司法。此間
訴訟事件。又較他處爲多。一身支拄其間。精
力實苦不繼。務乞

不嫌小就。速啓

行旌。俾得紓我困難。而早親

教益。不勝迫切翹盼之至。專此馳達。敬頌

履祉。弟某某謹啓 月 日

【七】軍警體

軍警兩界之情事。較行政司法又相異。故通信問
答。大都有關於軍務警務者爲多。函中所用頌揚
之字面。必須與軍警名義相切合。不可籠統牽混。
致失體裁。至於寫敘事實。則以理明詞達。適可而
止。

(甲) 軍界

(1) 致師長

某某師長麾下久別

英姿。末由晉謁。昨傳電訊。欣悉

榮遷高旆。

秩晉冠軍。

昭駿望而蜚聲。

表應揚以著績。

旌旗焜耀。展武庫之雄才。

裘帶雍容。任干城之上選。

構輝引領。藻頌莫名。某自慚文弱。空抱雄心。雖

有時紙上談兵。終無補於實事。幸得折衝禦

侮如我

公者。爲國家所倚重。不但足以保障共和。行且

鞏固國防。而馳譽於武裝之世界也。專此肅
賀。

崇禱敬請

勳安。某某謹啓 月 日

(2) 致旅長

某某旅長麾下久遠

駿範時切。曠瞻辰維。

景福駢蕃。

宏猷彪炳。爲頌無量。茲啓者。頃聞

尊處軍制改編。業經就緒。惟軍醫課之職務。尙

在需人。敝友某某。前在某省軍界。担任

此課責成。頗著勞績。因母病辭職歸里。現又

擬回枝棲。用特一作曹邱。奉薦

麾下。倘蒙

推情延致。當卽囑其趨前。親承
指示。特

愛冒瀆跂盼

環雲。專肅祇請

勳安。弟某某謹啓 月 日

(3) 致團長

某某團長麾下得瞻

虎範。良洽曠忱。敬維

勳福延釐。

師貞協吉。至以爲頌。敝邑自土匪鳴張以來。閱

閱告警。一夕數驚。仰賴

部下駐防。隨時彈壓。遂得暗銷伏莽。弭地方之

患於無形。而且紀律嚴明。秋毫不擾。尤爲近

今軍界所罕觀者。現緣閭境人民。感戴

功德同聲稱頌。已泐口碑。某等忝爲東道之主。理宜代表輿情。一申敬意。謹具牛酒若干。另單開列。用以犒勞。伏乞

賞納。轉頒。無任欣幸。肅此順頌。

助安。某某謹啓 月 日

(4) 致隊長

某某仁兄閣下。自別

英姿不勝馳系。比維

履祺晉吉。

助祉增祥。式符鄙頌。吾

兄武略雄才。素所欽佩。此次

履行戰地。

爲國賢勞。定當制勝出奇。建殊勳於闔外。惟念

君子于役。銳氣固屬無前。而目下軍報久稀。焦

思殊甚。未識近來戰線有無縮小。馬首已向何方。械餉是否充足。務祈示我數行。俾慰懸念。是所切盼。專此順請

捷安。弟某某謹啓 月 日

(乙) 警界

(1) 致警長

某某仁兄閣下。湖湄

光霽時。切心翹。昨披郵報。欣悉

執事榮膺警政。

職繁名區。

敷自治之精神。

樹保安之德望。

宣勤社會。著偉績於清鄉。

庇護商民。騰懽聲於轄境。引瞻

青蒿。曷罄。挖揚。某株守依然。薪勞如故。毫無進步之可言。方之

執事以所學濟所用。爲國家代表之法人。特表成績於一時。相去奚啻霄壤。尙祈

公餘惠賜箴言。以資摩勵爲幸。專此馳賀

助祺。弟某某謹啓 月 日

(2) 致警佐

某某警佐閣下。仰欽

德望。積有歲時。伏念

勤勞。益深欣感。茲肅啓者。近日地方人民。對於

警士之舉動。頗有不良之感情。緣此輩祇知

恃有職權。實未諳練警政上之學術。故履行

勤務時間。急於邀功。遂致軼出範圍。而有借

端生事之處。務乞

特申誠飭。約束嚴加。俾毋節外生枝。以實盡保

衛地方之責任。庶幾輿情可以愜洽。而免意

外齟齬之虞。某亦知辦事困難。豈能盡如人

意。然既擔任職務。斯不得不顧慮周詳。質直

之言。尙希

鑒諒爲幸。肅此祇頌

鈞祉。某某謹啓 月 日

(3) 致警察廳

某某廳長鈞鑒。久託

仁幷。時欽

德範。敬維

助華。曼慶

福履。延釐。至爲企頌。茲啓者。敝市區警務。自某

警員辦理以來。對於職權上能符治法。對於

地方上能懷輿情。雖任事未久。而勤勞卓著。民商已稱為保障之足資。刻聞

鈞台擬將某警員調往他區。恐閭境治安有所影響。用敢請求我公。俯順衆心。勿遽更動。以免他虞。是所至禱。肅此奉懇。祇請

崇安 某某謹啓 月 日

(4) 致警察分署

某某仁兄閣下。久隔

光儀。殊深渴念。比維

肅祺安燕。

泰履延鴻。至為忭頌。茲有懇者。至友某某。向在某處警界服務。頗稱賢勞。現因親老家寒。擬就近謀一枝棲。以便公暇省視。頃聞

貴署人不敷用。亟須添延熟手。担任責成。囑弟

特作曹邱薦之

尊處如荷

推情錄用於警務上。必能收臂助之功。弟知之

最深。斷不敢濫為推轂。尙祈

裁示。企禱交并。肅此敬請

台安。統惟

愛照。弟某某謹啓 月 日

【八】紳董體

紳者乃鄉邦之領袖。董事乃地方之代表。均為社會所推崇。凡因公益及重要情事。而致函於紳董者。恭維之格式。綴文之程序。亦當注意講究。以免高明齒冷也。

(甲) 紳士

(1) 致致仕鄉紳

某某先生閣下。遠隔

清儀。時殷翹企。比維

端居多吉。

餐衛適時。定如鄙頌。弟於去歲出都之後。即聞

台旌亦已南下。當時以爲別有公幹。未便函探。

昨晤艾君。始知

閣下與某局政見不合。乃竟掛冠而去。息影

林泉。此行之決而且速。誠爲人意料所不及

也。然如某之栗碌風塵。心爲形役。以視

閣下之脫離政界。瀟灑自由。正猶鶴舉天空。可

仰而不留。倘

俯念局中支持之困苦。

予以經驗有得之教言。則公誼私情。均當拜

賜矣。專此奉候。敬請

台安。某某謹啓 月 日

(2) 致旅外鄉紳

某某先生賜鑒。遠

教經年。積思何已。比維

行道有福。頌慰無量。茲啓者。我邑孤兒院創設

以來。賴有同志諸人。勉盡義務。頗著成效。爲

社會所贊稱。惟經費一層。並無的款。必須四

處捐助。以備開支。現在正當困難之時。爲此

印成捐冊。廣爲勸募。素仰

執事胞與爲懷。對於地方慈善之事。志切進行。

今特函陳一切。并附捐冊一本。如荷

倡捐兼代

登高呼助。則拜

使君之嘉惠於無窮矣。臨楮不勝待

命之至專此奉懇敬請

善安。弟某某謹啓 月 日

(3) 致同省紳耆

某某先生閣下。逖

教多時。良殷企念。比維

起居康勝。頌慰無量。茲啓者。昨閱報稱奸商請
弛出洋米禁。不勝駭異。今年各處饑饉。師旅
大局岌危。蘇省五方雜處。伏莽遍地。商業蕭
條。謠言讙起。猶幸米價尙平。秩序未亂。然爲
七省通衢。南北樞紐。內地源源輸運。明春米
必踊貴。萬一准米出洋。蘇屬立見騷動。吳區
告糴無從。前明流寇之禍。可爲殷鑒。因思

先生爲我省之人望。所歸敢乞

傾銜請求行政各署。拒絕奸商之運動。以維民

食。是所切禱。肅此奉布敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(4) 致地方紳士

某某先生閣下。久違

雅範。企念良殷。比想

福履勝常。如頌爲慰。茲啓者。日昨軍警衝突。以
致商民驚恐。誠爲意外之風潮。然竟聽其爭
持。恐枝節另生。將有愈演愈烈之禍變。且此
次衝突。原因複雜。旁觀亦莫能判決其是非。
因思
執事德望崇隆。素爲兩方所信仰。務祈
顧全大局。

出爲仲連。俾嫌隙早就弭平。而地方亦獲受安

寧之福。幸何如之。肅此奉懇敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(乙)董事

(1)致學董

某某先生閣下。曠達

雅教。時切馳思。辰維

道履沖和。至爲忻頌。茲啓者。敝校開辦至今。綿

歷三載。雖幸有成績可觀。而經費難籌。遂至

時形竭蹶。某苦心支柱。力盡筋疲。若因款絀

遽停。不但學子輟業於半途。而年來心血組

成之基礎。亦不忍竟付諸東流。素仰

執事熱忱興學。對於教育事業。無不

贊助進行。用敢呼籲

台端。請求

設法。如荷維持於

鼎力。斯敝校可以保存。而他日造就之人才。皆

拜

嘉惠於無既矣。肅此奉懇。敬請

大安。弟某某謹啓 月 日

(2)致商董

某某先生閣下。不親

大教。倏已月餘。遙企

清暉。思如山積。比維

興居康勝。

指揮如意。欣頌無極。弟經營碌碌。一切如常。近

與二三同志。擬設初等商業學校。凡普通商

業。應有之事。如中國簿記。各國匯票。各省平

色。莊號拆息。銀元珠算。信札各法。均須注意。

俾入校者。畢業以後。即可從事商業。自營生

計現在經費校舍業已措辦就緒想

執事熱心社會義務聞之必當贊成奉呈章程

一紙尙祈

警閱賜教爲荷專此奉候敬請

台安 弟某某謹啓 月 日

(3) 致公會董事

某某先生閣下自別

台端瞬將半月近繼

起居住勝欣頌無量茲啓者前因某省總商會

止兌匯票由

執事特開錢業公會議決指派某等親赴某省

商會交涉已於昨日抵茲向該商會談判尙

未得有要領惟現探此間某會長之維持辦

法並徵詢各錢莊對於此事之態度大約均

以從緩磋商盡力解決爲主旨某等祇得多

費時日靜以待之一俟獲有頭緒再當據實

馳報以慰

廩垂專此奉布即請

大安 弟某某等謹啓 月 日

(4) 致地方董事

某某先生閣下不親

塵教倏忽月餘近諗

台候勝常爲頌爲慰茲因某市區之某警長日

前赴鄉查烟口稱爲鄉民聚衆毆辱至縣署

面訴後即派有偵緝隊來鄉拘提無辜之人

民弟聞之恐又激動風潮當即親查肇釁事

實乃確係該警長藉事生端致遭衆警並無

毆辱等情現該警長老羞成怒要求逮捕鄉

民。行爲愈加險惡。務乞

執事代表地方。

迅赴縣署與該警長交涉。以懲不法而服衆心。

是所切禱。專此奉懇。敬請

大安。弟某某謹啓 月 日

繪圖詳註小說讀本

新學制
兒童文藝
用

編纂書法

(一) 全書標點均用新式符號

(二) 每篇分段中均有插圖

(三) 篇端有小引敘述事實之來由

(四) 篇末附釋要註明僻字及難詞

(五) 各篇思想

既極新穎而詞句又極合法

(六) 程度由淺及深

可供新學制小學中學之用

全書分上中下三集每集用彩面分訂四冊各裝十二色彩面精製布套定價一元二角

既便利自教
又修授

第一組目錄

兒童國語
兒童尺牘
兒童小說
兒童神話

兒童書法
兒童筆記
兒童故事
兒童物語

李龍公編著

課外教授

繪圖

兒童百科全書

- ...知識之.....富庫
- ...藝文之.....津梁
- ...小孩之.....導友
- ...幼童之.....良朋

第二組目錄

兒童修養
兒童心理
兒童格言
兒童風俗

兒童遊戲
兒童笑林
兒童謎話
兒童物語

對言文初學速成新論說 (全四冊) 定價	對言文初學新文法入門 (全四冊) 定價	對言文初學新法論說 (全四冊) 定價	對言文初學國語入門 (全四冊) 定價	對言文初學新法論說 (全四冊) 定價	自用修高等作文新秘訣 (全四冊) 定價	自用修新式言文貫通法 (全一冊) 定價	對言文作文題目五千個 (全一冊) 定價	對言文初學新文法入門 (全四冊) 定價	對言文初學速成新論說 (全四冊) 定價
對言文初學論說啟蒙 (全四冊) 定價	對言文古文筆法百篇 (全四冊) 定價	對言文初學國語入門 (全四冊) 定價	對言文初學新法論說 (全四冊) 定價	對言文初學新法論說 (全四冊) 定價	自用修高等作文新秘訣 (全四冊) 定價	自用修新式言文貫通法 (全一冊) 定價	對言文作文題目五千個 (全一冊) 定價	對言文初學新文法入門 (全四冊) 定價	對言文初學速成新論說 (全四冊) 定價
自用修白話文法指南 (全一冊) 定價	對言文初學論說啟蒙 (全四冊) 定價	對言文古文筆法百篇 (全四冊) 定價	對言文初學國語入門 (全四冊) 定價	對言文初學新法論說 (全四冊) 定價	自用修高等作文新秘訣 (全四冊) 定價	自用修新式言文貫通法 (全一冊) 定價	對言文作文題目五千個 (全一冊) 定價	對言文初學新文法入門 (全四冊) 定價	對言文初學速成新論說 (全四冊) 定價

寫信速成秘訣

第五編 寫信之種類

社會之情事既繁。尺牘之應用乃隨勢不能執定一式以範圍之。此寫信之種類必須分列也。蓋函有種別。則作用不容混同。事以類從。則情節可以比附。茲編特撰書札之必要者分爲十四類。固已應有儘有。足供寫信必需之實用已。

【一】慶祝類

賀喜祝壽之書函。必先分定層次。一、欣悉語。二、恭維頌揚語。三、自敘抱歉語。四、奉上禮物語。五、道喜請安語。此爲全函一定之程序。而無可變更者。至於運用語句。必須合分際而切事實。抬頭字行。必須遵格式而繕端楷。方足表示莊重。獲勉粗陋之

譏也。

(1) 賀完姻

某某仁兄閣下。遠道懷人。

好音送喜。欣悉月之某日。爲吾

兄合卺佳辰。敬維

燕婉歡諧。

鴻釐茂集。

良緣迨吉。卜好合於百年。

吉禮告成。符昌期於五世。引瞻

台曜。欣頌奚如。弟羈身異地。在遠情殷。趨賀未

能。至爲歉悵。茲特附呈菲敬一函。即乞

莞存。是荷。專肅祇賀。

大禧。敬請

台安。弟某某謹啓

月 日

(2) 賀娶媳

某某仁兄惠鑒。久別

芝顏。時深葭潮。頃聞某月某日。爲

某某世兄吉席之辰。恭維

福衍箕裘。

祥延鼎鼐。

雅調關雎之三疊。

喜覩海燕之雙棲。引企

華堂。曷勝忻頌。弟身爲事絆。不獲趨

府道賀。想可仰邀

鑒原。茲特寄呈菲敬一函。即希

俯存是荷。專此祇賀

大禧。并請

台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 賀娶孫媳

某某先生閣下。久別

台顏。彌殷洄溯。昨聞某月某日。爲

孫世兄吉席良辰。企

德芬之在望。知

嘉禮之告成。恭維

燕翼貽謀。

鸞棲集慶。睇

三星而榮戶。羨

萬石以傳家。

喜溢名門。無任欣頌。弟誼應趨賀。來附。筵。緣

事絆身。良用歉仄。寄呈菲儀。將意。尙乞

一笑存之。專肅祇賀

大喜。敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(4) 賀生子

某某仁兄閣下久別

台顏正殷。洄溯忻承

手示知

微種玉之良因。已

得弄璋之大喜。

灑注神駿。毓五彩以成文。

丹穴靈雛。絢九苞而煥羽。遙瞻

吉宇。忭頌奚如。弟路遠事牽。不克來赴湯餅之

會。是川悵然。他日便道趨候。定當一試

英物之啼聲也。附寄冠履數種。聊以佐函。即乞

晒納。是荷。專此祇賀

大禱。順請

儷安。弟某某謹啓 月 日

(5) 賀生孫

某某仁兄左右正思

雅教。迭聽

好音。頃悉

執事於是月之初。獲抱孫之喜。知

餘慶由於積善。

貽謀早有休徵。

澤衍桐枝。時增重闈之色笑。

瑞繇瓜瓞。特肇五世之昌期。引企

吉暉。無任欣頌。弟居恆栗碌。乏善可陳。見輩雖

已讀書。尙未實行成立。以視吾

兄之子孫衆多。豈羨無似。茲附寄菲物數種。聊

以將意。即乞

啓收轉交爲荷。專此上賀。

大禧。祇請

台安。弟某某謹啓 月 日

(6) 賀開張

某某仁兄閣下。久未聆

教。時從友好詢問

起居。藉申遠念。頃聞

創設某某寶號。行將諷吉開張。敬維

駿業光新。

鴻籌布展。

表商標之特色。

占利市之豐收。引企

吉暉。曷勝欣頌。弟本擬趨

前奉擾杯酒。奈因事阻。良抱歉懷。茲附呈緞幃

一懸。聊將微意。至祈

晒收爲荷。專此敬賀

大喜。順請

籌安。弟某某謹啓 月 日

(7) 祝人祖父壽

某某仁兄閣下。久別

台顏。彌勞洄溯。頃聞夏初某日。爲

太老伯幾旬大壽。欣

重闢之篤慶。卜

五世之咸昌。恭維

燕翼貽謀。

鶴齡錫祉。陳

箕疇以祝嘏。隨

萊綵而承歡。引領

南星。曷勝。忭頌。弟奉。得。心。殷。躋。堂。路。阻。忝。在。交。末。諒。蒙。

際。原。茲。附。呈。菲。物。數。種。至。乞。轉。呈。

賞。納。是。荷。專。此。敬。祝。

喬。齡。順。請。

台。安。弟。某某。謹。啓。月。日。

(8) 祝人祖母壽

某某。仁。兄。閣。下。久。疏。箋。候。時。企。

音。塵。頃。悉。月。之。某。日。爲。

太。老。伯。母。幾。句。大。慶。瞻。

萊。衣。之。重。登。仰。

華。輓。之。光。輝。恭。維。

福。衍。桐。枝。

祥。徵。桃。瑞。

啓。霞。觴。而。介。壽。

依。海。屋。以。添。籌。引。企。

德。門。曷。勝。忭。頌。弟。自。愧。塵。勞。未。遑。趨。祝。附。呈。菲。

儀。數。事。聊。表。微。忱。至。乞。

哂。收。爲。荷。肅。此。敬。祝。

慈。齡。祇。請。

台。安。弟。某某。謹。啓。月。日。

(9) 祝人父壽

某某。仁。兄。左。右。久。企。

芝。儀。忽。奉。

蘭。訊。欣。諭。某。月。某。日。爲。

老。伯。幾。句。華。誕。仰。

萊。衣。之。戲。綵。喜。

椿。蔭。之。方。濃。恭。維。

愛日承歡。

德星聚慶。時陳

五福。祝鳩杖以引年。頌獻

九如。晉兕觥而介壽。翹瞻

南極。忭舞莫名。弟以遠阻川原。不獲登堂申敬。

私衷歉仄。莫可言宣。附呈不腆之儀。幸卽

鑒存是荷。肅此祇祝

喬齡順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(10) 祝人母壽

某某仁兄惠鑒。久遠

光霽。馳念良殷。頃聞某月某日。

老伯母壽登幾秩。

良辰舞綵。遠道騰懽。敬維

輒燦璇閨。

籌添海屋。

歌譜陔南以介景。

筵開堂北而祝延。引企

慈雲。曷勝頌頌。弟以川途間阻。不克握衣申敬。

歉仄莫名。茲附呈微物數種。幸卽

賜存是荷。專肅恭祝

萱齡祇請

侍安。弟某某謹啓 月 日

【一一】唁慰類

唁喪之函。有長輩同輩晚輩之別。按輩分而措詞。

先闈沒者之幽德。次解生者之悲懷。再繼以抱歉

附敬等語而止。至如苦次孝履等字面。祇可用於

長輩。此尤當注意者也。

(1) 唁人丁外艱

某某仁兄苦次。遠晤經時。正深系念。昨奉
訃函。驚悉

老伯於某日棄養。駭悼莫名。吾

兄純孝性成。大故遽遭。不知若何哀痛。惟念

老伯芳流桑梓。

澤衍芝蘭。

音容雖隔於世間。

道德自昭於身後。吾

兄善承

先志。尙祈以

大事爲重。而

順變節哀。是所至禱。弟分應執紼。乃以道遠。不

克趨助輓歌。特寄呈奠敬一楫。即乞

啓納。代薦

靈筵。用將微意。專此奉唁

孝履。惟希

自衛。弟某某謹啓 月 日

(2) 唁人丁內艱

某某仁兄苦次。企懷

雅教。哀展

訃音。驚悉

老伯母棄養之耗。曷勝愴怛。吾

兄素篤孝思。毀瘠自不待言。第念

老伯母德協瓊瑤。

年登耄耋。

播德音於里鄰。

貽厚澤於孫曾。今者

歸真。應無遺憾。尙希

節哀順變。禮無過情。是深盼禱。弟羈身遠道不

克躬親執紼。歉仄莫名。附呈奠儀。卽乞

代薦爲荷。專此奉唁

孝履。并問

禮祉。弟某某謹啓 月 日

(3) 唁人丁祖父憂

某某仁兄苦次。昨傳

大訃。驚悉

太老伯遽返道山。曷勝駭愕。吾

兄親承

祖蔭。自必悲痛逾恆。惟念

太老伯光昭峻望。

德厚燕貽。

爲社會之典型。

播聲香於奕禩。吾

兄懷深

繩武。尙祈

順守禮經。是爲至禱。弟以道遠不克躬申芻奠。

抱歉笑如。謹具唁敬一函。卽乞

鑒存代薦爲荷。專此奉候

素履。弟某某謹啓 月 日

(4) 唁人丁祖母憂

某某仁兄禮次。月餘未得

賜書。正殷企想。昨承

訃告。驚悉

太老伯母歷寰遠棄。於邑曷勝。吾

兄孝養

重園。自必逾恆悲慟。惟思

太老伯母箕疇備福。

彤管流輝。今卽

歸真天上。定無遺憾人間。尙希

善自節宣。勉襄

大事。是所盼禱。弟因事遠羈。未能躬親執紼。至

用歉然。附呈奠儀一函。卽乞

鑒入代薦爲荷。專此祇候

素祺。惟祈

葆衛。弟某某謹啓 月 日

(5) 慰人喪妻

某某仁兄閣下。頃奉

手械。猝聞

嫂夫人仙遊之信。不禁代爲慟然。以吾

兄情深伉儷。忽悼斷絃。

騎省傷懷。自不容已。然修短有數。

壺德長留。且諸賢郎玉立堂階。食報正未有

艾。尙祈

勉爲排遣。以禮制情。是所切禱。弟以川途修阻。

未能躬親執紼。悵歎奚如。特附呈奠敬一函。

卽乞

鑒存爲荷。專此奉慰。敬請

近安。惟希

攝衛。弟某某謹啓 月 日

(6) 慰人喪子

某某仁兄閣下。久聞

音譚。方深馳系。頃者駭譴。世兄之變。惋惜奚

如。

執事抱痛西河。固宜情莫能遣。然彭殤一致。修

短有數。此語頗足引為遠觀。况復

桐秀孫枝。已徵蕃衍之現象。尙祈

善自排抑。逆來而順受之。是所盼禱。弟擬於下

月初旬。作某處之遊。敢請

台從借往。玩賞風景。藉釋

鬱悵。希卽

示覆為荷。手此奉慰。敬候

健安。弟某某謹啓 月 日

(7) 慰人喪兄

某某仁兄閣下。昨由郵局遞到

訃音。驚悉

令兄某某先生。遽捐館舍。愴悼曷勝。

執事墮篋誼篤。猝遭此變。自必傷痛逾恆。然

令兄德望崇隆。已足光昭於身後。而 令姪嶸

嶸頭角。繼起又復有人。尙祈

紓雁序之悲。善自

攝衛。是所翹禱。弟遠羈他鄉。未獲以絮酒隻雞。

躬陳奠敬。淒風天末。良用悵然。附呈芻敬。卽

乞

代薦為荷。專此奉慰。祇請

大安。弟某某謹啓 月 日

(8) 慰人喪弟

某某仁兄閣下。久未奉書。五深馳念。昨得

手教。驚悉

令弟某某兄。一病不起。悼惋無任。

執事友于夙摯。一旦遽零棣萼。自必哀沁心脾。

第念上釋

堂上之悲懷。并撫遺孤於身後。從此擔任。加重一

肩。尙祈

強抑傷懷。

起居自玉。是所軫騰。弟客中聞耗。未能趨奠。

總帷引睇風前。至爲歉恨。附呈芻敬。藉展微私。

專此奉慰。卽請

台安。弟某某謹啓 月 日

【二】問病類

致函問病。必是情誼極有關係之人。故命意必纏
繆而懇摯。遣詞必密切而周到。非若尋常書札。可
以通套出之者也。茲擬數則。以備體裁。

(1) 問人父母病

某某仁兄台鑒。久睽

雅教。時切企懷。頃聞

老伯伯起居偶爾失調。

福體欠安。不勝瞻念。遙想

德門天佑。卽有勿藥之占。惟老人氣質較衰。治

療必須合法。祈勿希圖速效。以致反損元神。

而吾

兄侍疾之餘。又復勞心瑣務。亦望

格外保重是禱。弟近來一切粗安。本詣趨謁。上

問

侍履。奈因職務未能暫離。不克如願。料吾

兄當鑒宥之。專此祇請

大安。敬叩

侍福。弟某某謹啓 月 日

(2) 問人兄弟病

某某仁兄惠鑒。近睽

台教。杼柚良殷。昨聞

令兄因舊疾復發。往某醫院就醫。未知刻臻康復否。至為惦念。

令弟素來體弱。又因職務劇煩。未免調攝失時。益致虧損。為固本之計。亟應減少思慮。靜養精神。求治不期其速。當可成效徐收。惟近日病狀何似。及診治情形。統乞

見示。以慰懸懸。專此敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 問人子女病

某某仁兄台鑒。日昨承

約在某處晤談。久候未見

駕臨。至為悵悵。乃頃奉

手教。始知世兄女公子忽抱清恙。選醫診治。俛德

無暇。甚念甚念。前聞世兄在某校肄業。勤於求學。成績甚佳。此刻起居不適。想係心神劬瘁。氣質損虧之故。及早調攝。當即獲勿藥之占。弟俟星期解冗。便擬趨訪。藉慰懸懷。專此即請

日安。弟某某謹啓 月 日

(4) 問人初病

某某仁兄閣下。久聞

音譚。思與時積。昨晤某君某某。始悉吾

兄近抱清恙。懸系良深。日來天氣驟暖驟寒。最

易感冒。想吾

兄素講衛生。當非攝養失宜所致。務望

詳示貴恙發生之緣由。并刻下情狀之如何。以

釋鄙念。至擇醫診治。尤祈

慎重是禱。專此祇候

痊履。卽盼

福音。弟某某謹啓 月 日

(5) 問人久病

某某仁兄左右。前聞

足下杜門養病。頗厭煩囂。故罕接

音教。懸系興日俱深。頃晤 令親某君。始悉

足下舊恙復發。本易就痊。乃爲某醫所誤。病勢

反致綿延。果爾則發藥不能對症。亟宜屏却

一切方劑。惟以滋養靜攝爲主。使體內諸機。

漸復常度。夙疾當不難逐次脫除也。附呈微

物兩種。爲清補所必需。至祈

納存。并希

格外珍衛爲禱。專此祇請

痊安。弟某某謹啓 月 日

(6) 問人復病

某某仁兄台鑒。上月走訪。見

力疾視事。勉任劇煩。當以

尊恙新瘥。未可勞神相勸。吾

兄亦頗以鄙意爲是。並謂亟須借人代庖。乃相

違。祇一星期。旋聞舊疾復發。系念良深。吾

兄勇於任事。本係性成。然以職務爲重。而以身

體爲輕。殊覺非是。此時

病狀如何。弟難懸揣。惟乞擺脫一切關係。勿爲

俗慮所擾。方可

隨時攝養。而徐圖復元。日內有暇。當卽趨

前省視也。先此布意。祇請

痊安。弟某某謹啓 月 日

(7) 問人小疾

某某仁兄閣下。遠晤

教言。忽復數日。昨聞某君因事候駕。而

執事以小極辭。至為懸念。日內天時寒燠失常。入晝方欲解衣。傍晚復須擁絮。起居偶一不慎。便為外感所侵。

執事刻抱小恙。務希

善自調攝。不藥即愈。某日某處。開會提議某事。

台從不可不至。弟尚須先將議案就商也。先此

布意。敬請

豫安。弟某某謹啓 月 日

(8) 問人危病

某某仁兄左右。頃某君來述及吾

兄於昨夕忽遭霍亂之疾。勢頗危險。亟尋醫藥。

尚未就痊。至念至念。霍亂之症。係一種微菌之毒。傳染所致。日人名稱為虎列刺。必須行消毒撲滅諸法。以預防其流行。吾

兄偶然沾染此症。方劑尚當留意。看護尤須合宜。此刻

病狀如何。乞 侍疾者。先行詳告。以抒懸系。明

日午前。當躬趨候視也。先肅祇請

痊安。弟某某謹啓 月 日

【四】請託類

請託之信。為人事所最要。開首先敘關懷。繼以頌揚。即承接述告自己之近狀。因而請託之事實。再用希惠語。當感語以結束。惟措詞尤貴婉轉活動。不落呆相。始可令人動聽而不厭其要求也。

(1) 託人說項

某某仁兄閣下。達

教積時。殊深景系。敬諗

泰祺晉豐。

鼎祉咸餘。至爲忻頌。弟在省近狀。漸入窘鄉。在

苒半年。渺無希望。若仍轅駒羈困。必致涸餉

坐枯務懇

察其爲難。函致某公。切實說項。則

一言九鼎。定當受

益于無形。弟非情迫勢窮。何敢效尤。請託好在

閣下與某公。交非浮泛。投以尺一。必能屋烏推

愛。而蒙青眼之一垂也。

故人知我。尙希

格外鑒原。是幸。專此奉託。卽請

近安。弟某某謹啓 月 日

(2) 托人謀事

某某仁兄閣下。自達

光儀。思與時積。辰維

起居安吉。

公私順平。爲頌爲慰。弟久賦閒居。困頓已甚。仰

事俯畜。來日大難。因念曩日。知交中。不棄故

舊。而具有熱心者。莫如吾

兄。用特上懇

推轂。俾得有餬口之資。且

閣下現爲商界所推重。託謀枝棲。當易爲力。務

望

廣爲踴植。免至愈入窘鄉。是所切禱。手此專託。

敬請

鑒安並希

賜覆 弟某某謹啓 月 日

(3) 託人招股

某某先生閣下。遠隔

光儀。良殷翹企。敬維

履祺曼福。

籌社緝釐。爲頌爲慰。弟近來狀況。尙幸順平。現

與海上諸實業家。發起某某公司。一時繳股

者。頗形踴躍。目前已實力進行。開工在即。惟

是此項營業。志在大舉。以期挽回利權。所賴

集股之份數愈多。斯經營之魄力愈大。因思

執事老成。望重商界。推稱

登高一呼。響應自衆。茲特將某某公司招股章

程。及股單息單各一冊。固封寄上。至祈

鑒閱。代爲招收。如有成數。請即直匯某莊。叨在

知交。想不以瀆煩。

見卻也。專此奉託。祇請
台安。弟某某謹啓 月 日

(4) 託人匯款

某某仁兄惠鑒。一別經年。雖通函札。

停雲落月。結想良深。比諱

台候清娛。

動定咸吉。慰如所頌。弟寄跡此間。平安可告。茲

因家母來諭。命籌寄家用甚急。一時既無

使人可以託帶。而由莊劃款。又不能與家鄉

直接。今特託中國銀行。匯上銀元百圓。匯票

一紙附呈。到時即乞

費神代收。

迅賜轉匯。舍下至爲感禱。現聞南中絲織品物。

銷場較上年更佳。

尊處營業必甚得手。暇乞

見示。以慰殷拳。專此懇託。順請

近安。弟某某謹啓 月 日

(5) 託人擇婿

某某仁兄足下。自別

台暉。時深積慕。辰維

潭庭多福。

履候增綬。是所忭頌。弟近來狀況。尙幸順平。惟

自念年力就衰。擬早了向平之願。現有小女

年已及笄。尙未許字。雖屢有感好來爲媒說。

乃細加詢訪。求一佳子弟。殊不易得。因思我

兄交遊既廣。鑒別又精。敢乞

隨時留意。如有好學青年。而家世清白。將來能

自立者。卽懇

俯賜執柯。叨在至交。諒荷

允許。玉成也。肅此奉託。順請

近安。弟某某謹啓 月 日

(6) 託人擇媳

某某仁兄賜鑒。自違

台教。忽又月餘。每念

起居。至爲悵仰。茲有懇者。小兒某某。頃在某校畢

業。將來或可稍有希望。惟年已弱冠。迄今尙

延未授室。用特上懇

台端。代爲物色。祇須性情純淑。能持家政者。卽

爲合格。其他並無奢望。倘

閣下親友中。如有可以擇配之女子。卽祈

俯賜執柯特

愛請求希勿以冒瀆

見辭爲幸肅此奉託卽頌

近祉 弟某某謹啓 月 日

(7) 託人訪事

某某仁兄閣下久隔

音塵時深勞結比想

冲襟受祉

卽事多忤頌曷有極弟歸里以來雖覺風景依然而親朋之歡與晤談者咸相訝爲老大慨不禁感慨係之日昨某君來會擬爲小兒議婚某姓其美意固不容却且向平之願亦以早了爲事惟某君與弟僅係泛泛之交某姓亦未知其家世奚若據云住址與

潭第鄰近倘能

悉其梗概尙乞

從實示知是所至禱專此奉託祇請

台安并希

賜覆 弟某某謹啓 月 日

(8) 託人購物

某某仁兄足下久未奉

教企念甚殷徒以塵俗溷人亦不敢以無謂寒

暄上擾

清聽諒蒙

鑒宥比維

起居佳勝定洽頌忱弟近狀仍前無足述者家

中平善差慰

遠懷茲聞

貴處某某工廠。新製各種布疋。花式雅緻。色質均佳。洵爲近頃特別之出品。擬懇

足下代購幾種。候便寄下。以備家常服用之需。

價額約在廿元左右。一俟

賜示結數。該款卽當送交

尊府。而免彼此郵遞之煩。預瀆

台端。無任心感。專此奉託。順請

旅安。弟某某謹啓 月 日

(9) 託人寄物

某某同學兄惠鑒。昨接

手書。敬悉一是。弟告假返舍。本擬一星期卽行

到校。無奈適因 母病。不得不親侍左右。以

供子職。迄今屢請續假。瞬將月餘。而家母病

仍未減。萬難遽離。至於校課拋荒。分數多缺。

雖心焦亦無可如何。現屆歲闌。想已不能來

校。所有弟之衣箱書籍及雜物等。擬乞吾

兄課餘代爲檢理。并祈

飭送某君某某處。遇使帶會。忝在

愛末。預瀆。懇。諒。蒙

曲原。專此奉託。敬頌

學祉。弟某某謹啓 月 日

(10) 託人帶物

某某仁兄惠鑒。屢欲趨前藉親

大教。奈因事冗未果。歉悵無任。近諗

起居。定增安善。弟久闕家園。本擬與吾

兄伴同返里。一慰鄉思。頃奉

手示。業定於某日

登程。而弟所有一切手續。尙多未了。已不及陪

從

台旌。茲特遣僮。送上家報一封。銀元百圓。包裹

兩件。即乞附入

行裝。順帶會下。是所至禱。屆日再當恭送

騶從。並申謝悃。專此奉託。祇請

行祺。弟某某謹啓 月 日

【五】延薦類

延致與推薦。情節雖不同。其大要無非注重於人才。故寫延薦之信者。立言不外於揄揚。而用筆尤宜紆回周密。切合情誼。斯爲得體。

(1) 延教員

某某仁兄惠鑒。久隔

音塵。時深勞結。比維

履綦多豫。

箸述日隆。至爲企頌。茲啓者。敝校現爲完全課

程計。凡理化需用之各種器件。業經擇要購

置。以備實地練習。惟求專門演授之教員。一

時頗爲難得。因念

執事遊學外洋。精研理化。固

深諳此中三昧者。如蒙

不棄。

主任該科教授。幸何如之。忝在

素交。故敢冒瀆。是否務祈

賜我福音。爲禱。專此奉布。祇請

台安。弟某某謹啓 月 日

(2) 延店夥

某某仁兄閣下。久隔

清暉。良殷企念。比維

起居暢適。允洽頌私。弟創業於茲。竭力支持。年來幸免虧耗。刻下略加整頓。擬將同事中更換一二。而覓人以代。頗費踟躕。頃聞台從由某處榮旋。尙未就事。倘蒙不棄。

允爲幫忙。卽祈

枉駕惠臨。面商一切。是否并盼先行賜覆。爲禱。專此奉布。順請

近安。弟某某謹啓 月 日

(3) 延記室

某某仁兄閣下。自別

芳標。裁飢載渴。辰維

興居住。懋

祺祉。緝蕃。至爲企頌。前託某君代達下情。幸邀

俯諾。五中感湧。曷可名言。近想某處手續。當可告竣。

台旌蒞止。僂計匪遙。弟猥以幹材。肩承重任。勉強支拄。踣蹶不堪。目下職務日冗。函牘愈加。壓積務望

從者指日首途。俾得早領

教言而資

臂助。臨穎神往。跂盼曷任。專此順請

文安。諸惟

垂察。弟某某謹啓 月 日

(4) 延西席

某某先生左右。夙欽

山斗。時切瞻依。比想

道履綏和。定符仰頌。某學愧拙。鳩情深。舐犢。小

兒輩年齡尚幼。擬在會延請名師。教授國文。今其略具根柢。再行送入學校。猥承某君介紹。

高賢。

允予教育。欣幸莫名。茲特奉上正式關聘一函。

至祈

警存何日

駕臨。即希

賜示。以便預備恭迎。肅此敬請

文安。伏惟

鑒。弟某某謹啓 月 日

(5) 薦律師

某某仁兄惠鑒。多日不親

音采。思臆正殷。乃頃晤某君。始悉我

兄與某姓房產糾葛一事。無從調解。勢必取決於官廳。弟意此事。如有可以讓步之處。尙望足下和平了結。以省起訴手續之煩。倘不得已。而出於訟。應用律師。必須早爲物色。弟有素交某君。係法律專家。歷辦民刑案件。無不左操勝券。且費用亦不過鉅。

尊事如若需用其人。即祈及早

示知。以便訂期相晤。商定進行。專此奉布。祇頌

台祉。弟某某謹啓 月 日

(6) 薦會計

某某先生閣下。日暌

塵教。修易蟾圓。飢渴之思。時縈

左右。比維

興居康勝。爲忭無量。茲啓者。頃聞

貴校會計某君。因事辭退。繼任尙無其人。弟有
同學某君。籍記之學。夙所諳練。曾在某校担
任會計有年。嗣因校長易人。渠亦罷職而去。
現以賦閑已久。亟須謀借一枝。用特奉薦。
尊處惟希

引而進之。其人品行。弟所素知。倘蒙

錄用。應需保證。擬即由弟任之。日內并祈

賜覆爲盼。專此祇請

文安。弟某某謹啓 月 日

(7) 薦夥友

某某仁兄閣下。睽隔

音塵。時勞渴念。比維

興居多福。

籌畫勝常。如頌爲慰。茲啓者。敝友某君某某。寫

算甚精。性情誠樸。亦爲

執事所略知。近因某某號歇業。遂亦致賦閒

居。惟親老家貧。不得不亟謀營生之路。頃聞

尊處某項職務。刻尙需人。用特推轂

台端。請求

錄用。如荷

推情招致。担保一切。擬即由弟任之。佇候

環雲。無任企禱。專此奉布。祇請

大安。弟某某謹啓 月 日

(8) 薦學徒

某某仁兄閣下。日月如駛。別又經年。魁企

光塵。時勞夢轂。長維

起居如意。

計畫勝常。爲頌爲慰。弟株守家園。一是如昨。茲

有舍親某某之子。名某某者。年齡十五。去歲畢業高等小學。今欲改習商業。俾可自立營生。夙知

尊處店規嚴整。

指示精詳。故特託代請求。以冀

門牆之幸。列。倘蒙

推情收錄。當即令其趨前承

教。謹受

栽培。例需保證。擬即由弟任之。是否務祈

賜覆為禱。專此祇請

籌安。弟某某謹啓 月 日

【六】介紹類

近今社會對於介紹一事。最為重要。居間人一言為介。即有負責之義務。故凡作介紹信者。必須著

實措詞。方能有效。蓋此種書函。極有助力。且極有價值。在社交上。已認為保證之作用。誠不容輕忽以為之也。

(1) 介紹書記

某某仁兄閣下。上月奉復一函。想已早邀

台覽矣。近想

履候咸宜。為頌為慰。承

囑代延記室。曾以敝友某君某某上報

尊命。藉供

左右之趨承。今某君已由某處到茲。即定於明

日就道來前。特修數行。俾其持以進謁。面領

教言。此後尚乞

推愛。囑垂

遇事指導。以免人地生疏之虞。至為盼禱。專此

敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(2) 介紹學生

某某先生賜鑒。日昨辱承

手教。知

貴校招考發表。敝友某君之弟某某姪某某。均

蒙

錄取。并荷

囑令該兩生。尅日到校。至爲感戴。茲兩生卽定

於明日就道來前。特予介紹書數行。俾其持

以晉謁。至校章例須保證。擬卽由弟任之。此

後該兩生追隨

左右。尙祈

推愛。關垂。

賜加訓誨。尤爲幸甚。同深。手肅敬請

教安。統維

垂。弟某某謹啓 月 日

(3) 介紹店夥

某某仁兄左右。昨由郵局交到某日

復函。敬悉前薦。敝友某君。已蒙

推情錄用。感荷

雲誼。不啻躬受。茲某君定於今日東裝來前。以

供驅策。例當保證。擬卽由弟任之。但人微言

輕。未識得邀

允許否。某君因人地生疏。乞以一言爲介。用修

數行。俾其持謁

台端。謹聽

指教。此後尙希遇事

關切。幸感回深。專此奉陳。祇頌
籌社。諸維

愛照 弟某某謹啓 月 日

(4) 介紹學徒

某某先生賜鑒。前月肅上一函。正以未得

復書爲念。頃由郵局遞到

手教。祇悉前薦。敝友某君之子某某。已蒙

鼎力提攜。收入

尊處學業。聞

命之下。感恩交并。茲某君即定於明日率領該

學生來

前。以供奔走。應需之保證人。擬由弟爲担任。想

可倖邀

允許。惟

執事與某君父子。彼此素未識面。特修數行。俾

其持謁

台端。惟祈

推情關切。是禱。肅此敬頌

籌社 弟某某謹啓 月 日

(5) 介紹新交

某某仁兄惠鑒。積日未能趨領

教言。至以爲念。茲有敝友某君某某者。係某處

人。技能頗佳。性亦謹厚。聞前曾與

執事遇於京華。殊覺相見之恨晚。現賦閑居。甚

無聊賴。因悉

貴省某某總局。倚重

高賢主任。一切滿擬親求

噓植。又恐蹈冒昧之愆。因特爲先容。并代問

接致意。倘蒙

推愛。

允予晤談。斯一識

韓荆州。即如封萬戶侯。感激當如何也。是否即

請

賜復爲盼。專此奉陳。敬頌

台祉。弟某某謹啓 月 日

(6) 介紹舊識

某某仁兄惠鑒。前承

枉駕劇談。至爲欣快。奈因連朝陰雨。迄未報謁。

抱歉無任。茲有姓某某者。係吾輩十年

以前之舊友。品格清高。才情邁俗。昨日見訪。

與談往事。令人之聽之不疲。提及

閣下。向往彌深。惟以

雲泥分隔爲嫌。且恐年貌渾忘。率爾搥衣。更鄰

冒昧。用特爲之先容。俾得一晤

台範。以慰其飢渴之忱。明日陪趨

階前。尙祈

優加禮待。是幸。專此布意。祇頌

近祉。弟某某謹啓 月 日

(7) 介紹貨品

某某仁兄閣下。昨奉

手畢。恍如面談。即認

履社延綏。

籌祺集吉。爲忭無量。弟近來一切。尙屬順平。堪

以告慰

知己。承

詢此間某種國貨。現以某某公司之新品爲

最佳。其製造原料均選上等。花樣尤能別出心裁。故日下各埠批售。大有日不暇給之勢。

茲將該公司貨樣數種寄呈

啓核如合

尊處銷場。弟當代為介紹。與

寶號定約往來。價值且可格外從廉。以副

雅意。是否即祈

裁奪見示。為荷。專此奉復。順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(8) 介紹房客

某某仁兄閣下。未親

音采。忽已兼旬。惟

動止咸宜。為頌。茲有友人某君。擬賃房屋一幢。

移住眷屬。而連日胥宇。無一當意之區。弟因

聞

閣下之某處房屋。目下尙未有人承租。遂特陪

某君前往相宅。當由比鄰管鑰者。導入視察

一周。頗愜某君之心意。惟租價一項。弟本應

偕來請

示。適有要事。不克分身。用特予以數行。俾某君

得以親謁

台端。直接議定。如蒙

允洽。則其餘手續。弟自當效勞也。專此順請

近安。弟某某謹啓 月 日

【七】借貸類

寫信借貸。必是彼此情誼素相關切者。臨池時須

按層次而立言。敘至需借之事實。所貸之數目。償

還之約期。尤宜理明詞達。懇切相商。始可感情互

洽。達到借貸之目的也。

(1) 乞代借款

某某仁兄惠鑒。旬餘阻雨。未接

音譚。比維

動息多宜。如煩以慰。弟刻因某項要務。急需銀

元若干圓。百計張羅。迄未就緒。竊念吾

兄關愛甚深。用特據情奉瀆。可否仰懇

台端。代假某數。約期歸趙。決無或爽。如須抵押

品及擔保等情。均聽其便。倘荷

俯允。即乞

從速示復。至爲盼禱。專此奉陳。順請

近安。弟某某謹啓 月 日

(2) 爲友借款

某某仁兄足下。違

教匪月。系念良殷。近諗

幸福日增。至爲頌慰。茲有敝友某君某某。刻因

急需。託弟代懇

台端。通挪名世之數。三月爲期。弟與某君交好

多年。知其最重信用。決不致偶有差池。倘蒙

推情允許。

惠假如數。心感同深。應需擔保。擬即由弟任之。

可否務祈

示覆。以便轉達前途。手此奉陳。順請

近安。弟某某謹啓 月 日

(3) 函催借款

某某仁兄左右。日前奉懇一節。承蒙

慨允代籌。實深叩感。弟理宜靜候

台命。何敢繼續瀆干。惟事關緊要。遲恐或有他

萬一延誤。不但致失信用於前途。且於弟之機緣。大有妨碍。此情諒亦吾

兄所深知。務乞

格外鑒原。將前

許通融之款。從速

惠頒。而

玉成美舉。不勝盼禱之至。專此敬懇。順頌

履祉。弟某某謹啓 月 日

(4) 借款并呈借約

某某仁兄閣下。疏聆

雅誨。結轡奚如。比諗

動定增祥。式符所頌。茲因會間某項急需。本擬

函告家兄。寄款應用。乃事已迫不及待。惟有

奉商

執事。假我百金。叨在

知交。定邀

季諾。附呈契券。即祈

啓存。並望將

惠予之款。隨交去人帶回。至爲感禱。一俟家兄

返舍。當即照約奉償也。專此敬懇。順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(5) 借款以物作抵

某某仁兄閣下。久隔

清暉。願言曷既。比想

興居佳勝。懋忭無量。弟拙於生計。近來已漸入

窘鄉。良緣凡所謀爲。動遭失敗。以致債務蠅

集。時覺寢饋之難安。因念

執事高誼熱忱。能通緩急。敢乞

惠假五六百金。以爲拂拭之資。如蒙

鼎諾。當將坐落某處地皮單據作抵。并擬倩某

君出爲中證。以堅信用於將來。可否之處。祈

卽

賜我玉音。爲盼。手此奉懇。敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(6) 借房屋

某某仁兄惠鑒。積時庶冗。未接

音譚。比維

動履增綏。至爲頌慰。茲因敝眷昨日來茲。暫寓

逆旅。亟擬擇地卜居。一時難覓當意之處。而

客邸嘈雜。又不便於久棲。前見

尊府東偏。尙有側屋空餘。可否

予借數椽。暫託

字下。一俟問舍安定。隨即遷移。如荷

垂俞。便乞

賜示爲感。專此敬懇。順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(7) 借器具

某某仁兄足下。日來未遑晤

教。想

履綦暢適。爲慰。弟擬卜居之某處。室尙軒朗。出

入亦甚便利。惟寄跡此間。久暫實未能定。所

需一切器具。決計分向知交各處。權爲移用。

倘

尊府有多餘桌椅等類。務乞

惠借數件。以備鋪陳。如荷

垂俞。當卽遣力走領。特

愛瀆干無任惶禱。手此順請

台安并盼

賜覆 弟某某謹啓 月 日

(7) 借書籍

某某仁兄青鑒。前日趨聆

塵教。曠若發蒙。

卓識名言。一時無兩。欽佩莫名。茲因敝校某科

教授書。其中引用事實。均係節采。必須原書

參攷。始能詳悉其根由。爰見

尊處曾有某種原書一部。倘可暫時

惠借。以便擇要參稽。獲

益當非淺渺。如蒙

示允。明日便着人來取也。手此順請

文安。弟某某謹啓 月 日

【八】索償類

索償之信。對人雖有責言。不可過於激烈。償債之信。對事雖未失信。仍當出以謙摯。一索一償。爲事實上必經之手續。而措詞總以注重感情爲是。

(1) 索逾期之款

某某仁兄台鑒。咫尺

芝暉。積宥有疏。晤

教。歉甚。前者挪移一款。以

誦諉不獲辭。且約以限期歸還。俾可到時應用。

故勉強以從。

尊命。乃計及今茲。逾限多日。此項未荷

惠擲。倘他處尙可通融。何敢率情而直瀆。奈一

時既無從設法。要需又萬難遷延。不得不逕

請

台端如約

見償以紓困難。想

知我者亦必能急我之急也。臨池焦盼。謹候

復音。專此祇頌

日祉。弟某某謹啓 月 日

(2) 索有押品之款

某某仁兄閣下。日久未通音問。想

履候咸宜。至為頌慰。茲

執事承

先人之餘緒。已將

令尊經手之借款。一律理楚。

保全名譽。欽佩無似。惟弟處借款。情事相同。豈

可視如隔膜。且此款曾有某項不動產作抵。

豈明契約。若竟始終推諉。將來利息日加。

執事擔負益重。似未為計之得也。務祈

從速理結。毋再遷延。并希

即賜復音。以免懸盼。專此順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 索擔保之款

某某仁兄閣下。不晤

大教。倏忽月餘。近維

台候勝常。為頌為慰。茲啓者。上年某君所假一

款。係

執事代為署券擔保。人雖局外。事已局中。况弟

與某君素無感情。當由

執事切實承認。始得成交。今已逾期多時。雖經

屢索。竟爾置若罔聞。似不欲償趙城者。但彼

縱背盟而

執事必須踐約。希爲

追取。以實前言。勿任再延。致傷舊誼。爲幸。專此。

祇請

近安并盼

賜覆 弟某某謹啓 月 日

(4) 索經手之款

某某仁兄台鑒。昨曾候

教。值

從者他出。未得把晤。歉悵交并。前茲

執事。向某處通挪一款。經弟擔保。迄今逾期多

時。前途惟經手是問。一再追究。弟已無可措

詞。如再遷延。勢必激成交涉。務祈

執事從速籌措。子母一併歸楚。免使鄙人爲難。

否則擔保者不能藉口卸肩。亦不能甘心受

累也。手此。順頌

台祉。并候

賜覆 弟某某謹啓 月 日

(5) 償及期之款

某某仁兄閣下。久違

芝宇。彌切葭思。辰維

履祉。并釐

潭祺。曼慶。定愜頌忱。弟前以急需。承荷

惠貸某數。俾資接濟。感戢莫名。現將屆期。不敢

特

愛延緩。致負失約之愆。用特設法湊集如數。外

加子金若干。一併託由某君某某繳還。至祈

督收。卽

賜復函爲禱。專此順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(6) 償逾期之款

某某仁兄惠鑒。日前接奉

手書。未即裁答。實因

尊款一時難以措齊。不敢以空函上復也。弟自

叨附

交末以來。辱承

關切。感何可言。况上年

惠假之款。實係濟我燃眉。理應及早歸還。以全

信用。奈弟預備某處抵償一項。迄今始能繳

到。以悞致悞。咎無可辭。茲計該款及子金若

干。一併如數奉上。至祈

管入收據。乞即

賜交去人帶回。逾期之罪。心實難安。統容面謝。

不盡。專此敬頌

台祉。弟某某謹啓 月 日

(7) 償代借之款

某某仁兄足下。正思

舊雨忽降

朶雲就診

福履勝常。至為頌慰。爰以眉急。辱荷

關垂。

代為挪移。俾資應用。

高情厚誼。感何可言。現正籌備該款。如數歸楚。

適奉

來教。頗覺歉惶。茲計該款子母若干。一併託某

君某某之便。帶繳

台端。至祈

管納轉償前途。續費

心神容俟面。專此敬請

近安。弟某某謹啓 月 日

(8) 先償款之半數

某某仁兄閣下。遠隔

芝暉。久疏蘭訊。屋梁落月。引企爲勞。辰維

潭第清嘉。

履恭曼慶。至以爲頌。茲啓者。弟年來坐困家園。

情同涸鱗。屢承

關顧。

惠假金錢。俾奇窘之時。賴有接濟。感荷

盛誼。沒齒勿諼。惟計先後取求。已不下百元之

譜。每思歸趙。力不從心。今幸得一枝棲。稍可

舒展。用特竭籌半數。託舍親某君之便。先行

繳還銀元若干圓。至祈

管收。其餘約以三月爲期。當可如數歸楚。忝在

愛末。尙希

格外鑒原。是禱。專此敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

【九】允卻類

對付他人要求之事情。答允當易措詞。若決意辭

卻。則覆函所用語句。必須婉轉圓到。方不致傷交

情。茲並擬允卻兩種體裁。以資摩倣。

(1) 允借款

某某仁兄閣下。昨奉

惠舉。備荷

注存。卽諭

動息多宜。甚慰甚懌。承

示近有要需。

囑即代籌。弟思彼此通融。事所常有。無論如何。力細亦當勉爲措應。茲設法騰出撥款如數。託由某君之便帶交。

台端至祈

管入并

賜覆音。至約期一屆。想交好誼深。斷不至渝。信用也。專此奉覆。即請

大安。弟某某謹啓 月 日

(2) 允推薦

某某仁兄閣下。昨奉

惠畢。歡如握談。藉誌

潭第曼綏。

起居多吉。慰如所頌。承

示近狀。弟亦代爲心焦。然偶爾賦閒。尙須

善自排遣。

囑向某君處說項。弟并不知其現有位置尙虛。如果亟於需人。自當力爲推輓。况

執事老成練達。亦爲某君所素知。不過不便毛

遂自居。而以曹邱

見委也。一有好音。即當飛報。先此奉覆。即請
台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 允擔保

某某先生閣下。頃誦

華絨如親

芝采。即誌

起居萬福。欣忭無量。弟近來狀況。一切尙稱平順。堪以告慰。

知交承

示令郎某某世兄。近應此間某君之招。就任會計職務。

囑爲保證。敢不惟

命是從。且令郎少年老成。弟所素悉。担任會計一席。想益當慎重。以自持。所需證書。一俟

令郎到時。遵卽繕交某君。以紓

垂注。專此奉覆。紙請

台安。弟某某謹啓 月 日

(4) 允聯婚

某某仁兄台鑒。昨奉

惠教。承蒙

雅意。爲某君某某之仲子。求與小女結婚。聞

命之下。當卽商之。內人亦得同意。且喜幼同里。

長同學。現雖蹤跡疏闊。數年前果兩小無猜。兼之彼此通家。又素悉性情學問。今茲得施薦羅。是可於守古之中。仍寓自由之意。既承不棄。卽請

執柯。惟世俗繁文。必須淘汰。將來採用文明結婚式。崇簡易而除靡費。使鄉里有所矜式。某君達者。諒表同情也。專此奉覆。敬頌

履祉。弟某某謹啓 月 日

(5) 辭卻職務

某某先生閣下。近睽

塵教。思臆頻縈。惟

道履勝常。爲慰爲念。茲啓者。某不揆樛昧。承乏

校務。自慚無裨教育。抱疚良深。乃近復時病

虛虧。精力常苦不繼。斷難勉負責任。以致貽

誤于前途。務乞

另選賢能。卽日到校接替。庶俾庸劣下馴。早免

要駕之虞。幸何如之。用掬區區。諸希

鑒諒。手肅。祇請

台安。某某謹啓 月 日

(6) 辭卻借款

某某仁兄青鑒。頃奉

手書。如親

眉宇。就繕

起居安吉。

潭第康綏。不勝欣頌。承

囑一節。弟苟可盡。綿薄無不勉爲其難。奈年來

食指屢增。擔負愈重。且所入不敷。所出時有

支絀之虞。在表面似仍舊日規模。其實內容

早已枯窘。聞

教之下。愛莫能助。踴躍徒嗟。既恨無實力分憂。

復愧以空言報

命。私衷歉仄。良難名言。忝在

知交。務祈

格外原諒。是禱。專此奉復。順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(7) 辭卻託薦

某某仁兄惠鑒。正懷

眉宇。忽奉

手書。就諗

潭第增綏。

起居納祐。至以爲慰。承

囑圖事一節。詎何容辭。奈緣時局幻變之原因。

此間人浮于事。實苦說項之無從。即偶有小就之區。或可暫爲枝借。然以歸涔而容尺鯉。斷不敢有褻。

高賢再四思維。愛莫能助。徒喚奈何。負我故人。愧無報。

命尙祈

曲爲宥原。不以飾詞見責是幸。專此奉復。即請近安。弟某某謹啓 月 日

(8) 辭卻說婚

某某仁兄閣下。昨奉

華畢。如對絮談。就諗

履祉延綏。

覃祺晉吉。如頌爲慰。承

詢小女肄業近狀。并擬

代爲執柯。辱荷

關懷。寸衷極感。惟弟思小女年齡尙幼。正在修學時期。若早爲訂婚。將來恐有不如志願之處。且寒舍要事。亦須與內子商定而行。現適歸省未回。弟且不便於作主。緣此有負

美意。抱歉良深。尙希

原諒下情。不以飾詞見責是幸。手此奉復。順請台安。弟某某謹啓 月 日

(十) 餽贈類

投桃報李。爲社交通行之禮儀。但具函致餽者。品類有不同。情致亦各別。信中必先叙人事之緣起。以及物品之由來。方不覺得突兀。令受者欣賞而無辭。此種書簡。倘能以清雅之文筆。抒寫餽贈之惻忱。尤爲出色。

(1) 餽贐儀

某某仁兄惠臨研北談餘。驪歌忽唱。春波無際。能不黯然。

執事此次北上。正如扶搖雲氣。

隨意騰翥。仰企

雷暉。無任忻羨。弟忝附

愛末。賦別益難。爲懷擬治清樽。藉話離緒。乃聞

津輪已到。晚卽

登舟。不及祖帳將忱。彌深歉悵。謹具淺贐。敬

甚。慚不贖。尙乞

莞存。以稿從者。至爲幸荷。肅牋布意。祇請

裝安。統維

弟某某謹啓 月 日

(2) 贈土儀

某某仁兄閣下。自睽

芝宇。轉瞬已月餘矣。比想

履候清娛。

動定咸吉。爲頌。弟回鄉一走。碌碌終朝。戚友往

還。頗覺煩苦。然領略家山風趣。又覺與客中

之興味迥殊矣。初由里動身。日昨抵此。因舟

車困頓。未能趨謁。以領

塵教。茲奉上微物數種。均係敝鄉土產。不贖之

將。尙祈

莞納爲荷。先肅奉候。敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 贈果品

某某仁兄足下。久未奉

教。懷想爲勞。比維

履候增佳。定如所頌。弟上月與某君作粵東之行。往來瞬已兩旬。彼中氣候常年溫暖。土產品物較他省美而且繁。古人所謂荔丹蕉黃。信非虛語。昨日檢點歸裝。所攜各種果品。業多壓損。惟有鮮荔。尙可適口。茲特貢上一筐。請即

晒收。現擬於暇時將閱歷所得之事實。編一嶺

南游記。俟脫稿再行呈請

教正。手此敬請

近安。弟某某謹啓 月 日

(4) 餽美酒

某某仁兄大人惠鑒。不與

閣下同席暢飲。忽已月餘矣。每念

故人。輒深悵惘。邇來

花前月下。興趣如何。想吾

兄消遣多方。當必陶然自得也。越中佳釀。久已

馳名。昨某君送我兩罇。據稱尤爲特色。雖未

嘗試。名實定當相副。用特分送吾

兄。俾得醅顏一醉。即希

笑納爲幸。專上即請

日安。弟某某謹啓 月 日

(5) 贈鄉味

某某仁兄足下許久不觀

塵教。至以爲念。比諗

履候增勝。既頌且慰。弟返里多時。親朋來往。應

酬歷碌。未免煩勞。尙幸天氣晴和。藉覽故鄉

之風景。頗覺僻靜宜人。較此間之車馬囂塵。

判若霄壤。且喜種種鄉味。鮮美異常。惜客外

不能常給爲憾。茲特附呈毛笋一筐。新茶兩
篋。以供

雅嗜。祈卽

晒收爲荷。綏日再當趨晤。一敘情懷。專此并請

近安。弟某某謹啓 月 日

(6) 贈器具

某某仁兄大鑒。積日未能趨領

教言。不勝悵念。比想

起居愉適爲慰。弟僑寄此間。屢作歸計。因事牽

絆。遂致遷延。茲決定於是月某日。旋返家鄉。

不再滯滯。惟敝寓所用木器。固不便於帶回。

若竟拋棄。未免可惜。留贈

君處。或堪備陳列之需。茲將所存木器各件。另

開一單。附呈

檢閱。如不以爲廢物。請

飭人來點收是幸。至於年來叨擾一切。再當走

謝。手此順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(7) 贈書籍

某某同學兄左右。判袂以來。索離增感。未識

畫帷下讀。甘苦如何。仰屋懷

人。悵思靡已。弟猶憶曩共硯席。與

足下酌古斟今。賞奇析疑。時資

教益。今茲杜門獨處。既乏觀摩。摘埴索塗。自慚

孤陋。惟聚書之癖。終不能移。每一新籍出。必

設法購得。寢食始覺可安。現託友辦到最新

理科書數種。殊爲從前所未見。以

足下耽嗜相同。特擇其尤善者兩部。奉贈

台端。藉供

瀏覽。至祈

譽存爲荷。專此順頌

近祺。弟某某謹啓 月 日

(8) 贈花卉

某某仁兄大人閣下。不聞

珠玉之談。又將一月矣。近想

台履多佳。以跂以慰。弟耽花成癖。遯跡園林。萬

紫千紅。雅堪入目。而某花尤爲可愛。含苞將

吐。搖曳生姿。置之齋頭。自饒逸致。茲特遣人

送上兩盆。以供

賞玩。務乞

哂收爲荷。此布。祇請

時安。弟某某謹啓

【十一】感謝類

感謝之信。全係覆函。事實及語意。均須與來書相
照合。至信中層次。依用奉絨語、承惠語、拜領語、頌
揚語、自敘語、感謝語。一氣銜接。便成結構矣。

(1) 謝餽贐

某某仁兄惠鑒。日前辱蒙

寵餞。方銘醉飽之私。刻奉

惠絨。復承

厚贐。

隆情稠疊。

知愛獨深。拜領之餘。莫名感戢。弟鸞鳩自笑。局

迹榆枋。如若長此因循。未免虛拋日月。今某

君既屢次函招。或可藉茲出游。而稍增閱歷。

來教過爲期望。恐才學庸陋。無以上副

雅懷。媿甚。悚甚。倚裝時迫。不及走謝。尙乞

鑒原爲幸。專此申悃。祇頌

台祉。弟某某謹啓 月 日

(2) 謝問病

某某仁兄大鑒。病榻支離。正深馳企。

書來問訊。

存注殷拳。感幸無已。曠恙初起時。不過稍有寒

熱。後因俗務紛牽。略爲勞動。遂致轉成溫瘧。

尙幸延醫服藥。可以對症。日見減輕。現惟胃

納尙不甚強。而情狀已不似前之委頓。堪以

報慰

愛垂承

詢用特瑣陳。一俟告痊。再當奉詣申謝也。手復

卽請

台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 謝薦事

某某仁兄閣下。正深企念。忽奉

惠書。祇誦之餘。就認

台候多祐。欣慰無任。并悉

推薦之事。已確與某君商定位置。弟頻年侘傺。

自愧庸愚。乃蒙

鼎力成全。逾格

囑植。俾得棲枝有托。而免困家園。所有感激私

忱。實非楮墨所能罄也。茲擬將會同瑣事。略

爲辦擋。卽行束裝就道。屆時當先候

左右謹頌

教言。良晤不遙。餘容而敘。先此佈謝。敬請

台安 弟某某謹啓 月 日

(4) 謝挪款

某某仁兄左右。前以需款奉商。叨蒙

關愛。

代向某君處通挪。俾金融轉活。局面賴以撐持。

在爾時紛起。謾言無復有人相援。而

執事竟不虞受累。獨任擔承。足見

義俠性成。與俗流之行爲迥異。尙幸弟處現狀。

大有轉機。堪以告慰。

庶注所有該款。不久即可措歸。渥荷

雲情。莫名感戴。肅此鳴謝。敬頌

台祉。弟某某謹啓 月 日

(5) 謝規勸

某某仁兄台鑒。奉展

手書。備承

箴示。循誦數四。愧感交并。弟性根劣薄。易受牽

移。此時所與交遊。類皆浮華子弟。故種種不

良之習慣。遂傳染於不知不覺之中。今幸

執事垂誠殷殷。贈我藥石。俾得早自懺悔。而痛

改前非。非

見愛之深。相知之摯。烏能

關懷如此。語云。近墨者黑。近朱者赤。此後尙乞

惠教時頒。以警覆轍。謹謝

厚意。不盡欲言。專肅敬頌

履祺。弟某某謹啓 月 日

(5) 謝照拂

某某仁兄閣下。辭別

光儀。時深系戀。比想

與居住勝。爲頌爲慰。弟於某日附輪南下。刻已

抵申。一是响。堪紆。

錦注。惟念此次于役都門。人地生疏。正苦茫無。

頭緒。幸蒙

執事一切照拂。

厚愛逾恆。并承凡事

關垂。縷爲

指示。俾得諸臻順妥。受

賜良多。銘勗

雲情。實無涯涘。手肅鳴謝。敬請

台安。弟某某謹啓 月 日

(7) 謝召飲

某某仁兄大鑒。昨奉

簡招。幸與

盛譏。醉酒飽

德。感荷感荷。惟諸君子飛觴豪飲。雄邁一時。弟

雖勉力酢酬。未免自慚量小。酩酊歸臥。竟不

覺顛倒于醉鄉矣。席間承

囑某事。刻已去函探詢。俟得復音。當即趨告知

注。并特附聞。手此鳴謝。即頌

日祉。弟某某謹啓 月 日

(8) 謝贈物

某某仁兄左右。日來正念

叔度不置。忽奉

手楮。知

台駕已於昨晚抵此。故鄉舊雨。復得促膝暢談。

欣快奚似。承

賜鄉物各種。拜領之餘。至爲心感。弟不覩故園

風物。已歷歲時。今荷

惠顧。獲嘗細味。幸何如之。惟因

君以同嗜相投。愈令我尊鱸寄慨耳。明日得暇。

即當趨前領

教。先此申謝。敬頌

台祺。弟某某謹啓 月 日

【十一】誠勸類

朋輩晤聚。有過相規。有善相勸。此應盡之友誼也。若寫信規勸。則與親面談話者較異。函中語句。不可任情責斥。不可隨意譏誚。總以婉言曲喻。使人感其忠告善道。樂於聽受爲是。否則反自取辱矣。

(1) 誠奢華

某某仁兄足下。久睽

英采。夢穀爲勞。辰維

行止亨嘉。凡百如意。爲頌爲慰。茲啓者。近聞

足下日用交游。專尙闊綽。外間頗有煩言。竊思吾

兄與弟相處時。衣食日用。異常節省。何別來方半載。輒反其平素之行爲。須知人生習慣。由儉入奢。固恆易。由奢返儉。則甚難。杜漸防微。端在自治。矧我輩青年時代。尤不宜浪費金錢。以博無益之虛名。而效不良之習尙也。明在

知愛。敢貢狂言。尙希

俯予警納。爲幸。專此布臆。即請

台安。弟某某謹啓 月 日

(2) 誠賭博

某某仁兄閣下。遠

教許久。甚在念中。頃聞吾

兄近來常作竹園之遊。足見朋輩應酬。

清興不淺。惟是樗蒲之戲。雖云閒中排遣。然共

局者品流多雜。容或與

雅譽有妨。况操奇計贏。自有遠者大者在。僅作

一擲千金之舉。殊覺用策較疏。吾

兄素稱明達。諒不河漢鄙言也。專此敬頌

時祺。並希

亮照。弟某某謹啓 月 日

(3) 誠貪飲

某某仁兄惠鑒。頃奉

手教。敬悉近染

貴恙。業已就痊。不勝欣慰。惟弟念吾

兄素喜杯中物。時在醉鄉。亂脈傷神。究非頤養

之道。雖曰積癖難以遽絕。而為衛生上設想。

總以漸漸擺脫為是。且從長計議。如將此杖

頭。日謀嘉肴之供。豈不較為有益。如

尊意謂然。望即

辭却糟丘。并希

隨時珍攝為禱。專此布意。祇頌

近祉。弟某某謹啓 月 日

(4) 誠狎邪

某某仁兄足下。久候

眉宇。企念為勞。敬維

動定多佳。良如所頌。茲聞

足下及時行樂。常寄興於博場。想此中別有會

心。本屬無傷

盛德。惟是婦人醋酒。前賢實係有託而逃。若竟

藉香豔以自豪。戀溫柔而不返。勢必迷入幻

局。擲黃金於虛牝。染白璧之瑕疵。而一經墮落。始自嘆身名兩敗。固已後悔難追。况

足下年富力強。而圖正未可限量。倘因綺懷而

銷磨銳氣。所失更較多也。忝託

心交。用塵

清。如蒙

垂。幸何如之。專此奉布。順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(5) 勸力學

某某仁兄足下。別來多日。系念良殷。邇維

履候安佳。諸凡如意。爲頌。弟馬齒徒長。進步毫

無。雖幸經某校畢業。奈緣平日童心未改。告

假常多。科學內容。大都掠影浮光。不求甚解。

迄今腹中寒儉。輒覺汗顏。欲謀補習。以達完

全。而寶貴光陰。已逝不可復。足見入校肄業。不能以驅符文憑一紙。即可塞責也。吾

兄英年勵學。至深願羨。尙希以弟爲前車之鑒。

毋荒歲月。努力前修。忠告之言。惟乞

垂。專此布意。即請

台安。弟某某謹啓 月 日

(6) 勸改過

某某仁兄足下。久曠

音。采。跂想爲勞。比維

履候嘉祥。式如所頌。茲聞

足下以細行不謹。致遭訾議。頗覺鬱悶於中。此

因人情所難免者。抑知古之聖賢。不能無過。

特患有過仍不自知。知之仍不自改。斯自主

之玷。終難磨滅。而外謗亦無可止之時。魯論

云。君子之過也。人皆見之。更也。人皆仰之。倘足下對於過處而速更。則予人以可見者。即予人以可仰。一轉圓問。仍當昭回。

譽望矣。恃

愛直質芻言。尙希

警納爲幸。專此布臆。即請

台安。弟某某謹啓。月 日

(7) 勸擇交

某某仁兄閣下。睽違

左右。迹阻神馳。比維

履候多宜。至爲頌慰。茲聞吾

兄社交廣闊。聲溢彼都。凡與往來。無不稱贊。惟

弟以爲人生固樂有知己。而處世究不宜泛

交。蓋結納既多。斯品類不一。多聞直諒。益我

者雖不乏人。而微逐嬉遊。損我者亦在所不免。故雖尋常酌酢。亦有不可不慎者。愚懇之言。不無過慮。尙希

俯賜警納爲幸。專此奉布。祇請

台安。弟某某謹啓。月 日

(8) 勸息訟

某某仁兄足下。久未奉

教。甚在念中。近想

台履增綏。至爲企頌。茲聞

足下與某某交涉之事。祇須兩方互相退步。便

可解紛。據云某某現允聽任公評。並不膠執

已見尙

足下要求過甚。始終堅持。恐法庭判決時。未必

盡如

尊意尙祈

略予退讓。以便及早和息。而免訟事糾牽。爲幸。

專此奉勸。順請

大安。弟某某謹啓 月 日

【十二】催促類

凡事遇有迫不及待者。則必寫催信。以免耽悞。此種書札。或說明事情之緊要。或陳述時期之亟迫。而措詞仍須懇切圓到。不得以心緒焦急。而貽草率之咎也。

(1) 催友到校

某某先生閣下。別來半月。企念爲勞。比維

潭祉延綏

履祺集吉。爲頌爲慰。茲啓者。自

執事離校以後。教科鐘點。雖由某先生暫攝。不

致曠疏。惟現近季考時期。事務繁多。必須

執事主持一科。以分擔任。如

尊務料理已竣。敢乞即啓

文旌。來校預備一切。馳書速

駕。盼禱無任。專此順請

台安。弟某某謹啓 月 日

(2) 催繳股款

某某先生閣下。久違

音采。企念良殷。辰維

履候增祥。

公私協吉。允如鄙頌。茲啓者。本公司自開辦以

來。生意尙稱發達。惟銷路雖暢。亟須籌足資

本。以圖積極進行。故昨由股東會議決。限于

下月某日。將所認股款。一律繳齊。以便寬展。

用特函達

台端請將

名下應繳之數速行

惠擲至爲感荷專此奉陳敬頌

大安 弟某某謹啓 月 日

(3) 催寄貨物

某某仁兄大鑒。上月曾修寸箋。并貨單一紙。計已

獲邀

台覽。乃懸盼旬餘。未見

惠擲。至爲焦急。刻因小號存貨。早已售罄。應市

急于需用。迫不容延。務乞

即日配齊。

趕緊交輪寄下。萬勿再誤。爲禱。至該找貨款。俟

來單核收。即當照

奉。決不稍失信用也。專此敬頌

籌祉 弟某某謹啓 月 日

(4) 催寄旅費

某兄手足判袂匆匆。時以爲念。遙想

侍次安吉。合家同之。日前某君某某回省。因時

促未及付以家報。會面託其就告吾

兄。續寄旅費。以免不敷之虞。乃迄今未見

賜示。焦急奚如。弟所謀之事。現已達到目的。惟

須俟至下月中旬。方可實任職務。而旅次食

用之資。現將不繼。務乞吾

兄速行匯寄若干。以濟眉急。至盼至禱。如蒙

措款付郵。望囑交某某街某某旅館第幾號收。

不致有悞。手此敬請

均安 弟某某謹啓 月 日

(5) 催寄衣服

某弟如面。月初曾寄一函。未知已達安覽否。比想

二親康健。弟妹均佳。爲念。兄出門時。因天氣尙暖。未帶綿衣。不料寒信早來。朝夕大有瑟縮之意。兼之一時未得言旋。轉瞬入冬。尤應先行預備。雖友人處可以暫借。究覺有不便之處。務祈告請

母親速檢。兄平日所著錦衣幾件。用箱裝好。交由航友寄來。切勿延緩。是盼。兄近來身體平善。望即代稟

堂上。不必掛懷。爲禱。手此。順問

近佳。兄某某謹啓 月 日

(6) 催索款項

某某仁兄閣下。達

教多時。至爲繫念。比維潭庭多吉。

動履增綏。允如所頌。茲因

執事曩委代移一款。迄未償歸。現在前途緣有要需。亟欲索還。且云逾期已久。不容再延。弟以其語急情真。一面設辭搪塞。一面據實奉陳。即乞

執事從速設籌。如數歸楚。以免鄙人爲難。是所

至禱。臨楮迫切。尙希

鑒原。專此順請

台安。并候

賜覆。弟某某謹啓 月 日

(7) 催購物件

某某仁兄閣下月初接奉

復書辱承

不辭瑣擾

惠允代購各物自應聽便

賜寄何敢繼續瀆催惟舍間喜事擬于月內摒

擋就緒故上次開單託購各件目下亟需應

用務乞

費神速爲購齊即交由轉運公司寄下以免稽

遲價款若干一俟

示知即當送交

尊府決不有悞特

愛催促尙祈

鑒原專此奉懇敬頌

旅祉弟某某謹啓

月 日

(8) 催贖押品

某某仁兄閣下久違

眉宇相念何如比維

台候勝常至爲頌慰茲因

執事前有急需將某某物品

屬代抵押銀元若干圓早已逾期上月曾託舍

親某君面催取贖迄今仍未

賜復懸盼良殷現在前途頗來追問弟已無可

措詞務祈

執事趕緊函款取贖弟爲難且該物件抵押

半價倘若聽任變售實屬可惜想

尊意當亦以爲然祈勿再延以致悞事爲幸專

此奉達即請

近安弟某某謹啓

月 日

【十四】邀約類

社會交際。以邀約之事爲最多。但因事陳詞。有須詳敘其情節者。有祇略言其要點者。總以詞意暢達。使受函人一目瞭然。不致誤會而已。

(1) 邀約同行

某某仁兄大鑒。日前趨候

起居。適值

台駕公出。未獲晤敘。悵惘奚如。茲聞某種貨物。

目下價格低廉。購進頗爲合算。且小號存貨

不多。刻擬預先採辦。以防青黃不接之時。想

尊處情形大略相同。倘若於月望後。吾

兄有暇出門。弟當附

驢借行。以免長途寂寞。是否即祈

賜覆爲盼。專此順頌

日祉。弟某某謹啓 月 日

(2) 邀約同歸

某某仁兄足下。刻奉

手教。恍如面談。藉諗

履祉。勝常。至以爲慰。承

示貴校榜已揭曉。

兄名列第二。足見進步之速。特適等倫。聞之不

勝佩羨。弟校大考亦將竣事。大約三四日內。

即須放假。弟之行裝及應用書籍。現已預備

整齊。一俟假期發表。便可與

兄伴同歸里。尙祈

展緩行期。俾途中互相照應。且不致寂寞也。手

此奉約。即請

台安。弟某某謹啓 月 日

(3) 邀約茶敘

某某仁兄左右。昨承

枉顧。失迓至歉。今晨造

府。又值

公出未晤。彼此參商。緣慳已極。弟本擬今晚再

行趨候。嗣因爲時已遲。且恐

尊務繁劇。無暇一話。又未免虛此一行。茲特敬

訂於明日下午三時。乞

駕臨某某茶社一敘。以便奉

教爲荷。專泐祇請

台安。并盼

惠復。弟某某謹啓 月 日

(4) 邀約酒敘

某某仁兄惠鑒。久聞

音譚。殊勞企念。不知近來

雅興如何。弟現拋除一切。終日在醉鄉中。已不

知人世憂愁爲何事。惟嫌此間麴秀才。大都

含有酸氣。祇好慰情聊勝於無。實不足以速

我

良友。昨由舍親送來某處醱醪一罇。弟嘗試之。

非特清香撲鼻。而且濃味沁心。洵可稱隨性

適情之歡伯也。用特謹修短簡。奉邀

玉趾。來共一醉。藉暢胸懷。明日午前。爲候

光降。祈勿延遲爲幸。專此祇頌

台祉。弟某某謹啓 月 日

(5) 邀約游湖

某某仁兄足下。日前辱荷

寵召。半席清談。不覺沉醉。良由愁腸不勝酒力。

得毋爲

足下所囑。明日擬邀

台駕。棹艇湖頭。丹楓若畫。衰柳如絲。斗酒雙柑。

一報前醉。

足下諒有同懷也。若一頃茫然。意興不倦。少間

月出。山色迷濛。水波蕩漾。相與扣舷中流。賦

詩絕港。則村響漁歌。盡皆白雪。何必木蘭舟

載玉簫金管耶。跂予望之。幸勿

吝步。肅此奉約。即請

近安。弟某某謹啓 月 日

(6) 邀約游園

某某仁兄惠覽。旬餘不見

叔度。鄙客復萌。近想

履祉勝常。至以爲慰。弟日來兀坐終朝。無可排

遣。加以薰風撲面。炎威逼人。久思尋消夏之

灣。一抒積悶。茲聞某園荷花盛開。叢樹密障。

頗足向綠蔭深處。品茗而快。燕煩襟。想吾

兄素喜清游。必當深表同情也。明日午後。在舍

恭候

駕臨。偕往該園一行。是所至盼。手此奉約。即請

台安。弟某某謹啓 月 日

(7) 邀約手談

某某吾兄足下。過從匪疏。

芝輝時。搨想

雅人深致。別有賞心。甚善甚善。弟寂處終朝。無

可消遣。而秋風滿樹。衣袂生涼。倘能坐疏林

中聽

足下縱橫闕之談。誠不淺補中老叟。尙祈

足下統黑白精兵。來此較敵。俾弟北面降首。以受。

指點而博一笑。樂何可言。刻已烹茗掃徑以遲。

希勿

客玉爲幸。手此奉邀。卽頌。

日祉。弟某某謹啓。月。日。

(8) 邀約攝影

某某仁兄青覽。不接

珠譚。瞬將半月。想

起居佳適。定愜頌私。弟日來小齋閑坐。頗覺春

意撩人。因念郭外煙石磯。爲臯亭之幽絕處。

當茲風和日麗。柳籠漁舍。桃夾山村。宛然武

陵源中一幅天然圖畫。吾

兄擅有攝影妙技。而此種風景。惜仍缺如。用特

奉約

台端於星期日上午。攜照相器具

過我。借往一試。

能手爲盼。專此順請。

近安。弟某某謹啓。月。日。

寫信速成秘訣

第六編 白話信之寫法

白話體尺牘，寫來很是簡易，但下列兩種要素，是不可不知的！

(甲)規則 白話體尺牘，應該注重下列的各項規則！

(1) 應用標準國語，不可摻用土話；但在寫信的時候，推測對方面也能明白我土話的那麼，摻用土話，也是不妨的。

(2) 語法是要注重的，倘語法不順，意義便不能明白。

(3) 抒寫情緒，是白話體尺牘的特長，所以寫信時候，應有一種誠懇的表示。

(4) 辭句要簡潔，不可囉嗦，祇須使人讀着，明白曉暢，却不必滿紙寒暄。

(乙)格式 白話體尺牘和普通尺牘，文體固是大不相同，即格式也有不同的地方，大概如下列的區別：

(1) 全篇必須加標點符號，倘符號還沒曾用熟，可改用普通圈點。

(2) 凡普通尺牘內的『稱呼註脚』『引文辭句』和署名下面的『尊敬辭句』統須刪除。

(3) 普通尺牘內的一切應用辭句，凡含有恭維或客套的性質，一律須改成樸實的語氣。

(4) 請安辭句，大都刪除不用；倘有用的，也和普通尺牘不同，如下列字樣：

祝你進步 祝你康健 祝你安好 問你
安好

(5) 署名上面，依普通尺牘的格式，必須加一下款稱呼，在白話體尺牘方面，却有下列各種的區別：

(6) 篇中遇有稱呼對方面的地方，除下列的限制以外，其餘一律用「你」字。

子女稱父母……「父親」「母親」

孫輩稱祖父……「祖父」「祖母」

媳婦稱翁姑……「舅」「姑」 學

生稱師長……「先生」

(7) 篇中遇有稱呼自己的地方，統可用「我」字。

(8) 篇中遇有抬頭和謙虛的格式，一律刪除。

(9) 署名的下面，有時可加署寫信所在的地方；後如「李華民寫於上海」。

(10) 普通尺牘對於寫信的日期，大都寫在署名的下面，白話體尺牘卻可寫在署名的上面，但也有寫在署名下面的。

(11) 白話體尺牘的全篇形式，並不像普通尺牘有很繁瑣的區別，無論寫給尊長或卑幼的信，形式總是一律的；但這種形式和普通尺牘是不同的，如下例：

(一) 第一行是專署對方面的名號和上款稱呼，須頂格寫。

(二) 第二行比較第一行低下兩字，也有低下

一字的。

(三) 第三行以後，却無定例；因為白話體尺牘

是分了段落寫的，每段寫完，須另起一行，凡另起的一行，須和第二行相齊，倘非另起的行，一律頂格寫。

(四)篇中就說話的語氣，分作句讀，每句寫完，須低空一字，再寫下句。

(五)凡請安方面的所用安好辭句，須另起一行；例如『祝你安好』，安好便須另起一行。

(12)我國文字原是直寫的，但近來寫白話體尺牘的人，也有仿照外國文字的體例，改作橫寫的，其實這種橫寫的格式，和直寫相同。不過直寫是自右而左，橫寫是自左而右，稍為有些分別。

(丙)符號 白話信中所用標點符號，是必須先行講究的，茲特列其成式如下：

(1) ○ 表句。

(2) ， 表頓和讀。

(3) ； 表含幾個小讀的長讀。

(4) • 表形容詞間和名詞間的隔離。

(5) : 表冒下和結上。

(6) ? 表疑問。

(7) ! 表感歎，命令，招呼，和希望。

(8) 『』 表引用名詞的起訖。表特別提出的

詞和句。

(9) ↓ 表忽轉一個意思。表夾註的字句，和

○ 同。表總結上文。

(10) ∴ 表意思沒有完。表刪節。

(11) () 表夾註的字句。

(12) | 在字的左旁，表一切私名。(如人

名，地名，國名等）

(13) 在字的左旁，表書報的名稱和一篇文章
的題目。

【一】家庭門

家庭書信，祇須照實寫去，不必濫用客套語調，並且不必雕琢辭句；因為兩方面的關係，乃是至親骨肉，一切都秉天性，決不在乎文詞和章句的推遷。一句話來該括，總應該從樸實方面着想，不可趨於浮華！

(1) 上父親收到匯款

爸爸：

昨天寄來的信和匯票銀卅元，都收到了。前天舅舅說起，五月八日要到漢口，爸爸新做的長衫和短衫單袴等衣服，就託舅舅帶去。媽媽

和弟弟妹妹等，身體都好，敬祝

康健？

兒邦基四月二十五日

(2) 上母親請做衣服

母親：

前由菊生帶來一件新夾袍，我收到了。這件衣裳的面子，我覺得太好了，因為我在校內，不便穿着這樣考究的衣裳。所以我要請您替我再做一件愛國布長衫，讓我包着穿做。那一件夾袍方纔可以不糟塌掉。長衫的大小，總要比夾袍大一些。
男新華三月初二日

(3) 上祖父告徵壽文事

祖父：

昨天由郵局內寄來的徵求詩文啓十五張，我收到了。今天遵您的吩咐，送給校內的幾位

先生，和校外的幾位老世交，他們收到了，都說道：「您老人家八十華誕，理應做詩文來賀賀您的。」所以都是很願意應承的。日後做好了交給我，那時我再寄上來。請您老人家的安！

孫男正祥上四月十一日

(4) 上祖母孝敬食品

祖母：

我自從到校以來，許久沒有給您請安，心中很是紀念您。前天您老人家寄了許多餅乾來，您真是愛我哪！現在有兩瓶雞鬆，是姨丈帶出來送給我的；我想您老人家向來喜食這東西的，所以寄回來孝敬您，放在我處，也是糟掉的。

孫元美上九月初八日

(5) 寄伯父報火災

二伯父：康健！

昨天晚上，鄰居失火；當時東風很大，不一會就燒到我家寓廬。幸時候還早，媽媽等都沒有睡覺；連忙逃到門外。衣服零件，一些沒有擊出；怕給保險公司人看見，反而不妙。現在暫住舅家中，請把保險單趕快寄來，預備向公司領取保費。

姪兒秋生五月二十日

(6) 寄叔父收到書籍

叔父：

昨天郵差來，交我一大包書籍，說是上海寄來的；我拆開一看，就是您老人家代我買的叢書，您老人家真愛我！替我買了許多東西。另外一封信，我也收到拆閱了；您說這許多書，買來送給我，這尤叫我感謝不盡了。我所以特地

寫這封信來謝謝您！祝您在外康健！

姪 福田 二月十四日

(7) 寄兄託買絲綿

大哥哥：

您前天出去，什麼時候到店？今年蠶絲收成很好。媽媽說如絲綿價值並不甚貴，要買二斤。預備分做兩件衣服，送給外祖父母。請得便買好，快些寄來。爸爸來信說那邊鼠疫流行，叫你注意衛生專頌。

安好

弟 兆基 六月八日

(8) 寄弟勉其勤學

某弟：

好久不曾通信，掛念的心，竟像口渴時想喝茶一般；想必家裏的人都很安好？那是我所祝頌。

的，你在學堂讀書，應當用功向學，將來的希望，真是不可限量；倘若不是這樣，貪些眼前快樂，不肯用功，試問到了將來，怎樣能夠自立呢？我聽見有兩句古詩說：「少壯不努力，老大徒傷悲。」望你時時記牢這兩句話，就可曉得用功了。

兄 長康 三月十八日

【二】親戚門

親戚的範圍，凡是父黨或母黨或妻黨許多方面的人，祇須和我有關係的，都可以說是親戚；至於寫親戚，比家信要稍為客氣，說話也要說得婉轉，好像和親戚對面談話一般，纔合着寫信的道理。

(1) 寄外祖父請母親回家

外祖父：

近來身體想必康健！舅舅到了天津，常有信來麼？昨天遇著三表兄，知道外祖母的身體已經好了；心裏很是快活！府上如果沒有旁的的事情，要媽媽幫忙，請他回來罷！因為同居的凌家媽媽，明天要到上海去；家裏嫌寂寞了，附寄一信，請給我的媽媽。

外孫 錢劍華 八月九日

(2) 寄舅舅請教算法

我親愛的五舅舅：

昨天三表弟來，給我許多東西，謝謝！表弟說起書局裏買書，照定價有折扣，當時就給我一個算題，實在算不出，到了晚上，仔細一想，知道是用小數乘法算的麼？演算一回，覺得是錯了。特意謄清，請舅舅給我訂正！因為不經

過一番指導，還怕不對哩！敬祝

康健！

甥兒 李自華 三月六日

(3) 寄母買生孫

舅母。

恭喜您！您是添了一個孫兒了，直是您府上的幸福！這事我們昨天才知道，我們家裏也替您歡喜的了不得。今早母親備了些微禮，叫人送上來，表表我們的賀意，請您收了罷。母親本是要親來賀喜的，因為外甥平生，病在這裏，沒有人照應他，所以要改日再來替我和表哥道喜的了。

外甥 王學敏 四月廿一日

(4) 寄姑丈送花秧

姑丈：

您是歡喜種月季花的；我校裏的方先生，也是

歡喜種月季花的，他家裏有很多很好的種類，現在都扦插了。我知道您是歡喜的，向他討了六種最好的花秧，內中有什麼大金黃呀？大富貴呀？玉樓春呀？都是頂上品的；他把花名也都逐樣寫清的了。今天菊生到我這裏來，我就把這花秧順便叫他帶上，收到了請給個回音我。

內姪 張麟書 二月初十日

(5) 寄姨丈送禮物

姨丈：

前天您六十華誕，我因了沒有功夫，不能前來給您拜祝，真是有罪得很。父親昨天從杭州來，帶了許多的浙省土產，今天送上的一疋杭紡和一隻金腿，那全是父親帶來誠心送給您的。父親本要到您府上來候候您，因為有要

緊的事情，到了蘇州去，所以要改日再來造訪的了。這些東西，叫我先附一封信送給您，請您先收用罷。

姊甥 趙寶成 九月十八日

(6) 寄姊夫請姊歸寧

姊夫：

您一向好？府上諒來也都好。您們許久沒有到舍間來了，母親和弟妹等，都是很牽記哪。小弟和妹妹，要故幾件衣服，去到舅母家去喫喜酒，母親因為要領小弟，還要料理家事，沒有功夫來裁做衣服，并且喫酒的日子也近了；所以叫我寫信給您，請您叫姊姊就回來，住幾天替弟妹做幾件衣服，并且請他一同去喫酒。

內弟 陳嘉璧 十月五日

(7) 寄表兄請看菊

憲文表哥：

我今年從我校裏的校園內，分來了許多菊花。秧各船種類。雖然沒有什麼名貴的，但是倒也有四五十盆，二三十種；現在花朵兒都開啦。秋高氣爽，對菊持螯，倒也是人生的一樁樂處。您也是歡喜種花的，所以我現在寫信給您，請您有空到我這邊來看看，批評批評看，我的成績，可以說去得過麼？

表弟黃風經 九月十三日

(8) 寄表弟告到校日期

蘭馨表弟：

我病了歸來，已經是一月多了，承蒙你屢次寫信來問我，我因為執筆很懶，所以竟許久沒有報答你了。上月六號起，我的病比較輕鬆了。

些，可以起牀來走動走動；到了今天，總算好全了。我本想就要到校，家裏說我感病後來，須要調治調治，所以還要休養一星期，到十五號準可到校。

表弟吳延慶 二月十九日

【三】學校門

凡和學校有關係的通信，祇有先生及同學寫給先生的信，應該恭敬，寫給同學的信，應該和平，這個要點確是不可忽略；至於說到事實的地方，總要寫得明明白白，方可得着通信的效用。

(1) 寄校長問開學日期

校長先生：

學生自從放假回來後，沒有寫信來向您先生請安，有罪得很！我想學校內快要開學了，日子定在那一天？請您先生給個信，我好預

備着到校。

學生卜旦華 十一月十日

(2) 寄校長請賜指教

校長先生：

好久不和 先生會面了；想必常常康健；這裏功課很認真，和母校鬚鬚。學生到校後，學業成績雖不十分優異；對於操行方面，却不敢違反規則，恐怕犯了過失，不獨學生個人的名譽攸關；就是母校名譽，也恐怕從此減色。所以要請先生常常指教！弟弟在校，曾犯過沒有？也要先生格外照料！

學生沈時言 十月九日

(3) 寄校長請病假

先生：

我上次放假回家，中途逢到了一場大雪，到家的時間，偶不小心，竟失足跌了一交，挫了脚上

的筋，立即就不能行動。現在天天臥在牀上，雖然請醫生檢治，略為好了些，但是仍舊不能到校。所以校裏已經開課了，到卻要向先生請假幾天，待等能得行動無礙，我就到校上課的。

學生夏從禮 上九月廿四日

(4) 寄教員述升學情形

韞璞先生：

我今年微倖畢業，諸位先生栽培的恩德！我真是永遠不會忘掉的。暑假後來投攷這農校，幸喜錄取，現在入校求學，程度還覺夠得到。這校裏共有同學八十六人，是乙種農業學校，程度和高等小學錯不多，惟對於農業的科學，加重了些，校舍也很舒暢，飲食起居也好，請您先生放懷罷。

學生蔡允恭 上八月三日

(5) 寄同學新年通候

雪香同學兄：

新年新年！舊曆的新年又來了。新曆的新年，社會上平淡着過去；舊曆的新年，社會上倒有一番新氣象，含着一些歡樂的樣子。我也免不來俗，所以在這舊曆的新年裏，寫信來賀賀你的舊新年，賀你的身體，如那春日一般的愉快！賀你的學業，如那春花一般的燦爛！賀你的幸福，如那春草一般的榮華！

弟李映庚二月八日

(4) 寄同學贈畫片

菊人同學兄：

我前天到書鋪內去逛逛，見有好多的西洋畫片，都是很精美的，並且價值廉賤；我就買了許

多回來。理出了一份，內中還有幾張是重覆的，我想這可沒有用了，所以就封固了寄給你，請你收着看看罷。祝你近安！

弟許震東四月初五日

(7) 寄同學述遠足情狀

時言同學兄：

上星期做校裏到城外去遠足，先生六人，同學七十人；下午一點鐘出發，到東門外，一直上北山，山離城不過三里，走上去很曲折，到山頂上，有一小廟；廟中有閣，我們登閣上，遠望城中房屋都清楚，河中大小的船，來來去去，盡在眼前，好似一幅畫圖。遊歷可以廣眼界，增知識，這句話確是不错。

弟楊中十月十六日

(8) 寄同學請代領講義

祖軒同學兄：

我前月因爲有事回來，至今還不能出來，心裏雖很想早些到校。那『力不從心』真是也『無可奈何』的哪！本學期內，我是恐怕竟不能到校來求學的了，我想請你替我把講義代領了，有便就寄給我。弟夏子明 十月十七日

【四】朋友門

朋友的範圍很廣，所以書信的用處很多。無論何項事情，祇須語句寫得明白，使受信人一看便懂，那就成功了。但是對人的感情或有不同，下筆時還要細心酌量，乃至得罪朋友，失了寫信的作

(1) 寄友約茗談

菊隱兄：

前天你說要到我處來，我候了你半天，你竟沒有來，可是又給什麼事情羈住了？下星期三的下午四時，我候你在大馬路的全羽春茶樓，有要事和你面談，你千萬要來的，不要再叫我久等哪。

弟石韻吟 五月初六日

(2) 寄友勸做小工藝

杏泉兄：

現在我們校裏的先生說：『我國向來是不重工藝的，對於工人，看得很輕，當在這『勞工神聖』的時代，這種舊觀念，是決不能再存在的了。』同學聽了，大家都覺悟了，所以組織了學校用品工藝社，做些東西出來去賣，實行那勞働二字，社會上到也很贊成。我想你事後是很空暇的，何不也做做小工藝，賺一些利益，

可也是「實利主義」哪。

弟徐竹亭 十月十四日

(3) 寄友述組負販團

伯遠兄：

前次我叫你做小工藝，你聽了我去做，成績很好，我聽着非凡歡喜，你真是我的同志哪！我們社中，現在又組織了一個「負販團」，就拏自己做出的東西，還批進了些課業用品，在課餘負着到各校去賣，各校同學，都很歡迎我們。這事情雖是小販的事業，因為是拏自己的勞働和資本，去求自己勞力的報酬——利益——所以一些沒有可差的。

弟周顯祖 七月十一日

(4) 寄友借用品

綺春兄：

道明和我，現在很想研究畫圖，研究的法子，打算從寫生入手；這幾天「風和日暖」的時間，曾經到野外去寫生過五六次，成績雖然不好，興味到還覺濃厚。但是我出去寫生，因為沒有畫椅，很覺不便利，想起你有兩張椅子，可否借一張給我使用？若然允許我，我很感謝你！請交就亦來人帶下罷。

弟秦和甫 三月十四日

(5) 寄友答允推薦

某哥：

前天接到來信，一切都知道了，並且推薦某兄來做小號幫手，真是感激不盡的。小號正在推廣營業，本想尋個熟手幫忙，但是一時要得相

當的人，很不容易；剛巧你薦某兄來，某兄我雖未經見面，但是他的品行，早已聽得是端正的。薪水紅利，都照本號章程，還要請他早些到店裏來，就可幫助一切了。

弟史念先 五月初九日

(6) 寄友索欠款

某某兄：

許久不通音信，很為掛念。前月你因某項要用，向我借洋幾元，說明某日歸還，現在期限已過，還沒有寄來，不知道是什麼緣故？我和你是很要好的朋友，來往也有好多年數，這幾元的借款，本不敢寫信來索取；不過我現在的經濟也很困難，收入的款項，抵不過用出去的，與其向他人告借，不如向你懇求，還是容易些，望你快

快寄來，不要再誤了日子，求你格外原諒。

弟胡保年 十一月八日

(7) 寄友約聚餐

蓮軒老兄：

陽歷年假快要到了，我在三十號回家，你想來也要回來的。我們許多知己朋友，分散了許久了，我想乘這新年，大家在家，齊集擺了，在元旦日聚餐，行一個團拜禮，樂這麼一天，你可贊成嗎？我在這兒，已經約定了五個老朋友，就是希真、抱一、雲鶴、雅琴、新聲，再有振華，就請你去約了罷。

弟蔣九如 十一月廿八日

(8) 寄友贈蟹

逸齋老兄：

中秋節那天，承你送我許多月餅，我當時沒有

拿什麼回敬你，白擾了你的，心裏很是不安！
前三天我家的籩上，送了三十斤肥蟹來；我於是想起了你喜歡吃蟹的，所以分出了十斤，送來給你，請你接受了；你要不收，我可要怪你見外的。十月朔日你有空暇，請你到我這裏來談談。

弟 鄭壽吾 九月十一日

民國三十五年十一月新一版

訂重 寫信速成祕訣

洋裝一冊

〔外埠酌加郵費〕



編輯者 賀 羣 上

出版者 廣 益 書 局

總發行所 廣 益 書 局
上海河南路

分發行所 廣 益 書 局
上海福州路



1952年7月26日